

第14回（平成29年度第4回）
セーフコミュニティ外傷等動向調査委員会
《会議次第》

日時：平成30年2月2日（金）18:30～

場所：市庁舎3階303会議室

1. 開 会

2. 報告事項

（1）再認証取得のための現地審査に向けた今後の主なスケジュールについて

3. 協議事項

（1）事前指導講評への対応について

（2）平成29年度久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査結果の活用について

4. その他

5. 閉 会

久留米市協働推進部安全安心推進課
担当：松本、未安
TEL：30-9094 FAX：30-9706
Email：anzen@city.kurume.fukuoka.jp

外傷等動向調査委員会 委員名簿(敬称略・順不同)

	団 体 名	役 職	氏 名
委員	久留米大学	医学部教授	足 達 寿
委員	一般社団法人久留米医師会	理事	浅 倉 敏 明
委員	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院	救命救急センター長	山 下 寿
委員	久留米広域消防本部	救急防災課長	橋 本 俊 之
委員	久留米市保健所	所長	内 藤 美 智 子
委員	久留米市	協働推進部長	井 上 謙 介

〈事務局〉久留米市 協働推進部 安全安心推進課
 久留米市 健康福祉部 保健所総務医薬課

2-4.外傷発生状況(重点課題の設置背景)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	溺死・溺水	交通事故			
10～19歳	自殺	交通事故	転倒・転落		
20～29歳	自殺	交通事故	溺死・溺水	煙・火	
30～39歳	自殺	交通事故	中毒等	転倒・転落	他殺
40～49歳	自殺	交通事故	中毒等	溺死・溺水	転倒・転落
50～59歳	自殺	交通事故	溺死・溺水	窒息	その他不慮の事故
60～69歳	自殺	溺死・溺水	交通事故	窒息	転倒・転落
70～79歳	溺死・溺水	自殺	窒息	転倒・転落	交通事故
80～89歳	溺死・溺水	窒息	その他不慮の事故	転倒・転落	自殺
90歳～	転倒・転落	窒息	溺死・溺水	その他不慮の事故	交通事故

図1

出典：人口動態統計 2007年(H19年)～2011年(H23年)

(重点課題)

自殺予防の取り組みが必要

(重点課題)

交通安全の対策が必要

<協議事項>

（１）事前指導講評への対応について

○指摘事項；「溺死・溺水」や「窒息」が死亡原因の上位に来ているが、なぜ、重点課題に設定しなかったのか。

○協議内容；当市における「溺死・溺水」の実情や現状把握のためのデータ収集、さらには対応策などをご検討いただきます。

協議（２）

<協議事項>

（２）平成２９年度久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査結果の活用について

- 協議内容；セーフコミュニティ実態調査の結果から、各対策委員会に助言し、今後の取り組みの見直し等に反映してもらうための視点、具体策やデータに関する意見やアドバイス等をご検討いただきます。

久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査
【１７歳以下】

回答集計結果



平成30年1月
久留米市

目次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象者	1
3.	調査期間	1
4.	回収結果	1
5.	集計・分析上の注意	1
第2章	調査結果【0～17歳】	2
(1)	ケガの状況（子どもについて）	4
(2)	ケガの原因	4
(3)	ケガをしたときの状況	4
(4)	ケガをした場所	5
(5)	ケガをした状況・きっかけ	5
(6)	ケガをした部位	5
(7)	ケガの種類	6
(8)	自宅でのケガの状況とケガをした際の対応（未就学児）	6
(9)	家庭内の安全対策の認知度と実践状況（未就学児）	7
(10)	久留米市内でのケガの状況とケガをした際の対応（未就学児）	8
(11)	自転車の利用状況	9
(12)	自転車保険等の加入状況	9
(13)	ヘルメットの着用状況	9
(14)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）	9
(15)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）	10
(16)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）	10
(17)	交通事故にあったまたはあいそうになったときの状況	10
(18)	虐待にあたると思う行為（保護者）	11
(19)	虐待に関わる情報の認知度（保護者）	11
(20)	児童虐待を見聞きした経験の有無（保護者）	11
(21)	虐待をしたと思った経験の有無（保護者）	12
(22)	自身の行為について感じること（保護者）	12
(23)	自身の虐待行為についての相談状況（保護者）	12
(24)	相談相手（保護者）	13
(25)	児童虐待防止として有効な手段（保護者）	13
(26)	保健室の利用状況（小学1年生以上）	14
(27)	保健室を利用した理由（小学1年生以上）	14
(28)	主な交通手段（小学1年生以上）	14
(29)	不審者にあった経験の有無（小学1年生以上）	15
(30)	不審者にあった際の対応（小学1年生以上）	15
(31)	子どもが犯罪にあうことに対する不安	16

(32)	子どもが巻き込まれる可能性があると思う犯罪	16
(33)	子どもが犯罪に巻き込まれると思う状況	16
(34)	子どもに対する防犯の取り組み	17
(35)	子どもの「男は仕事、女は家庭」という考え方について(中学1年生以上)	18
(36)	子どもの「暴力」に対する考え方(中学1年生以上)	18
(37)	子どものデートDVという言葉の認知度(中学1年生以上)	18
(38)	子どもがデートDVを受けた又は見聞きした経験(中学1年生以上)	18
(39)	子どもの「パープルリボン」の認知度(中学1年生以上)	19
(40)	自然災害から身を守るために重要だと思うこと(小学1年生以上)	19
(41)	「自助」の重要性を教えるために重要だと思うこと(小学1年生以上)	19
(42)	子どもの地域の避難所の認知度(小学1年生以上)	20
(43)	自主防災組織が行なう避難訓練や講演会等の参加状況(小学1年生以上)	20
(44)	災害が発生したときのひとりで避難できるか(小学1年生以上)	20

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握する目的で、実施したものである。

2. 調査対象者

- ①市内に居住する0歳～17歳の男女 1,000人
 - ②市内に居住する18歳～64歳の男女 1,500人
 - ③市内に居住する65歳以上の男女 1,000人
- 合計 3,500人

[対象者抽出方法]

住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

3. 調査期間

[調査開始] 平成29年8月17日

[投函期限] 平成29年8月31日

4. 回収結果

	設定標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
0～17歳	1,000	574	57.4%
18～64歳	1,500	703	46.9%
65歳以上	1,000	727	72.7%
計	3,500	2,004	57.3%

5. 集計・分析上の注意

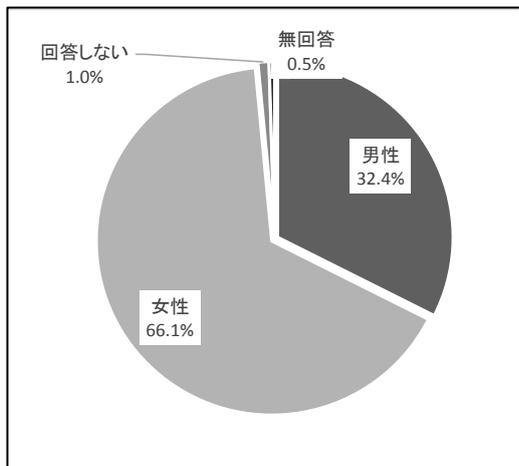
図表中の「N」はサンプル数（回答者数）を示す。

図表中の値は原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で示した。端数処理（小数点第2位を四捨五入）のため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。なお、複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。また年代別等のクロス集計は、回答に年代等不明（無回答）がある場合、各項目のサンプル数の合計が全体サンプル数と合致しない場合がある

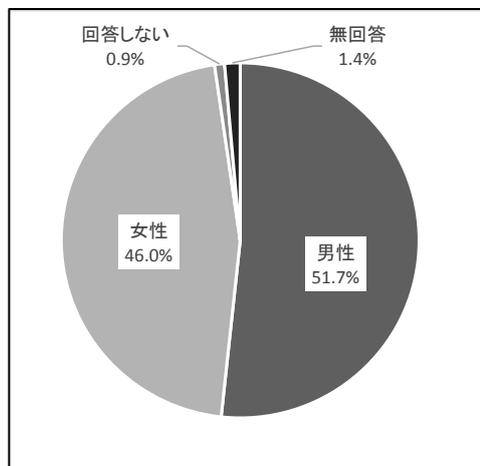
第2章 調査結果【0～17歳】

1. 調査回答者の属性

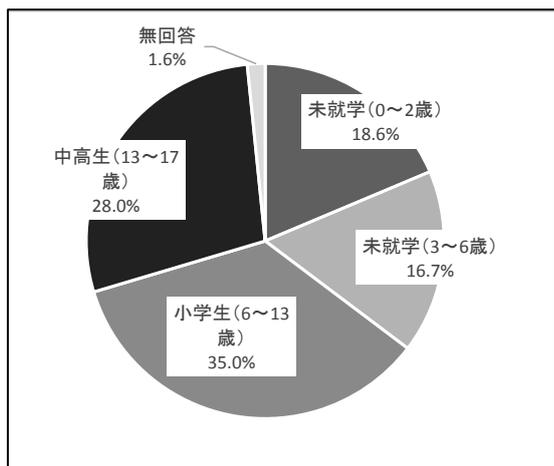
(1) 回答者の性別



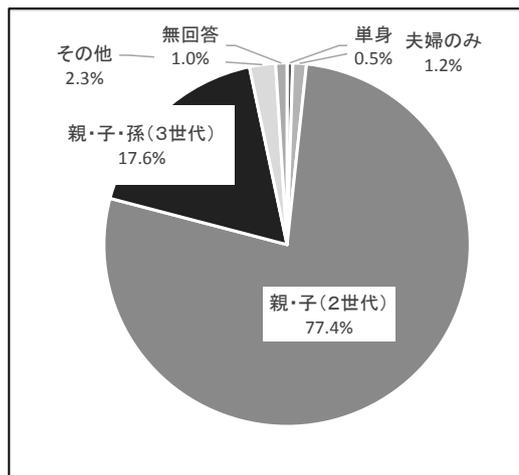
(2) 性別



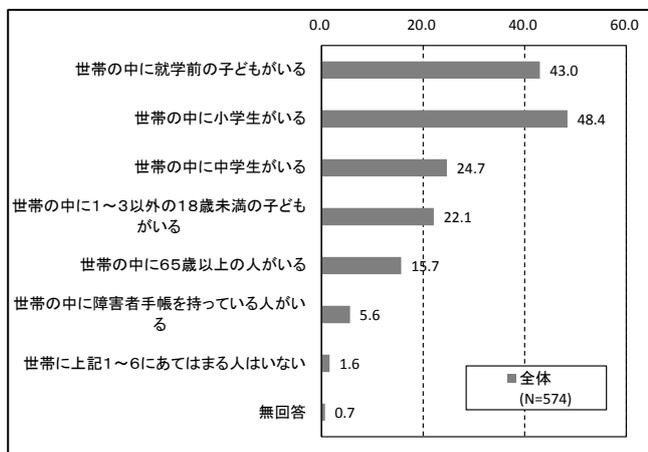
(3) 子どもの年齢 (学年)



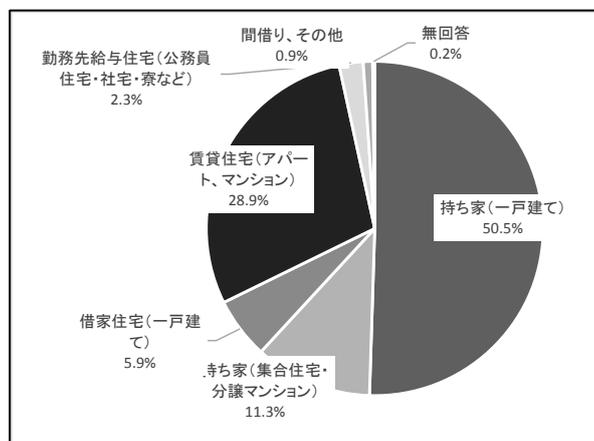
(4) 家族構成



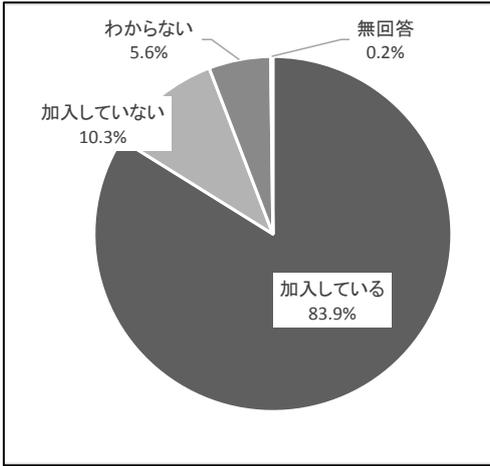
(5) 同居している家族



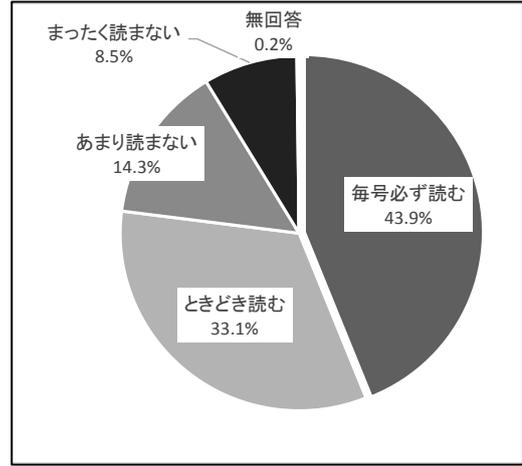
(6) 住居形態



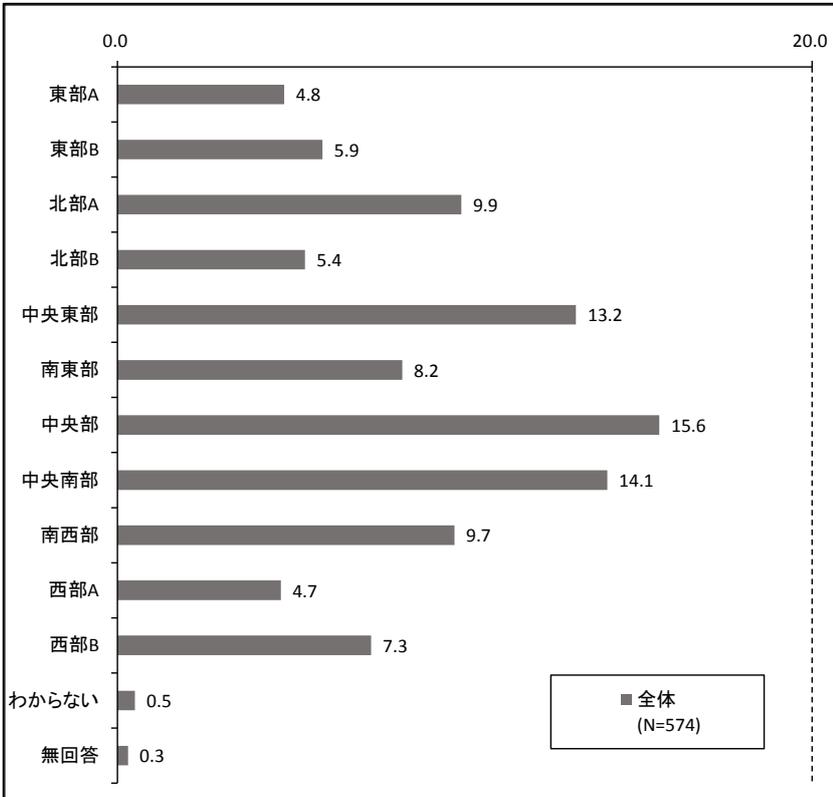
(7) 自治会の加入状況



(8) 「広報くるめ」の閲読状況



(9) 居住校区

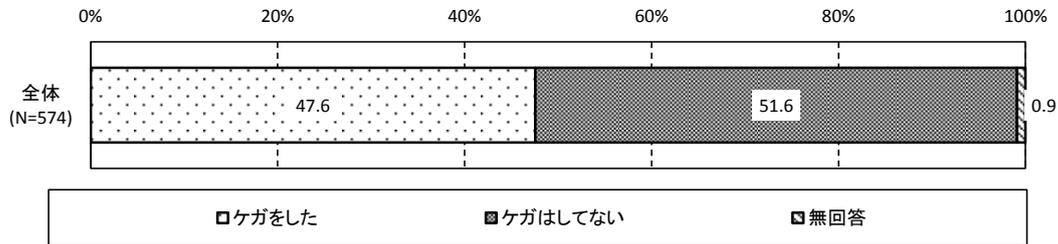


< 居住校区の詳細 >

東部A					東部B					北部A			北部B			中央東部						
山川	山本	草野	善導寺	大橋	船越	水分	栗刈	川会	竹野	水縄	田主丸	小森野	谷川	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島	西国分	東国分	御井	
南東部			中央部					中央南部			南西部			西部A			西部B					
上津	高良内	青峰	荘島	日吉	篠山	京町	南薫	長門石	鳥飼	金丸	南	津福	荒木	大善寺	安武	城島	下田	青木・浮島	江上	犬塚	三瀬	西牟田

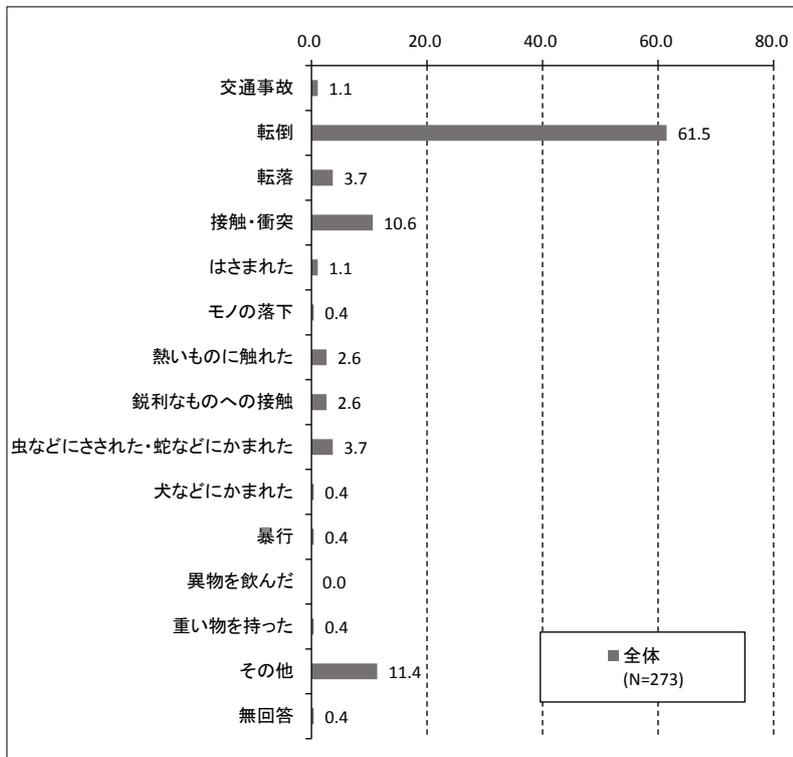
(1) ケガの状況 (子どもについて)

問 1. お子さんは、過去 1 年間(平成 2 8 年 8 月以降)にケガをされましたか。(○はひとつ)(ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)



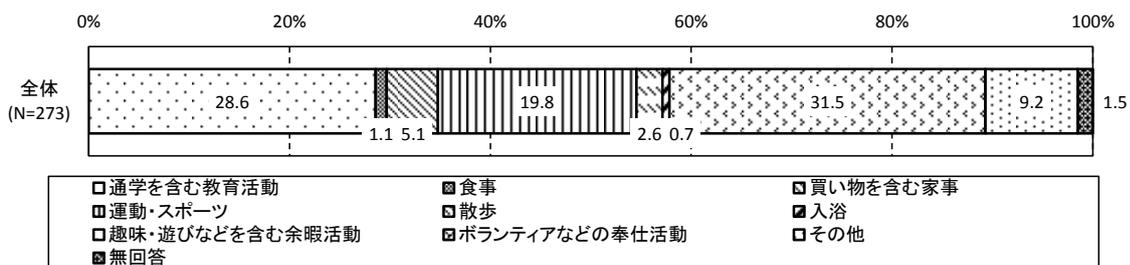
(2) ケガの原因

問 1-1. ケガの原因は何でしたか。(○はひとつ)



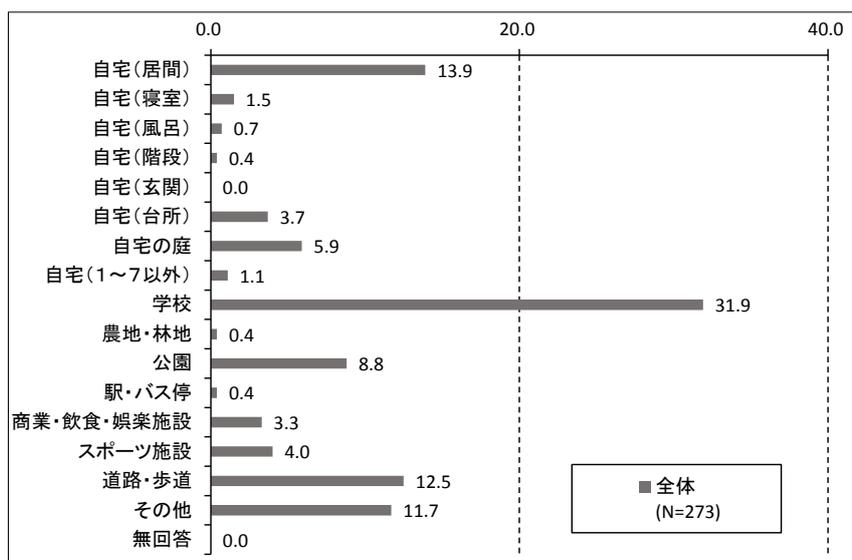
(3) ケガをしたときの状況

問 1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(○はひとつ)



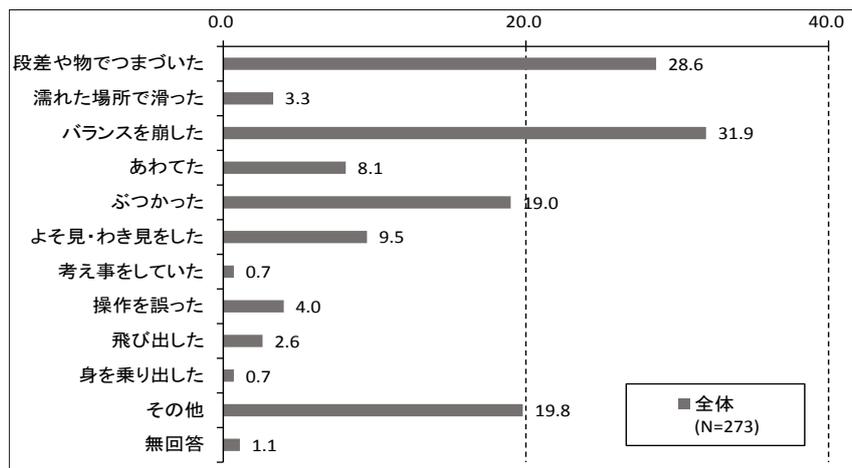
(4) ケガをした場所

問 1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(○はひとつ)



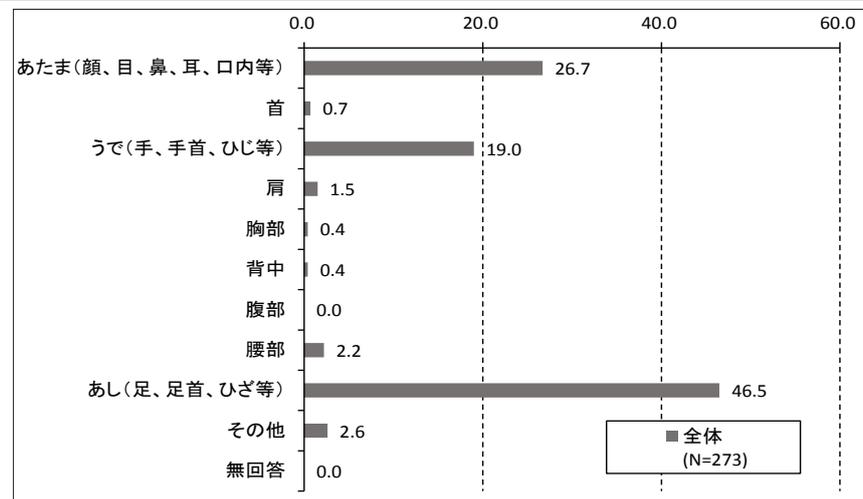
(5) ケガをした状況・きっかけ

問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



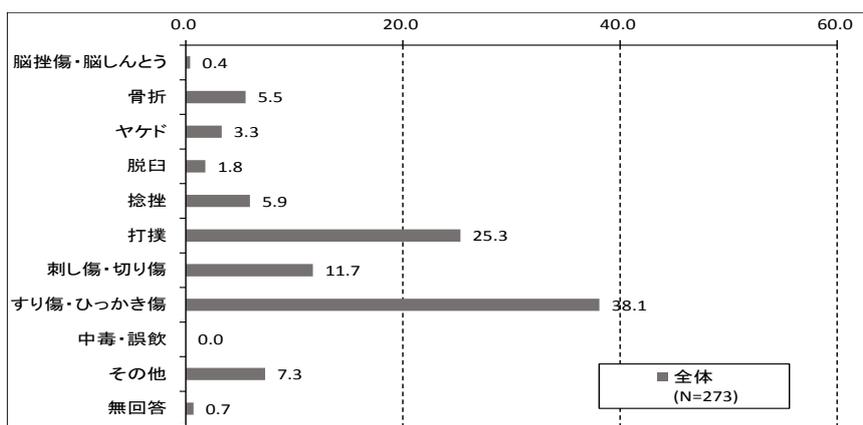
(6) ケガをした部位

問 1-5. ケガをした部位(からだの場所)はどこですか。(○はひとつ)



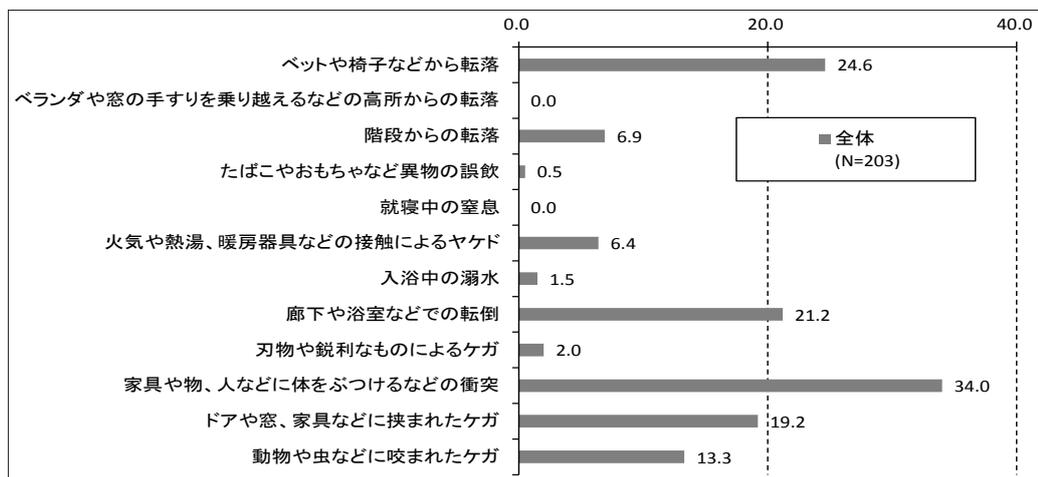
(7) ケガの種類

問 1-6. どのようなケガでしたか。(〇はひとつ)



(8) 自宅でのケガの状況とケガをした際の対応 (未就学児)

問 2. お子さんは、過去 1 年間(平成 2 8 年 8 月以降)に、自宅でケガをされましたか。該当するものを選んでください。

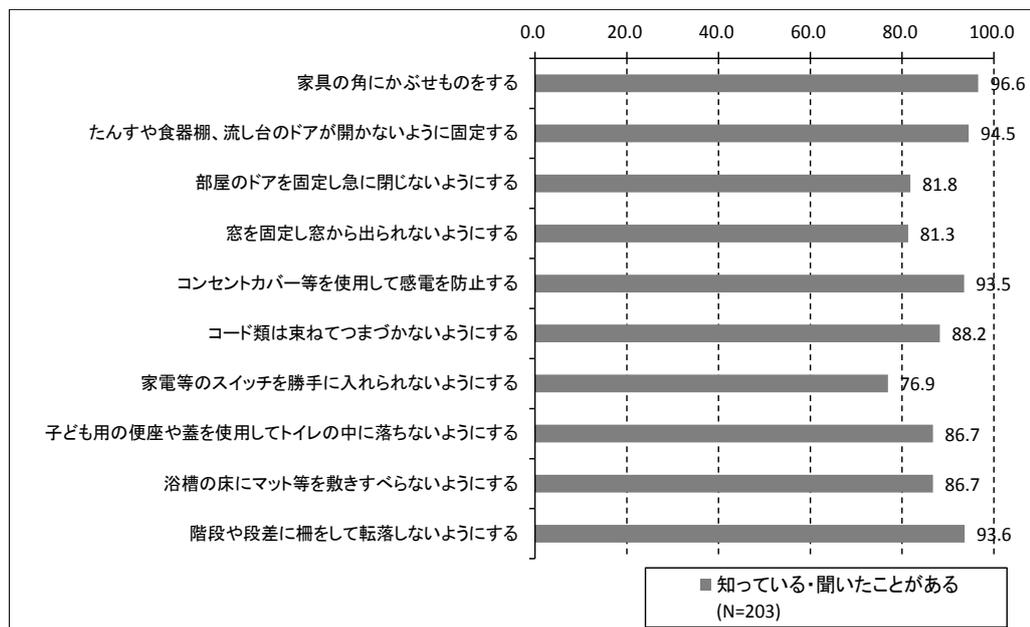


	ケガをした状況		大人がいた		医療機関に行った	
	合計	%	合計	%	合計	%
ベッドや椅子などから転落	50	24.6	45	90.0	2	4.0
ベランダや窓の手すりを乗り越えるなどの高所からの転落	-	-	-	-	-	-
階段からの転落	14	6.9	11	78.6	1	7.1
たばこやおもちゃなど異物の誤飲	1	0.5	1	100.0	0	0.0
就寝中の窒息	-	-	-	-	-	-
火気や熱湯、暖房器具などの接触によるヤケド	13	6.4	10	76.9	3	23.1
入浴中の溺水	3	1.5	3	100.0	0	0.0
廊下や浴室などでの転倒	43	21.2	38	88.4	1	2.3
刃物や鋭利なものによるケガ	4	2.0	3	75.0	1	25.0
家具や物、人などに体をぶつけるなどの衝突	69	34.0	64	92.8	3	4.3
ドアや窓、家具などに挟まれたケガ	39	19.2	37	94.9	0	0.0
動物や虫などに咬まれたケガ	27	13.3	22	81.5	3	11.1

(9) 家庭内の安全対策の認知度と実践状況（未就学児）

問 3. あなたは、家庭内の安全対策について、知っていたり、聞いたことがありますか。

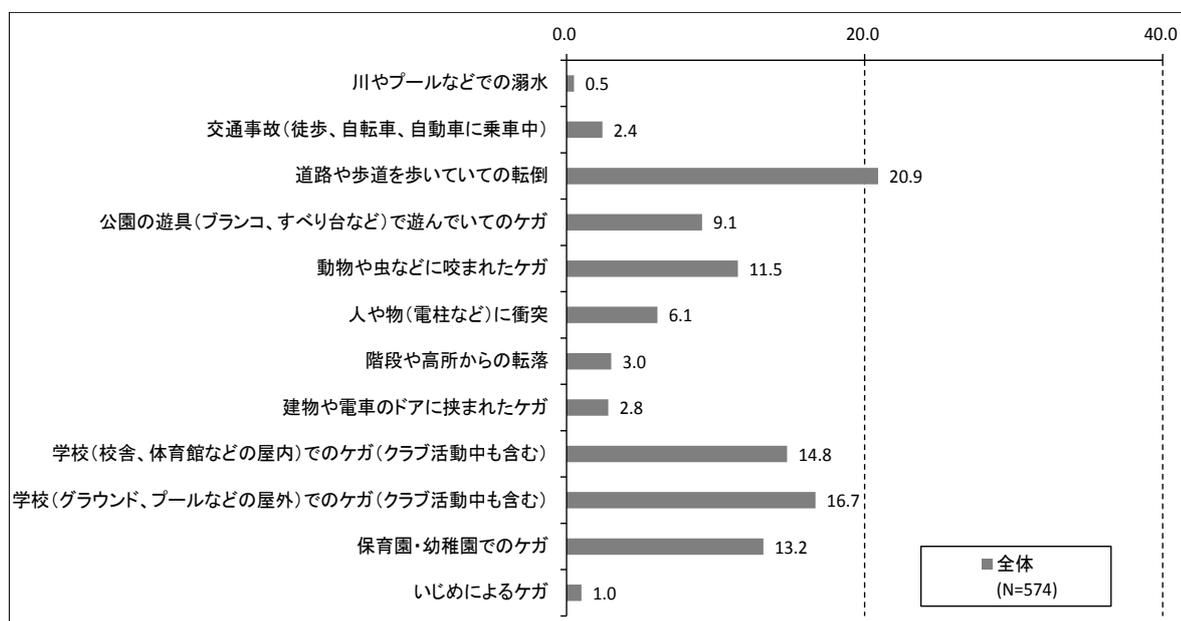
該当するものを選んでください。



	実践している		実践していない	
	合計	%	合計	%
家具の角にかぶせものをする	93	47.4	92	46.9
たんすや食器棚、流し台のドアが開かないように固定する	92	47.9	90	46.9
部屋のドアを固定し急に閉じないようにする	62	37.3	95	57.2
窓を固定し窓から出られないようにする	67	40.6	92	55.8
コンセントカバー等を使用して感電を防止する	82	43.2	98	51.6
コード類は束ねてつまづかないようにする	90	50.3	79	44.1
家電等のスイッチを勝手に入れられないようにする	47	30.1	99	63.5
子ども用の便座や蓋を使用してトイレの中に落ちないようにする	105	59.7	62	35.2
浴槽の床にマット等を敷きすべらないようにする	71	40.3	98	55.7
階段や段差に柵をして転落ないようにする	55	28.9	126	66.3

(10)久留米市内でのケガの状況とケガをした際の対応（未就学児）

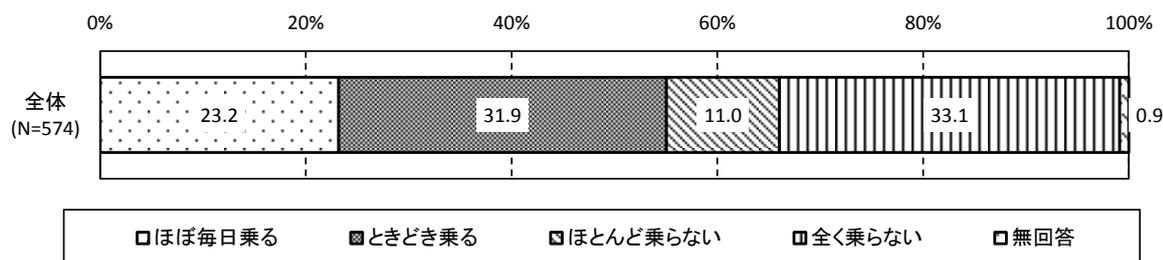
問 4. お子さんは、過去1年間(平成28年8月以降)に、久留米市内(自宅を除く)で、ケガをされましたか。該当するものを選んでください。



	ケガをした状況		大人がいた		医療機関に行った	
	合計	%	合計	%	合計	%
川やプールなどでの溺水	3	0.5	2	66.7	0	0.0
交通事故(徒歩、自転車、自動車に乗車中)	14	2.4	5	35.7	6	42.9
道路や歩道を歩いている転倒	120	20.9	76	63.3	7	5.8
公園の遊具(ブランコ、すべり台など)で遊んでいるケガ	52	9.1	34	65.4	3	5.8
動物や虫などに咬まれたケガ	66	11.5	34	51.5	16	24.2
人や物(電柱など)に衝突	35	6.1	20	57.1	4	11.4
階段や高所からの転落	17	3.0	9	52.9	2	11.8
建物や電車のドアに挟まれたケガ	16	2.8	10	62.5	0	0.0
学校(校舎、体育館などの屋内)でのケガ(クラブ活動中も含む)	85	14.8	40	47.1	24	28.2
学校(グラウンド、プールなどの屋外)でのケガ(クラブ活動中も含む)	96	16.7	42	43.8	19	19.8
保育園・幼稚園でのケガ	76	13.2	60	78.9	5	6.6
いじめによるケガ	6	1.0	1	16.7	0	0.0

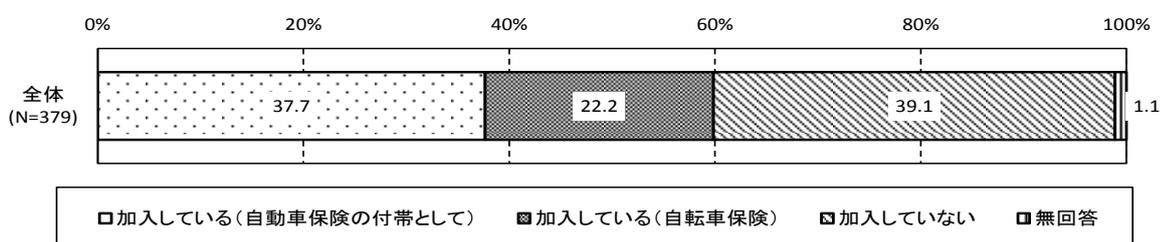
(1 1) 自転車の利用状況

問 5. お子さんは、普段、自転車に乗りますか。(○はひとつ)



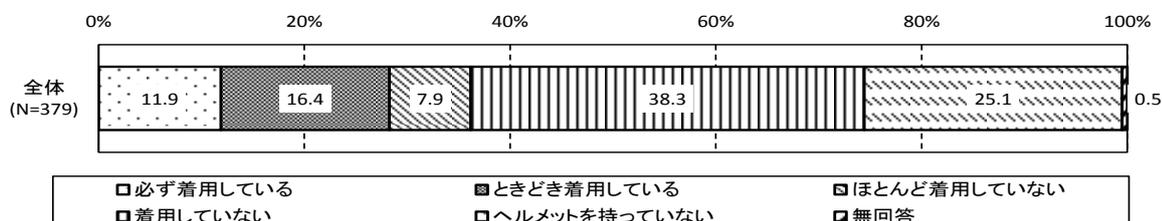
(1 2) 自転車保険等の加入状況

問 5-1. あなたは、お子さんの自転車による加害事故の損害責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。(○はひとつ)



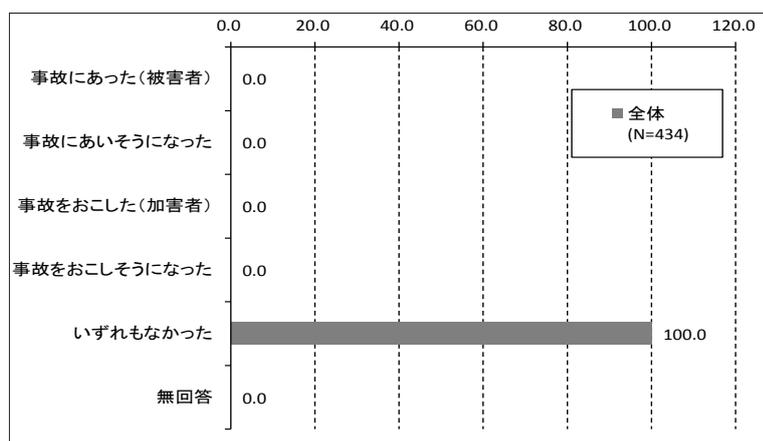
(1 3) ヘルメットの着用状況

問 5-2. お子さんは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。(○はひとつ)



(1 4) 交通事故にあった又はあいそうになった経験 (バイクの運転中)

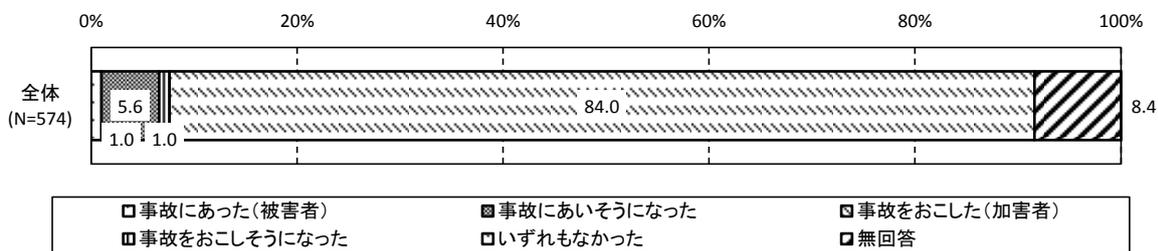
問 6. お子さんは、過去 1 年間 (平成 2 8 年 8 月以降) に、「バイクの運転中」「自転車の運転中」「歩行中」に、交通事故にあった又はあいそうになったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



(15)交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）

問 6. お子さんは、過去1年間（平成28年8月以降）に、「バイクの運転中」「自転車の運転中」「歩行中」に、交通事故にあった又はあいそうになったことがありますか。

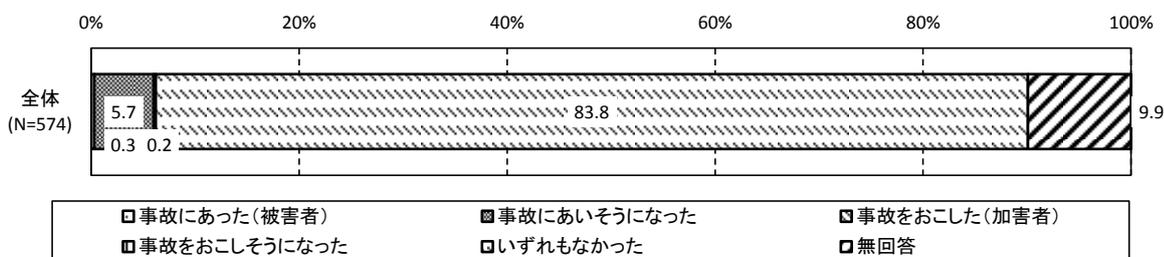
（あてはまるものすべてに○）



(16)交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）

問 6. お子さんは、過去1年間（平成28年8月以降）に、「バイクの運転中」「自転車の運転中」「歩行中」に、交通事故にあった又はあいそうになったことがありますか。

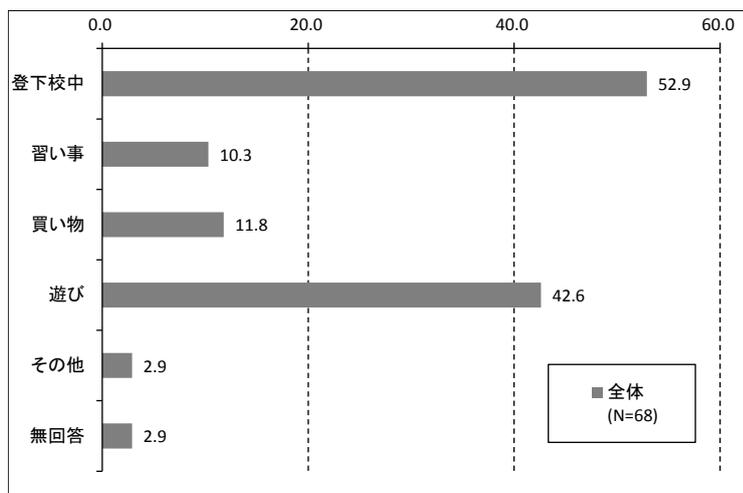
（あてはまるものすべてに○）



(17)交通事故にあったまたはあいそうになったときの状況

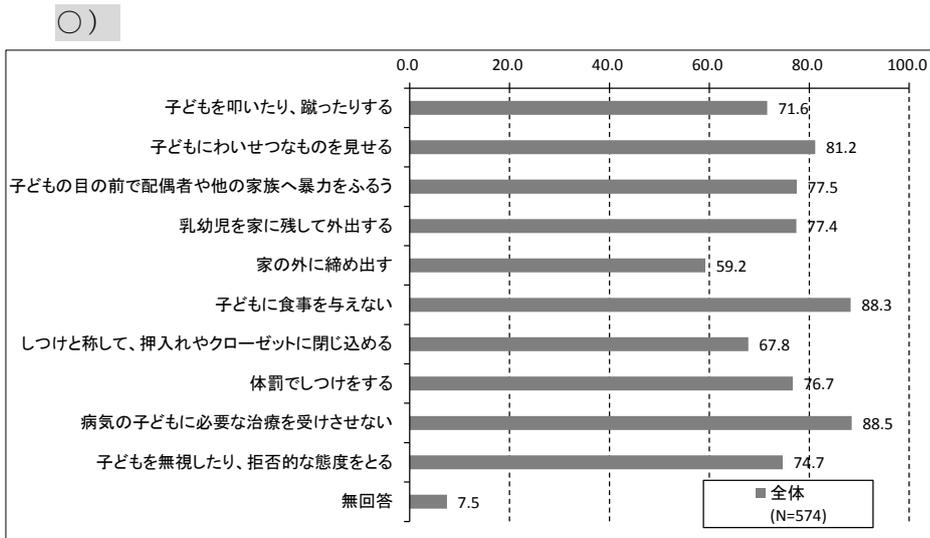
問 6-1. お子さんは、どのようなときに交通事故にあった又はあいそうになりましたか。

（あてはまるものすべてに○）



(18) 虐待にあたると思う行為 (保護者)

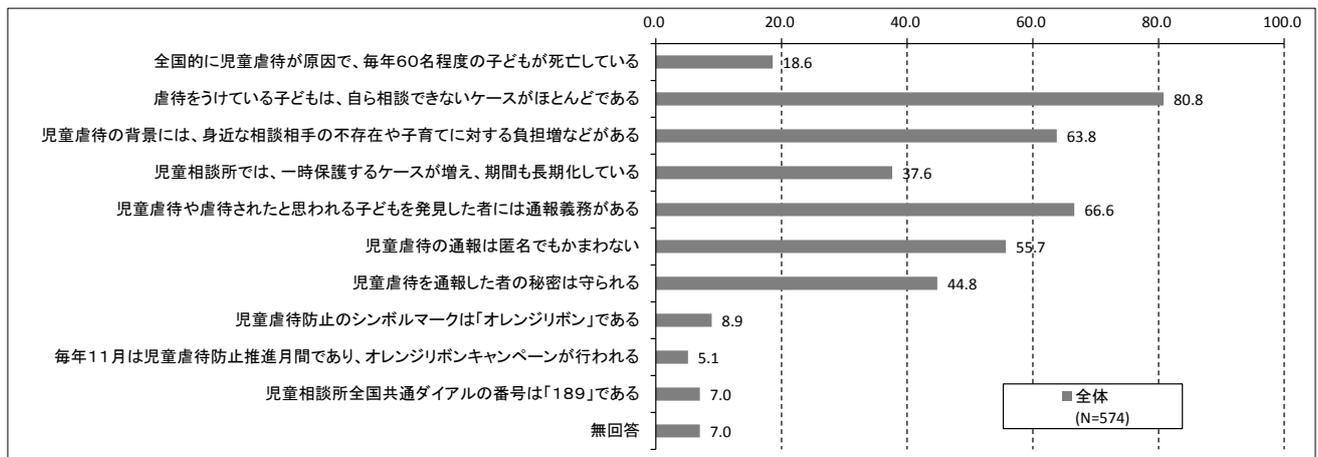
問7. あなたは、次の行為は児童虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(19) 虐待に関わる情報の認知度 (保護者)

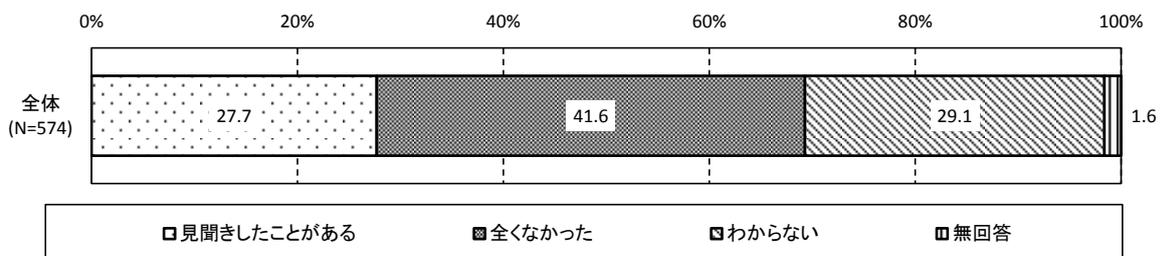
問8. あなたは、児童虐待について、次のことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

てに○)



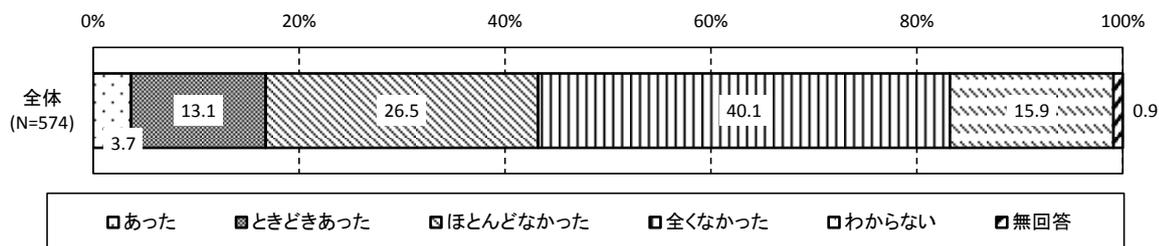
(20) 児童虐待を見聞きした経験の有無 (保護者)

問9. あなたは、これまで児童虐待を見聞きしたことがありますか。(○はひとつ)



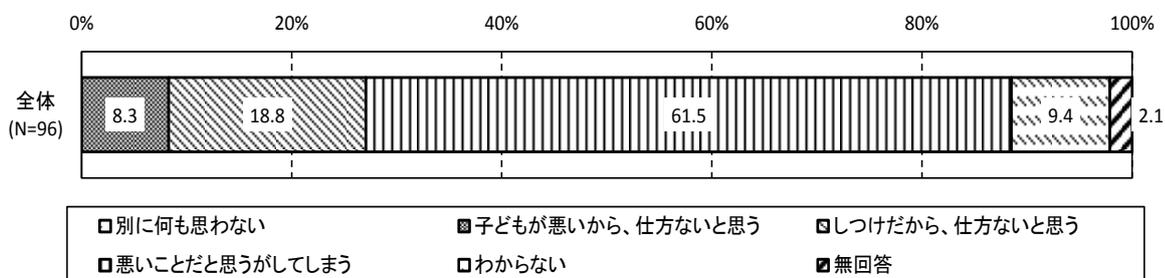
(2 1)虐待をしたと思った経験の有無 (保護者)

問 10. あなたは、これまで自分が児童虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(〇はひとつ)



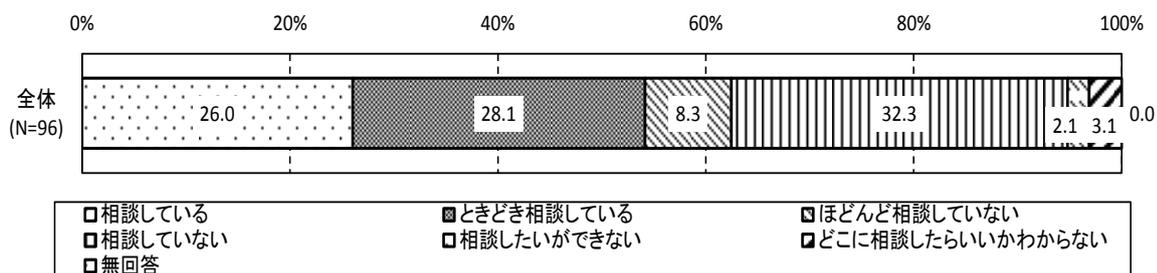
(2 2)自身の行為について感じる事 (保護者)

問 10-1. あなたは、問 10 でお答えいただいた行為について、どう思っていますか。(〇はひとつ)



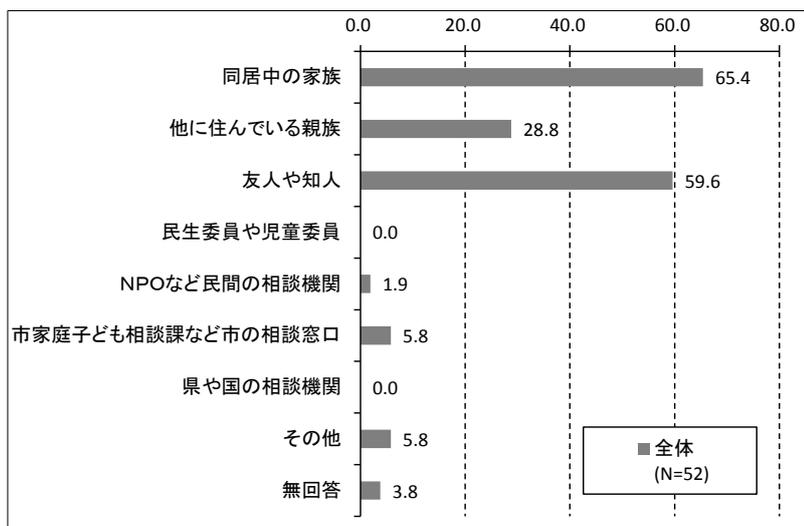
(2 3)自身の虐待行為についての相談状況 (保護者)

問 10-2. あなたは、問 10 でお答えいただいた行為について、相談していますか。(〇はひとつ)



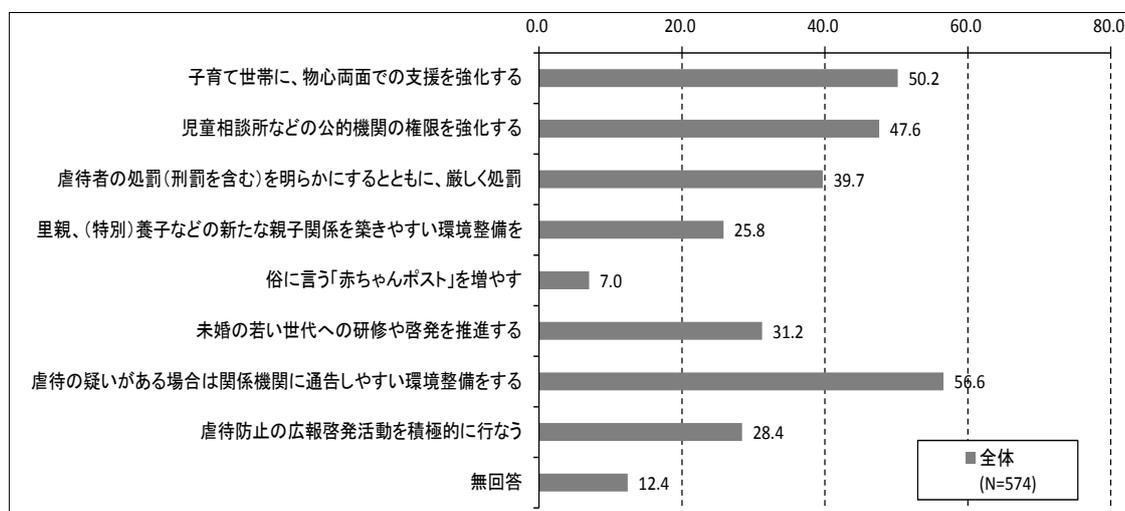
(24) 相談相手 (保護者)

問 10-3. あなたは、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)



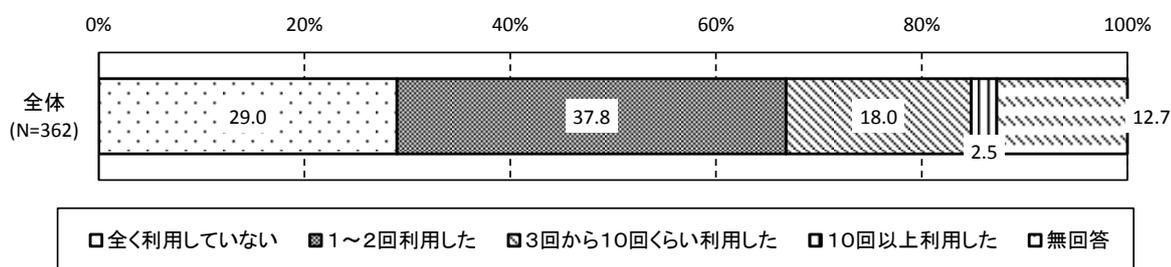
(25) 児童虐待防止として有効な手段 (保護者)

問 11. あなたは、児童虐待の防止策として、何が有効だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



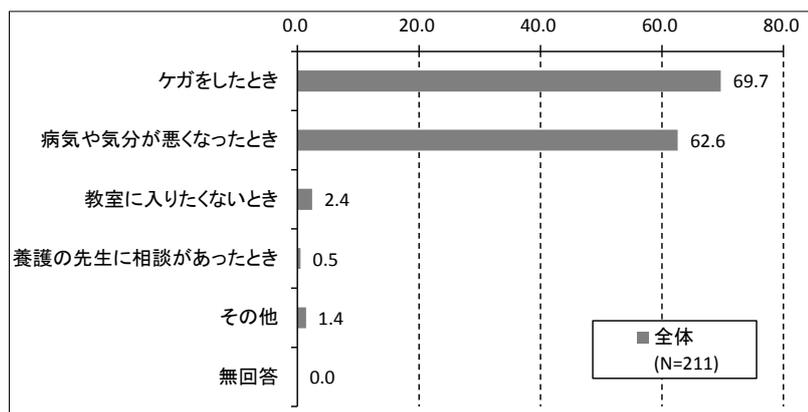
(26) 保健室の利用状況 (小学1年生以上)

問 12. お子さんは、過去1年間(平成28年8月以降)に、ケガや病気等で学校の保健室を利用したことはありますか。(○はひとつ)



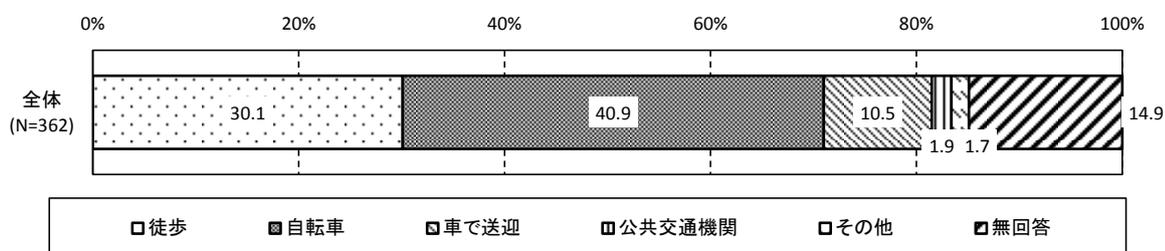
(27) 保健室を利用した理由 (小学1年生以上)

問 12-1. お子さんは、どんなときに保健室を利用しましたか。(あてはまるものすべてに○)



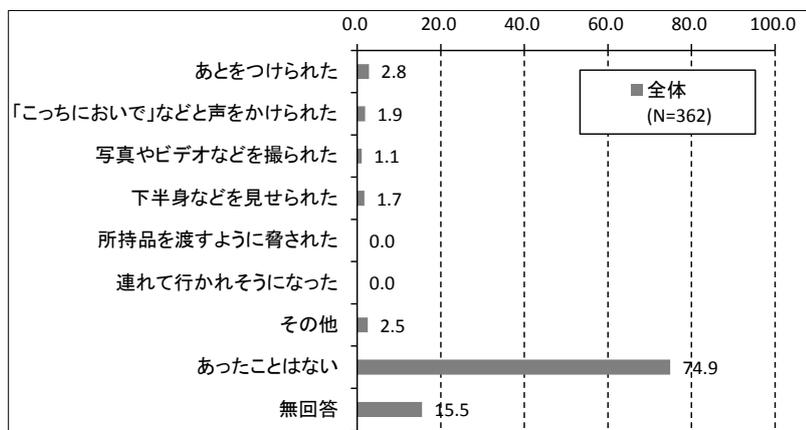
(28) 主な交通手段 (小学1年生以上)

問 13. お子さんは、帰宅後、外へ出かけるとき主な交通手段は何ですか。(○はひとつ)



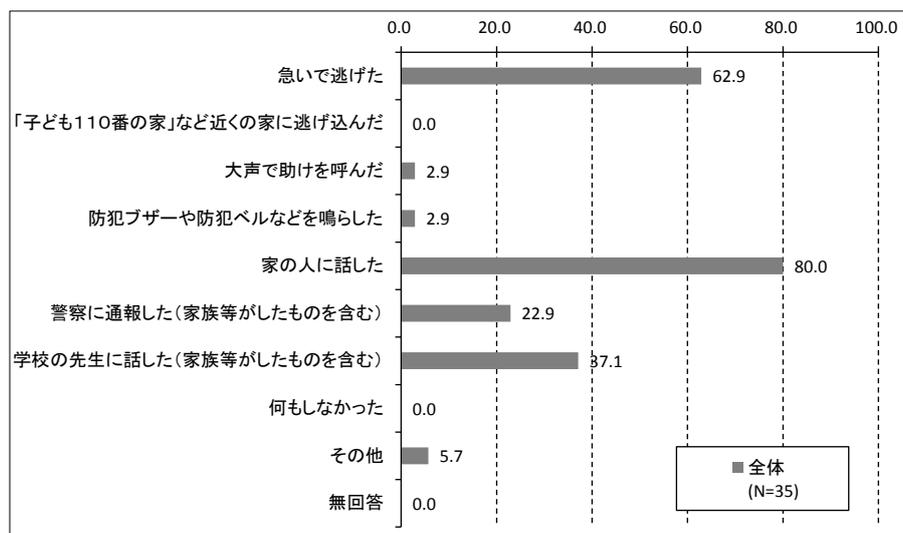
(29)不審者にあった経験の有無（小学1年生以上）

問 14. お子さんは、これまで不審者にあったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）



(30)不審者にあった際の対応（小学1年生以上）

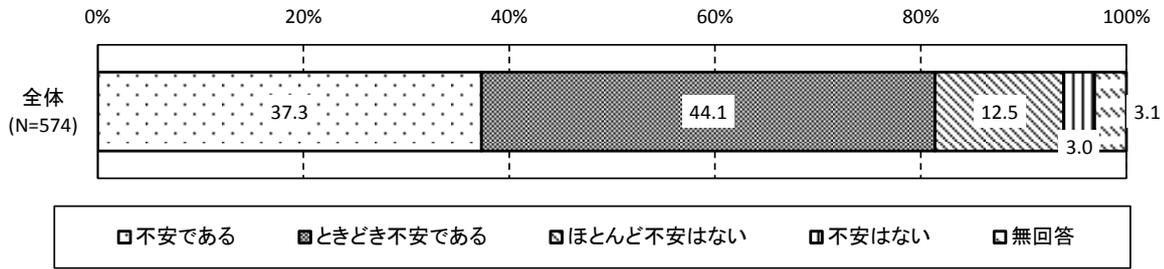
問 14-1. お子さんは、不審者にあったときどうしましたか。（あてはまるものすべてに○）



(3 1)子どもが犯罪にあうことに対する不安

問 15. あなたは、お子さんが犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。

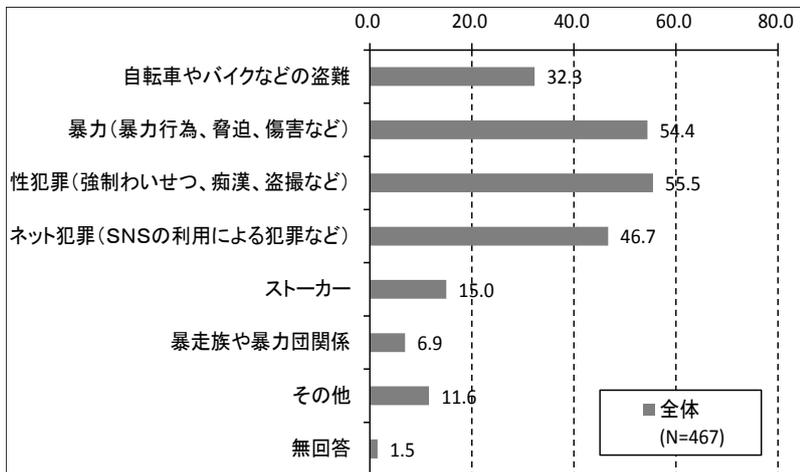
(○はひとつ)



(3 2)子どもが巻き込まれる可能性があると思う犯罪

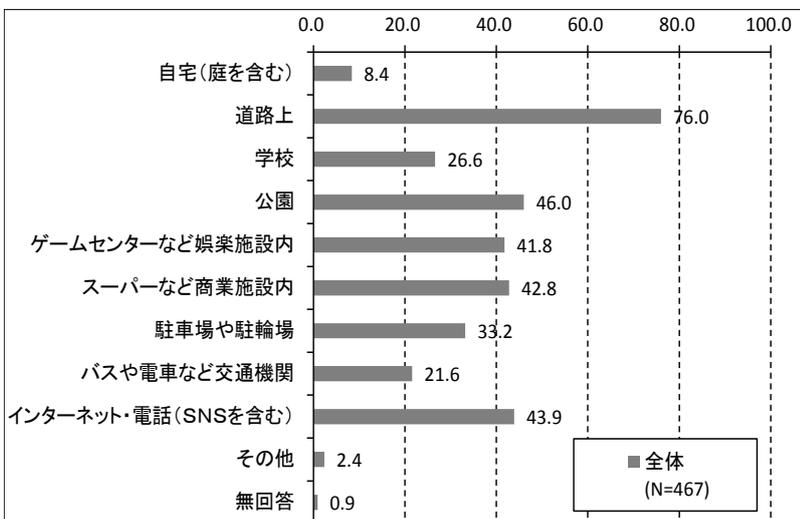
問 15-1. あなたは、お子さんがどのような犯罪に巻き込まれるかかもしれないと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

か。(あてはまるものすべてに○)



(3 3)子どもが犯罪に巻き込まれると思う状況

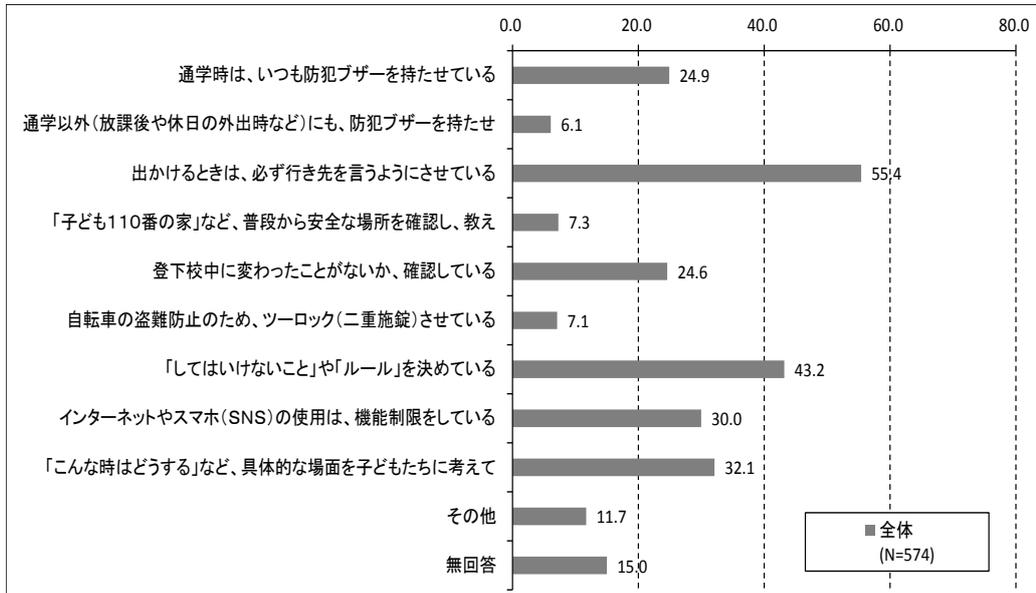
問 15-2. あなたは、お子さんがどこで犯罪に巻き込まれるかかもしれないと感じますか。



(34)子どもに対する防犯の取り組み

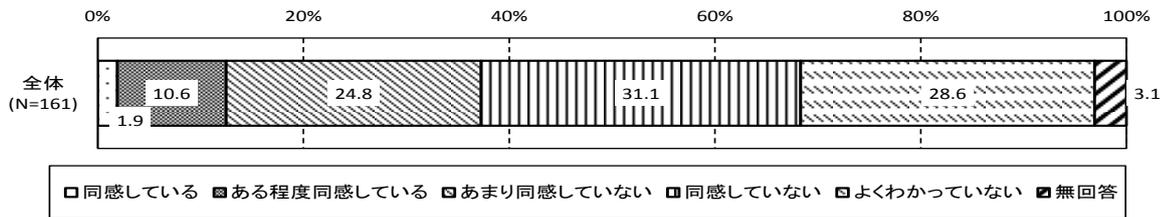
問 16. あなたは、お子さんに対してどのような防犯の取り組みを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)



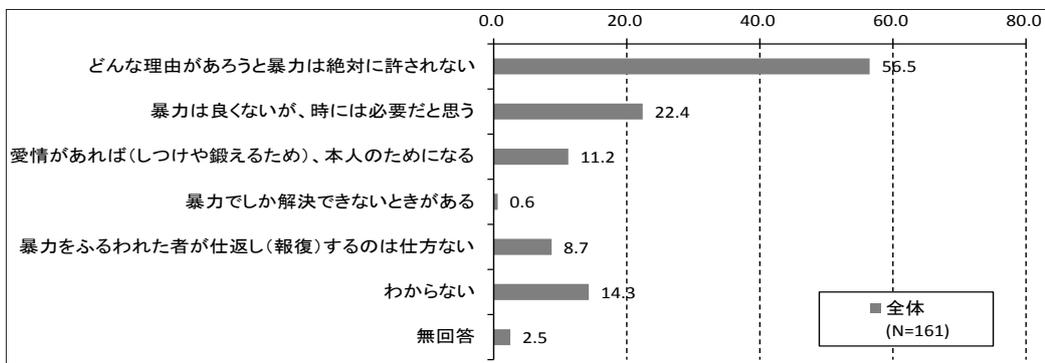
(35)子どもの「男は仕事、女は家庭」という考え方について（中学1年生以上）

問 17. お子さんは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思っていますか。（○はひとつ）



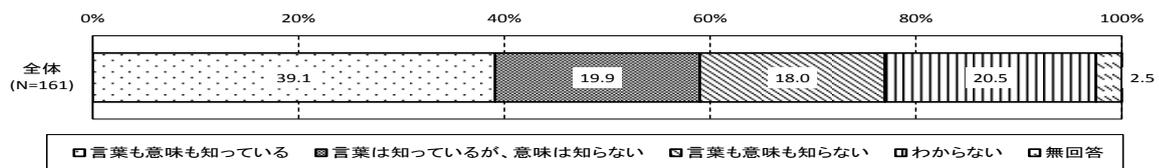
(36)子どもの「暴力」に対する考え方（中学1年生以上）

問 18. お子さんは、「暴力」についてどう考えていますか。（あてはまるものすべてに○）



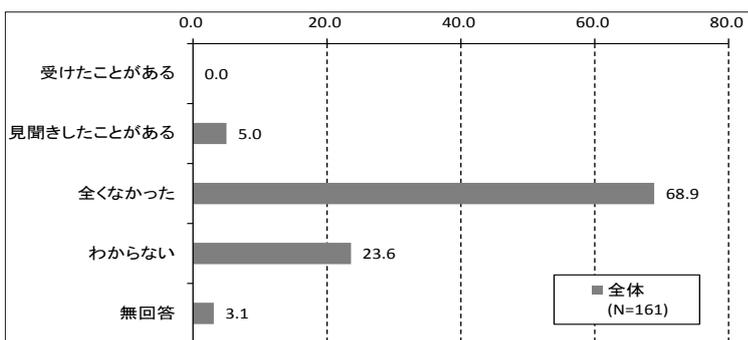
(37)子どものデートDVという言葉の認知度（中学1年生以上）

問 19. お子さんは、デートDV（ドメスティックバイオレンス）という言葉やその意味を知っていますか。（○はひとつ）



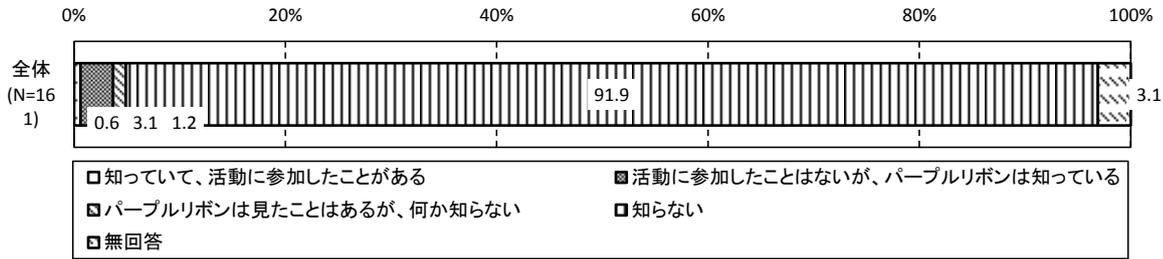
(38)子どもがデートDVを受けた又は見聞きした経験（中学1年生以上）

問 20. お子さんは、これまでデートDVを受けた又は見聞きしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）



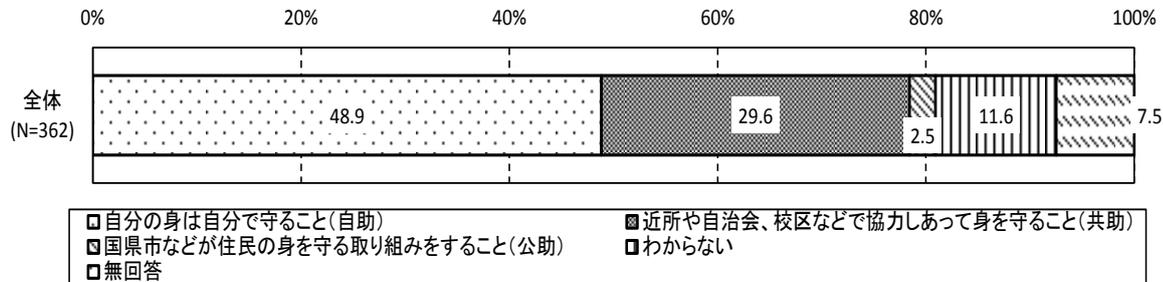
(39)子どもの「パープルリボン」の認知度（中学1年生以上）

問 21. お子さんは、「パープルリボン」について知っていますか。（○はひとつ）



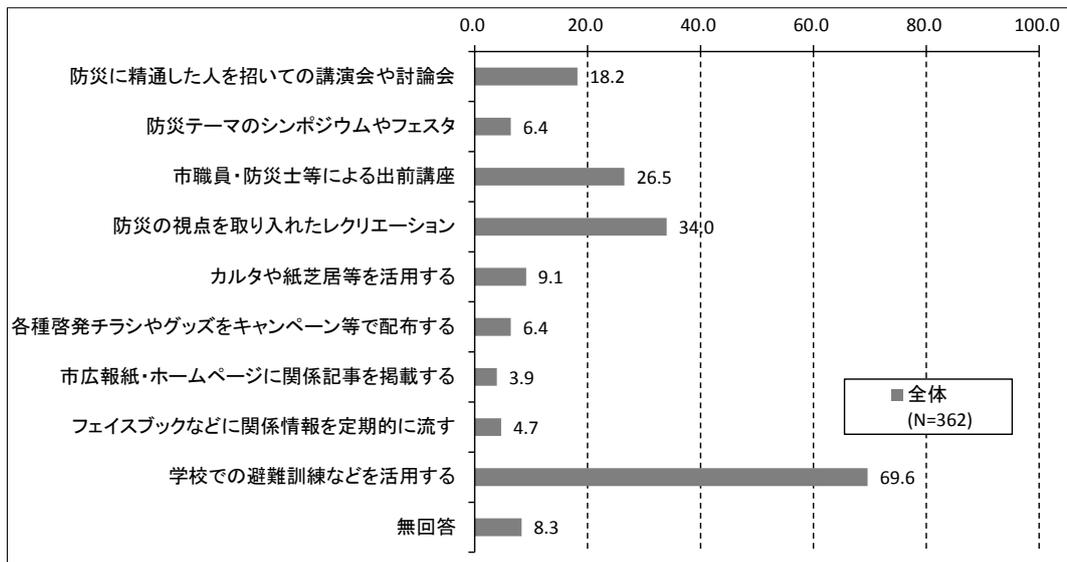
(40)自然災害から身を守るために重要だと思うこと（小学1年生以上）

問 22. お子さんは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思っていますか。（○はひとつ）



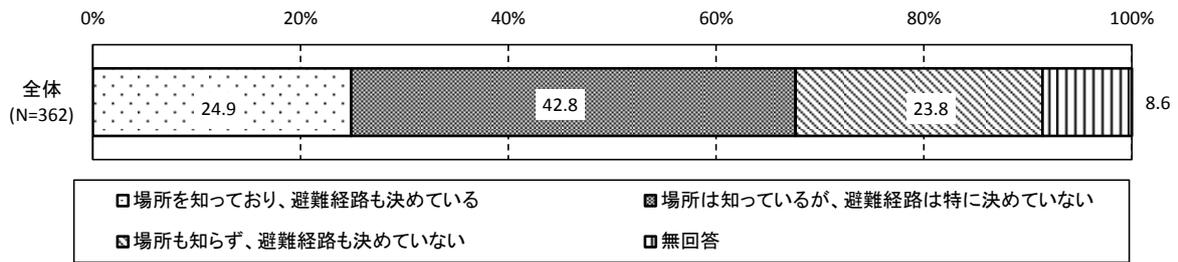
(41)「自助」の重要性を教えるために重要だと思うこと（小学1年生以上）

問 23. あなたは、お子さんに「自助」の重要性を教えるために、何が有効だと思いますか。（あてはまるもの2つに○）



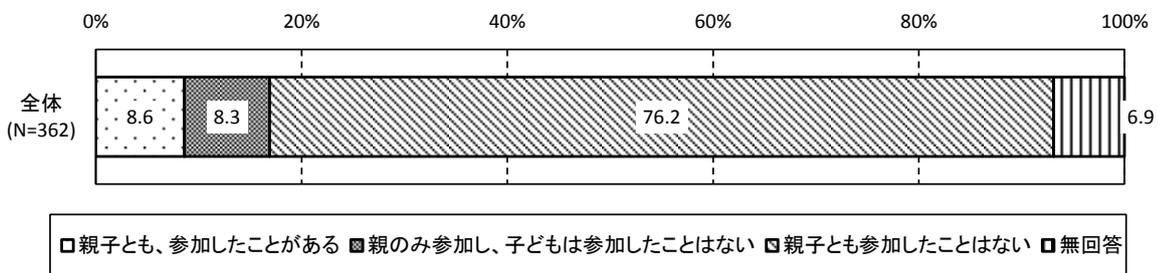
(4 2)子どもの地域の避難所の認知度 (小学 1 年生以上)

問 24. お子さんは、地域の避難所を知っていますか。(○はひとつ)



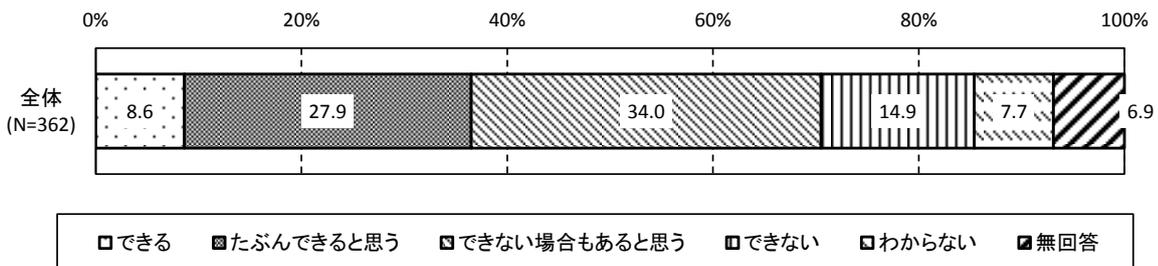
(4 3)自主防災組織が行なう避難訓練や講演会等の参加状況 (小学 1 年生以上)

問 25. 自主防災組織が行なう避難訓練や講演会等に、参加したことがありますか。(○はひとつ)



(4 4)災害が発生したときのひとりで避難できるか (小学 1 年生以上)

問 26. お子さんは、災害が発生したときに、ひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)



久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査
【18歳～64歳】

回答集計結果



平成30年1月
久留米市

目次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査期間	1
4.	回収結果	1
5.	集計・分析上の注意	1
第2章	調査結果【18～64歳】	2
1.	調査回答者の属性	2
2.	調査結果の詳細	4
(1)	ケガの状況	4
(2)	ケガの原因	4
(3)	ケガをしたときの状況	4
(4)	ケガをした場所	5
(5)	ケガをした状況・きっかけ	5
(6)	ケガをした部位	6
(7)	ケガの種類	6
(8)	自転車やバイクの運転状況	7
(9)	自転車の利用状況	7
(10)	自転車保険等の加入状況	7
(11)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）	7
(12)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）	8
(13)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）	8
(14)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）	8
(15)	交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層	9
(16)	交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層	9
(17)	交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層	9
(18)	交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層	9
(19)	交通安全について不安に思っていること	10
(20)	交通安全について特に不安に思うこと	10
(21)	シートベルトやチャイルドシートの着用状況について	10
(22)	認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について	11
(23)	認知症サポーターの認知度	11
(24)	高齢者虐待にあたると思う行為	11
(25)	虐待しているのではと思った経験の有無	11
(26)	自身の行為について感じること	12
(27)	自身の虐待行為についての相談状況	12
(28)	高齢者の虐待を見聞きした経験の有無 エラー! ブックマークが定義されていません。	
(29)	虐待がされた場所	12

(30)	高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）	13
(31)	相談又は通報しない理由	13
(32)	犯罪の被害に対する不安	14
(33)	不安に感じる犯罪	14
(34)	地域で行われている防犯活動の認知度	14
(35)	地域の防犯活動への参加状況	14
(36)	防犯活動に参加していない理由	15
(37)	犯罪被害等を受けた経験の有無	15
(38)	犯罪被害をうけた際の対応	15
(39)	「男は仕事、女は家庭」という考え方について	16
(40)	配偶者や恋人からうけるDVと思われる行為	16
(41)	DVを受けた又は見聞きした経験の有無	16
(42)	その後の対応	17
(43)	相談後の結果について	17
(44)	配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験の有無	17
(45)	自身の行為について感じること	18
(46)	自身の行為についての相談状況	18
(47)	DV防止や早期発見のために有効だと思うこと	18
(48)	「パープルリボン」の認知度	18
(49)	自殺について思うこと（生死は最終的に本人の判断に任せるべきである）	19
(50)	自殺について思うこと（自殺せずに生きていれば良いことがある）	19
(51)	自殺について思うこと（自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている）	19
(52)	自殺について思うこと（責任を取って自殺することは仕方がない）	19
(53)	自殺について思うこと（自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である）	20
(54)	「うつ病」について思うこと（うつ病は精神的な弱さや性格が原因である）	20
(55)	「うつ病」について思うこと（うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない）	20
(56)	「うつ病」について思うこと（うつ病は休養をとることが大切である）	20
(57)	「うつ病」について思うこと（うつ病は早期発見・早期治療が大切である）	21
(58)	「うつ病」について思うこと（うつ病は適切な治療により治る病気である）	21
(59)	自身がうつ病ではないかと感じたときの、専門窓口の利用意向	21
(60)	医療機関や相談窓口を利用しない理由	21
(61)	うつ病の疑いがある家族や知人に医療機関や相談窓口を勧めるか	22
(62)	自殺したいと思った又は自殺未遂の経験の有無	22
(63)	自殺したいと思った原因	22
(64)	自殺を思いとどまった要因	22
(65)	「ゲートキーパー」の認知度	23
(66)	自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと	24
(67)	災害が発生したときに重要な「共助」について	24
(68)	「自助」の重要性を啓発するために有効な手段	24

(69)	災害が発生した場合、一人で避難できるか	24
(70)	避難するための対策の有無	25
(71)	「災害時要援護者名簿」の認知度	25
(72)	「災害時要援護者名簿」の登録の有無	25
(73)	「災害時要援護者名簿」に登録していない理由	25
(74)	「災害時要援護者名簿」への登録の希望	26
第3章	調査票＜一般（18～64歳以下）＞	26

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握する目的で、実施したものである。

2. 調査対象

- ①市内に居住する0歳～17歳の男女 1,000人
 - ②市内に居住する18歳～64歳の男女 1,500人
 - ③市内に居住する65歳以上の男女 1,000人
- 合計 3,500人

[対象者抽出方法]

住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

3. 調査期間

[調査開始] 平成29年8月17日

[投函期限] 平成29年8月31日

4. 回収結果

	設定標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
0～17歳	1,000	574	57.4%
18～64歳	1,500	703	46.9%
65歳以上	1,000	727	72.7%
計	3,500	2,004	57.3%

5. 集計・分析上の注意

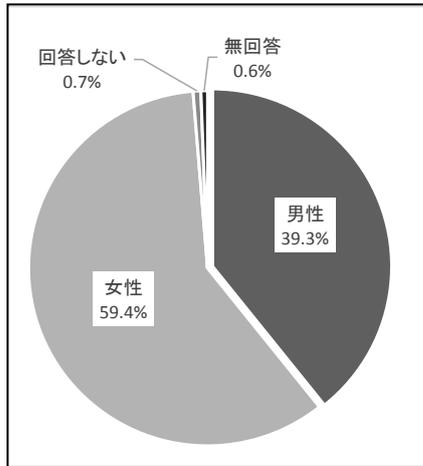
図表中の「N」はサンプル数（回答者数）を示す。

図表中の値は原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で示した。端数処理（小数点第2位を四捨五入）のため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。なお、複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。また年代別等のクロス集計は、回答に年代等不明（無回答）がある場合、各項目のサンプル数の合計が全体サンプル数と合致しない場合がある

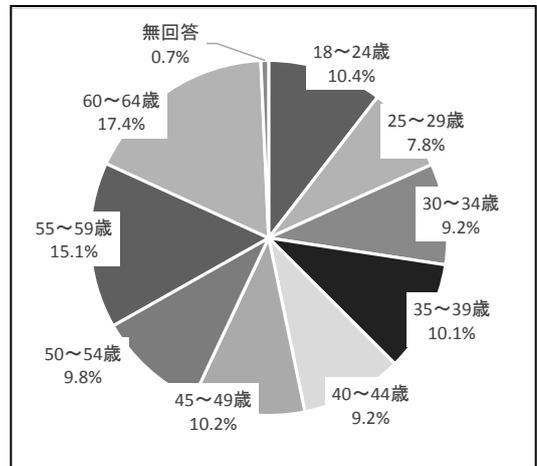
第2章 調査結果【18～64歳】

1. 調査回答者の属性

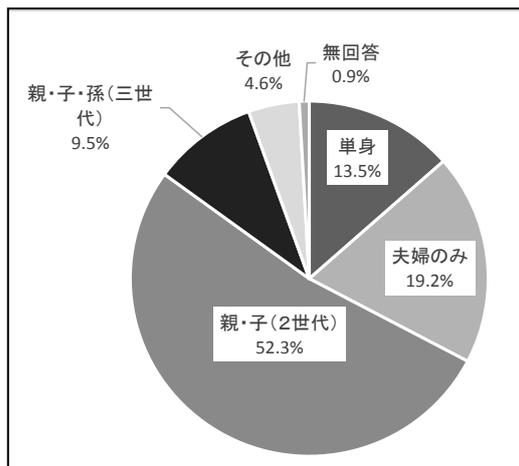
(1) 性別



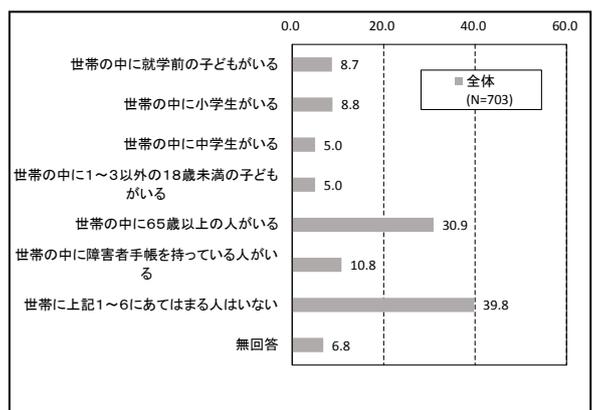
(2) 年齢



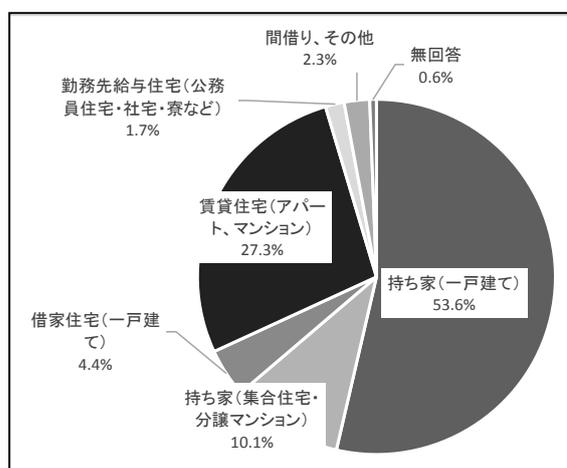
(3) 家族構成



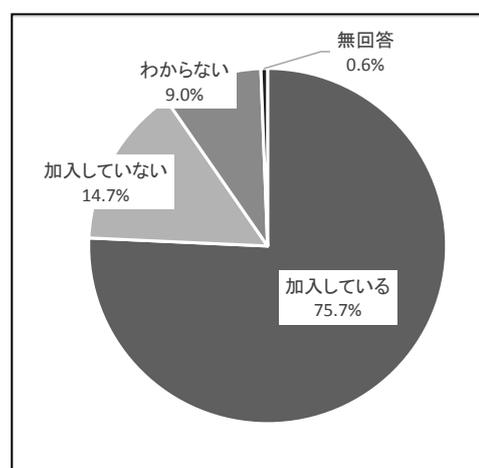
(4) 同居している家族



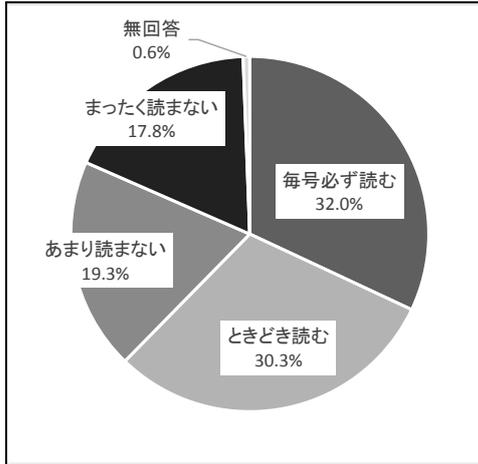
(5) 居住形態



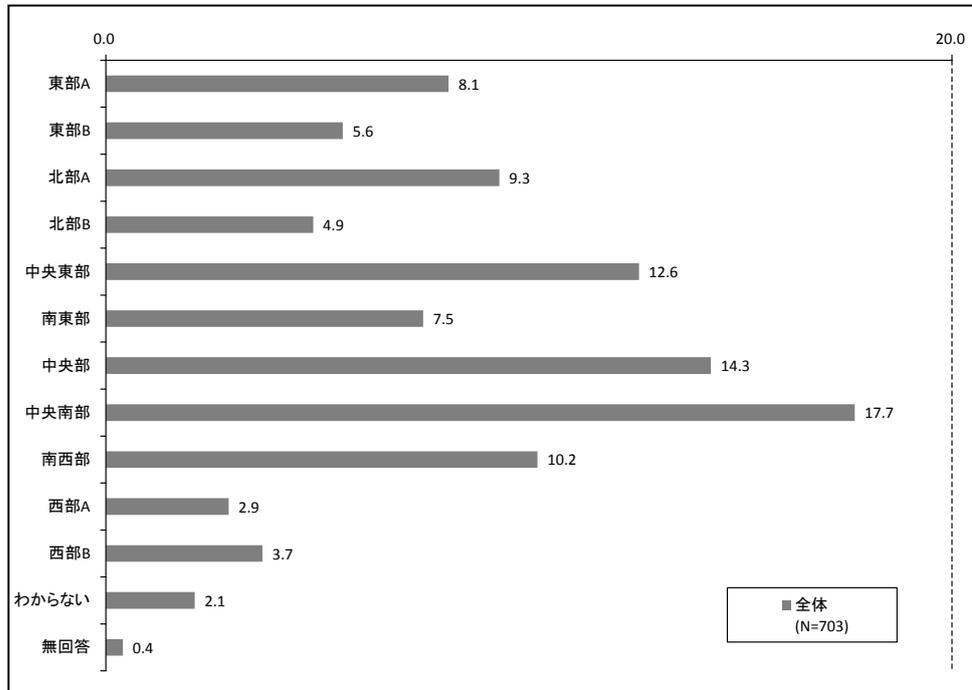
(6) 自治会の加入状況



(7) 「広報くるめ」の閲読状況



(8) 居住校区



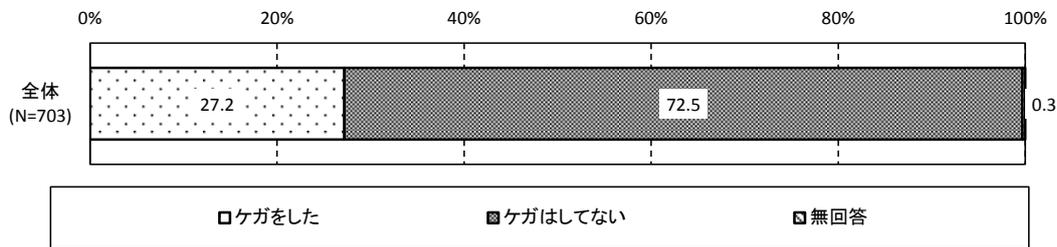
< 居住校区の詳細 >

東部A					東部B							北部A			北部B				中央東部			
山川	山本	草野	善導寺	大橋	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸	小森野	合川	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島	西園分	東園分	御井	
南東部			中央部							中央南部				南西部			西部A			西部B		
上津	高良内	青峰	荘島	日吉	篠山	京町	南薫	長門石	島飼	金丸	南	津福	荒木	大善寺	安武	城島	下田	青木・浮島	江上	犬塚	三瀧	西牟田

1 「主なケガ」について

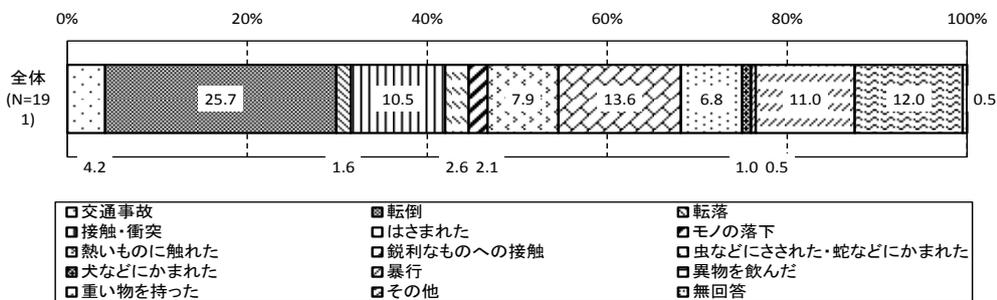
(1) ケガの状況

問 1. あなたは、過去 1 年間(平成 2 8 年 8 月以降)にケガをされましたか。(〇はひとつ)
 (ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)



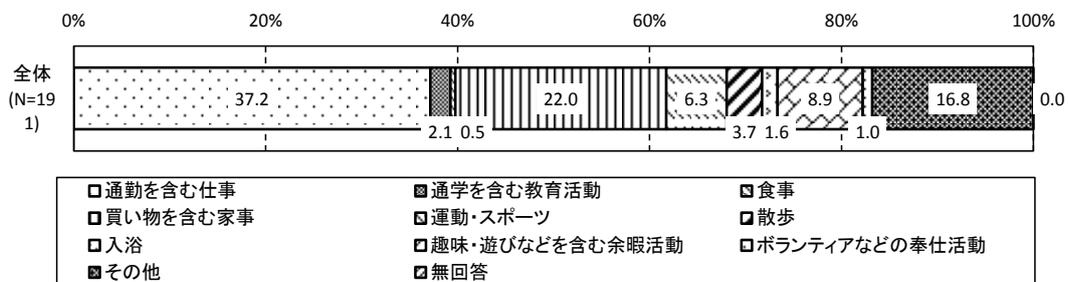
(2) ケガの原因

問 1-1. ケガの原因は何でしたか。(〇はひとつ)



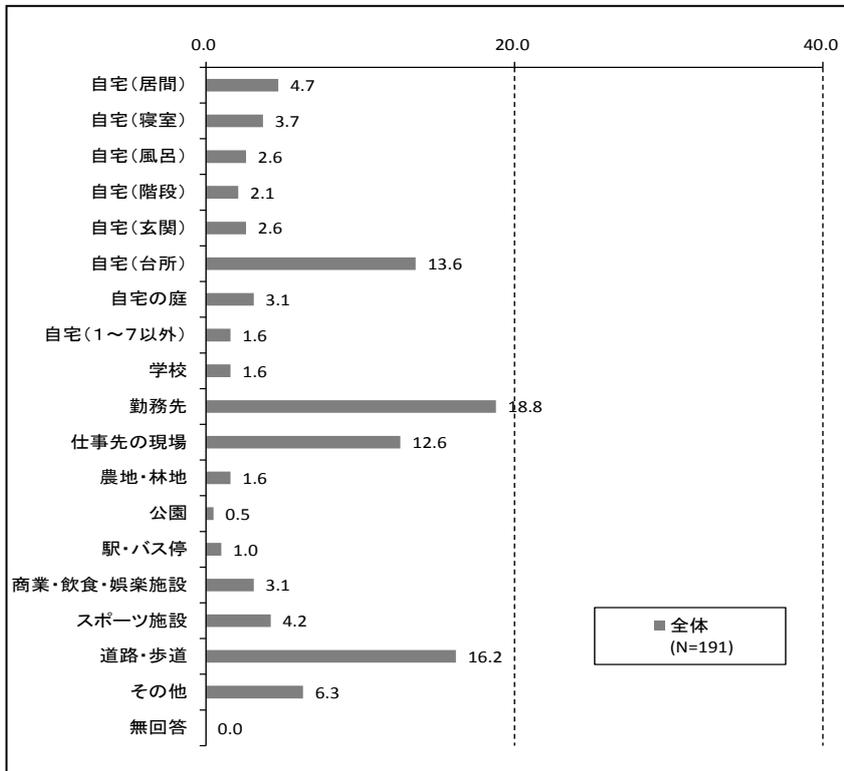
(3) ケガをしたときの状況

問 1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(〇はひとつ)



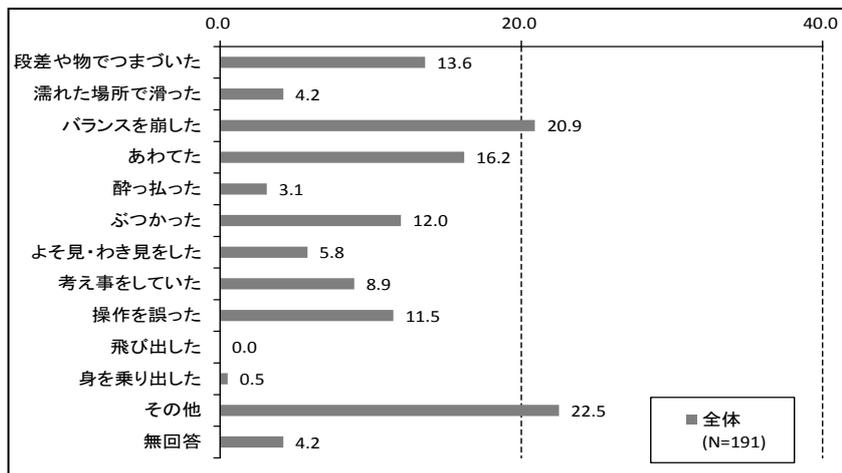
(4) ケガをした場所

問 1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(〇はひとつ)



(5) ケガをした状況・きっかけ

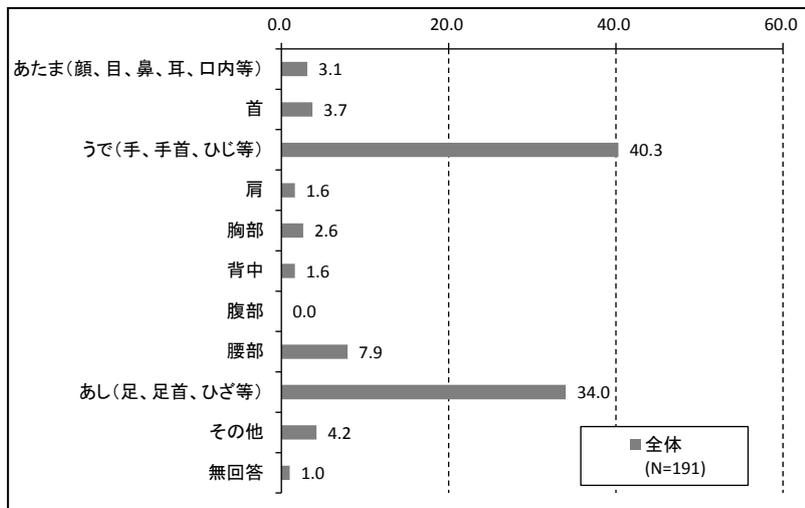
問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)



1 「主なケガ」について

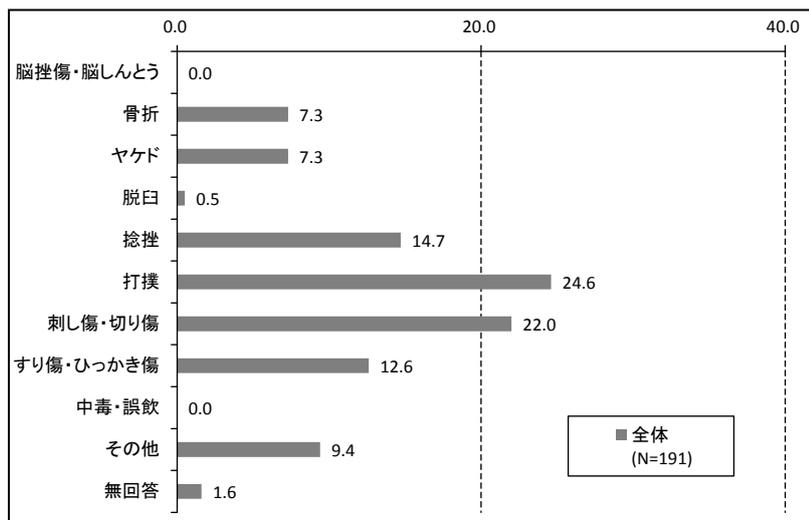
(6) ケガをした部位

問 1-5. ケガをした部位（からだの場所）はどこですか。（○はひとつ）



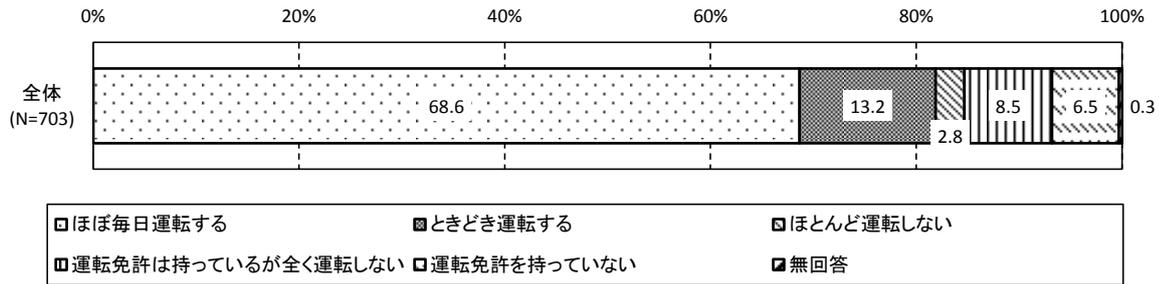
(7) ケガの種類

問 1-6. どのようなケガでしたか。（○はひとつ）



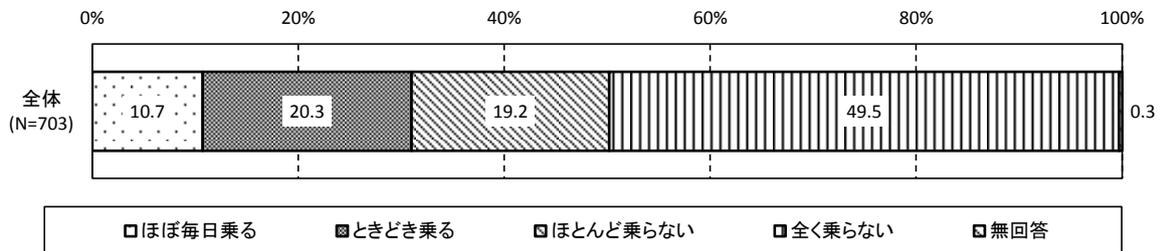
(8) 自転車やバイクの運転状況

問 2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）



(9) 自転車の利用状況

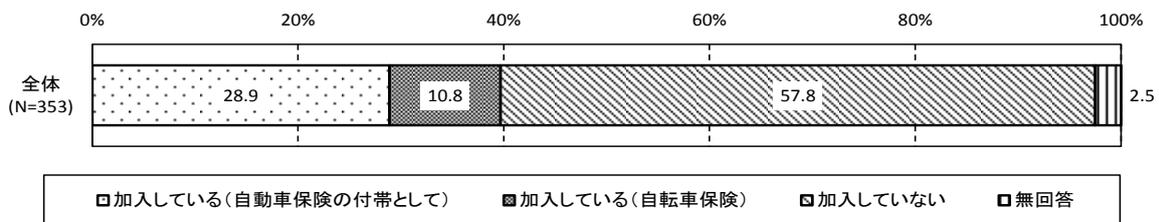
問 3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。（○はひとつ）



(10) 自転車保険等の加入状況

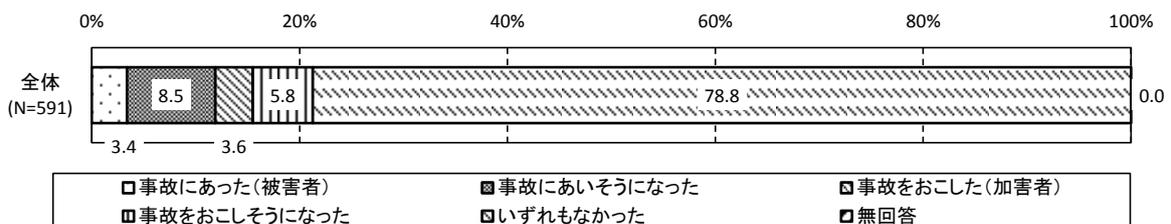
問 3 で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。

問 3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。（○はひとつ）



(11) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）

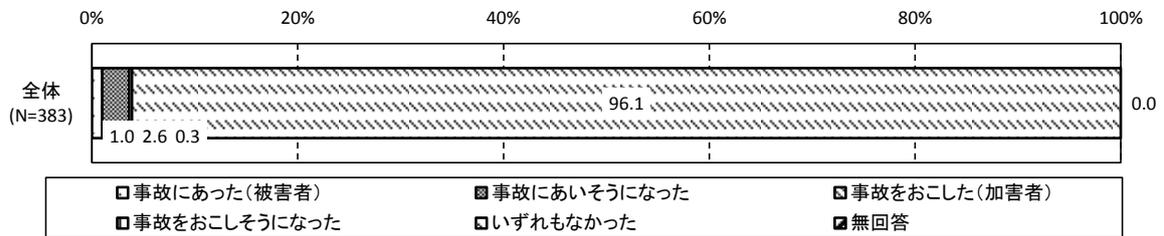
問 4. あなたは、過去 1 年間（平成 28 年 8 月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

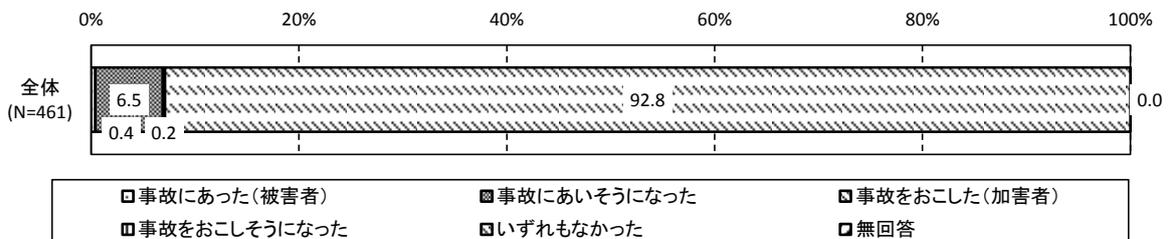
(12) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



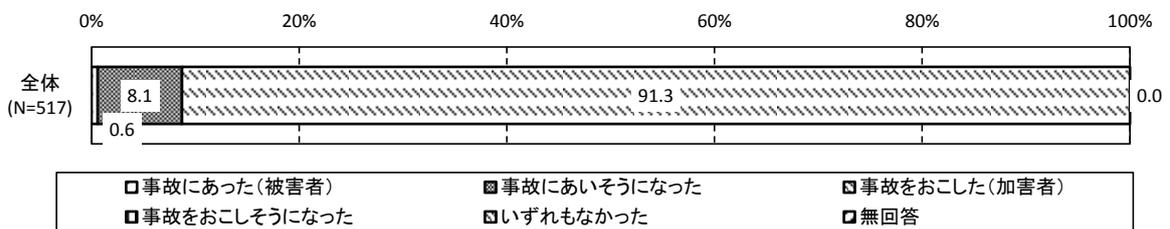
(13) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



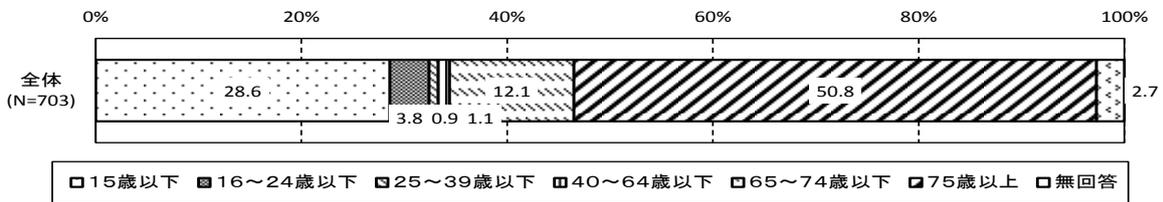
(14) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



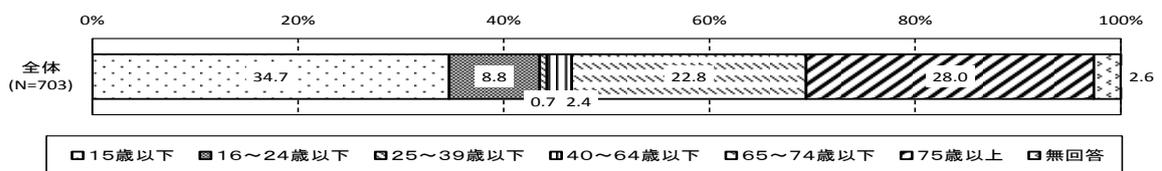
(15) 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層

問 5-1. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



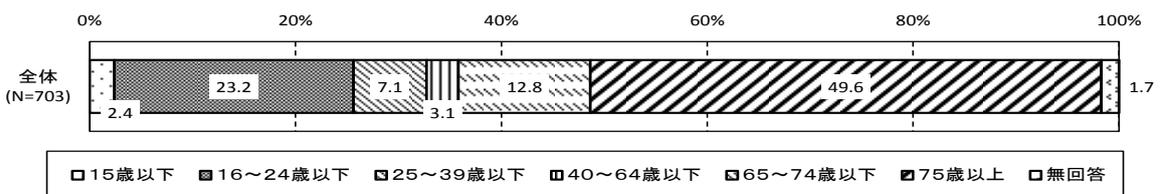
(16) 交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層

問 5-2. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



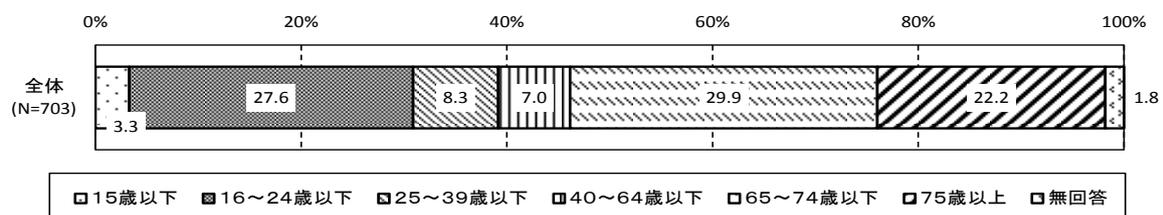
(17) 交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層

問 6-1. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



(18) 交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層

問 6-2. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）

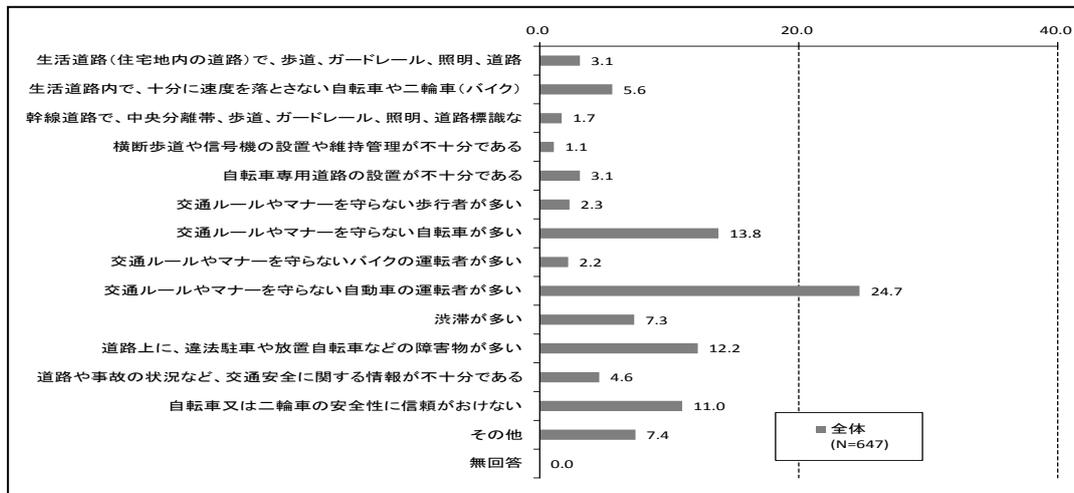


2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

(19) 交通安全について不安に思っていること

問 7. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

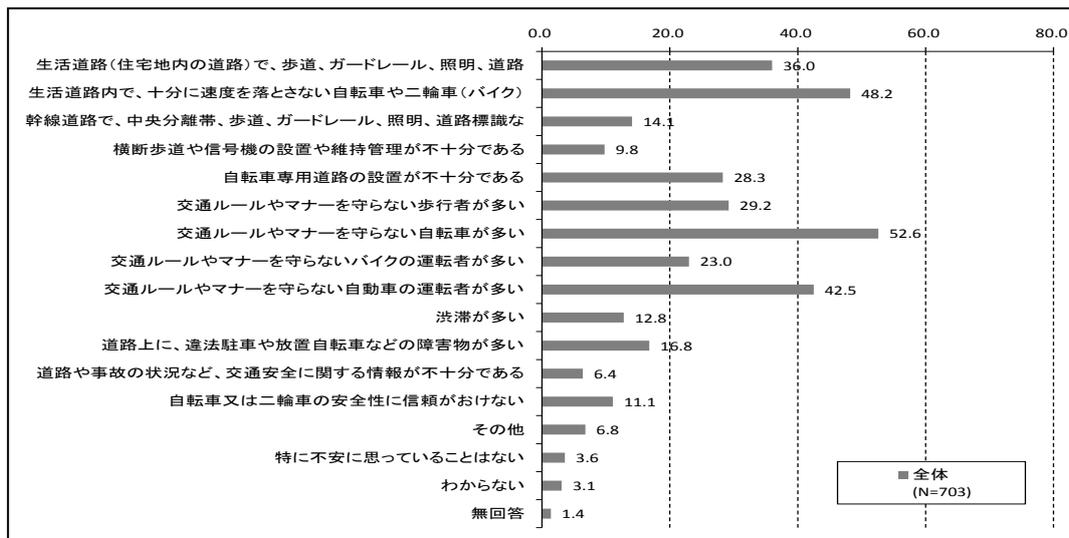
(あてはまるものすべてに○) また、特に不安に思うことを1つ選んでください。



(20) 交通安全について特に不安に思うこと

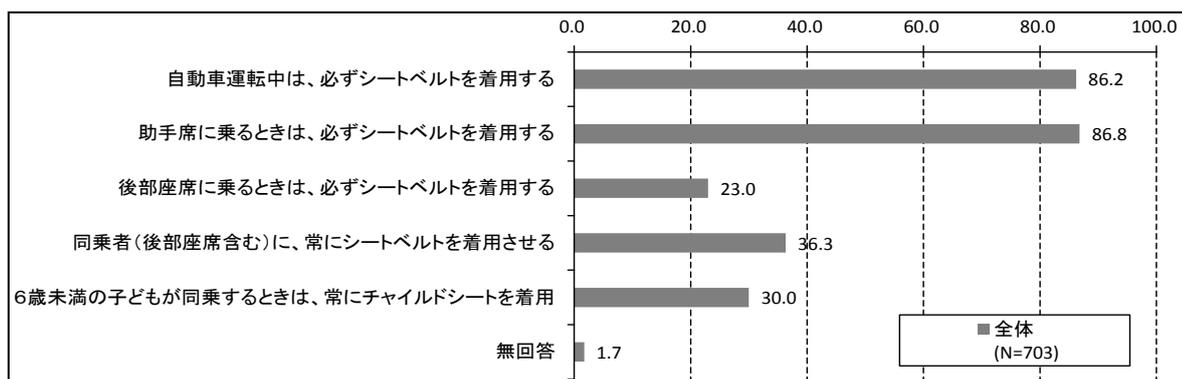
問 7. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○) また、特に不安に思うことを1つ選んでください。



(21) シートベルトやチャイルドシートの着用状況について

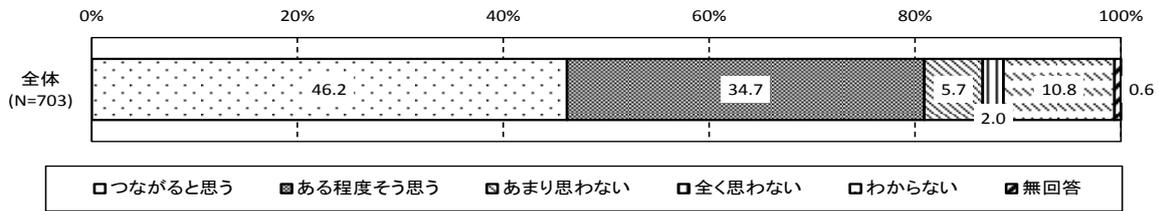
問 8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)



(22) 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について

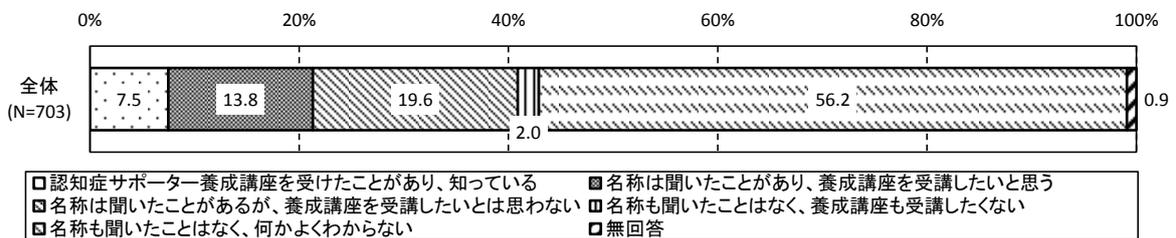
問 9. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながると感じますか。

(○はひとつ)



(23) 認知症サポーターの認知度

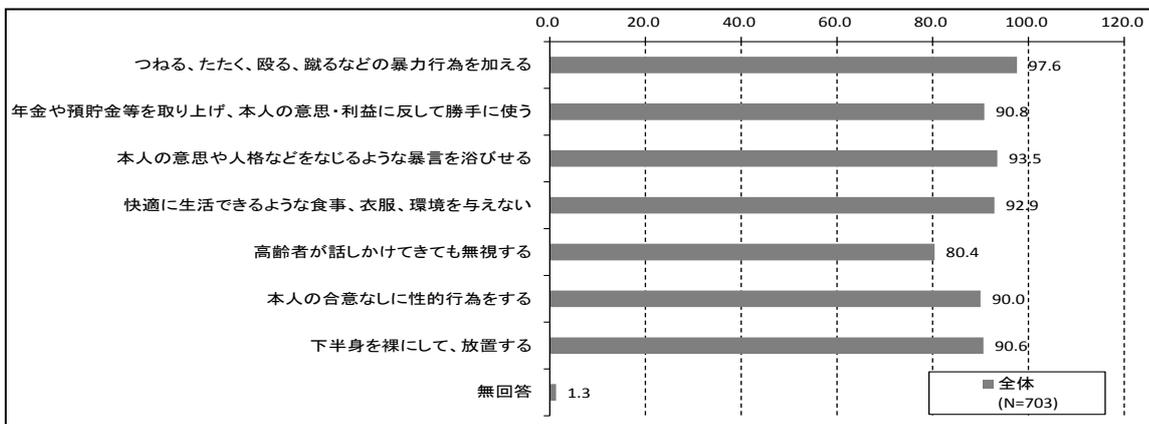
問 10. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)



(24) 高齢者虐待にあたると思う行為

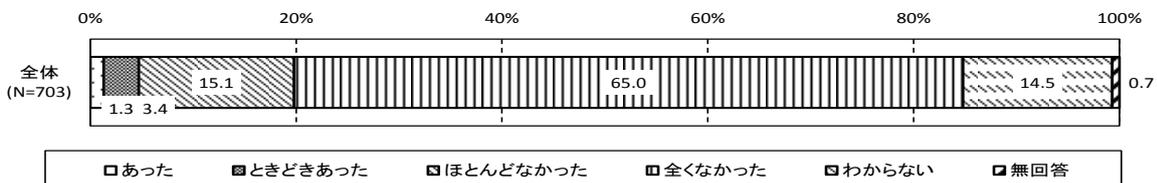
問 11. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



(25) 虐待しているのではと思った経験の有無

問 12. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと感じる経験がありましたか。(○はひとつ)



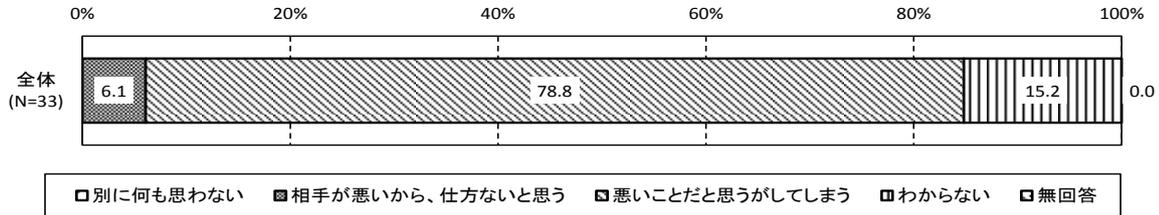
3 「高齢者虐待の防止」について

(26) 自身の行為について感じること

問 12 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。

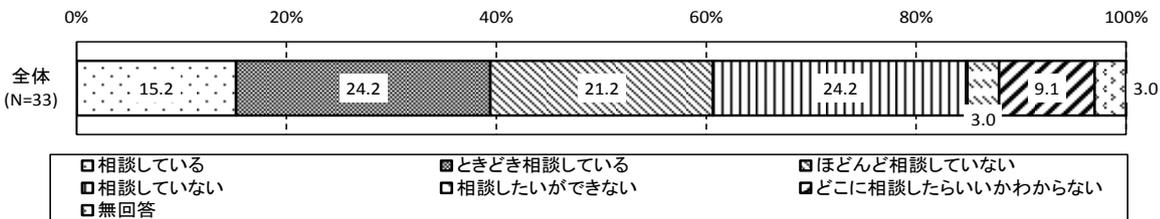
問 12-1. あなたは、問 12 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

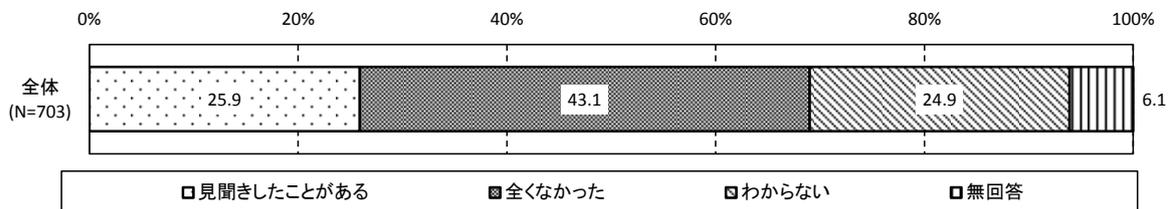


(27) 自身の虐待行為についての相談状況

問 12-2. あなたは、問 12 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)



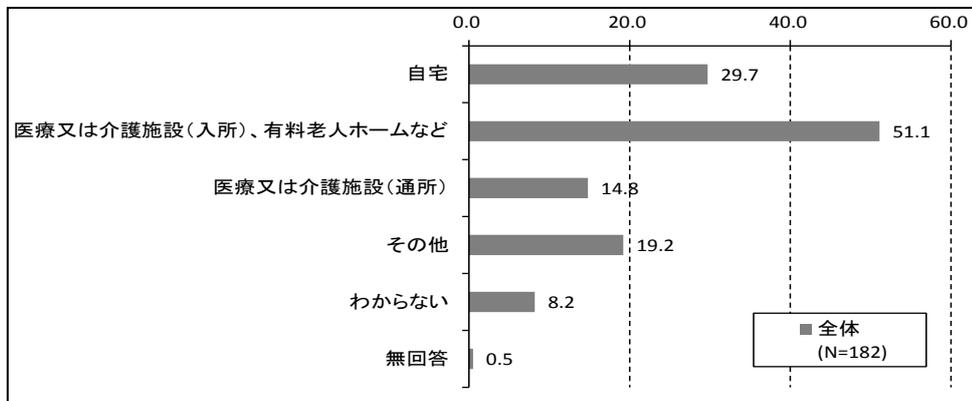
問 13. あなたは、これまで高齢者虐待を見聞きしたことがありますか。(○はひとつ)



(28) 虐待がされた場所

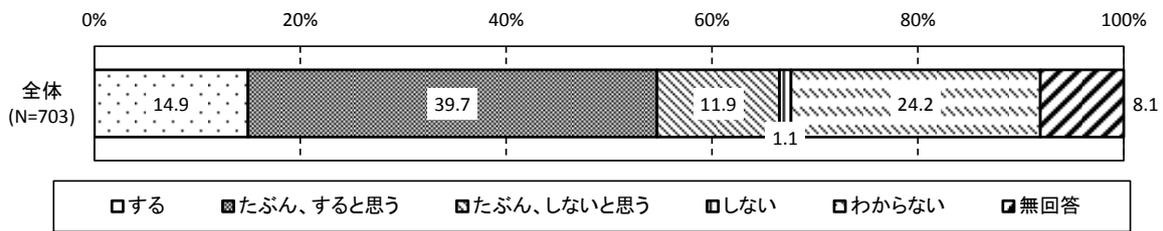
問 13 で、「1」と回答された方にお聞きします。

問 13-1. 虐待がされた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)



(29) 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）

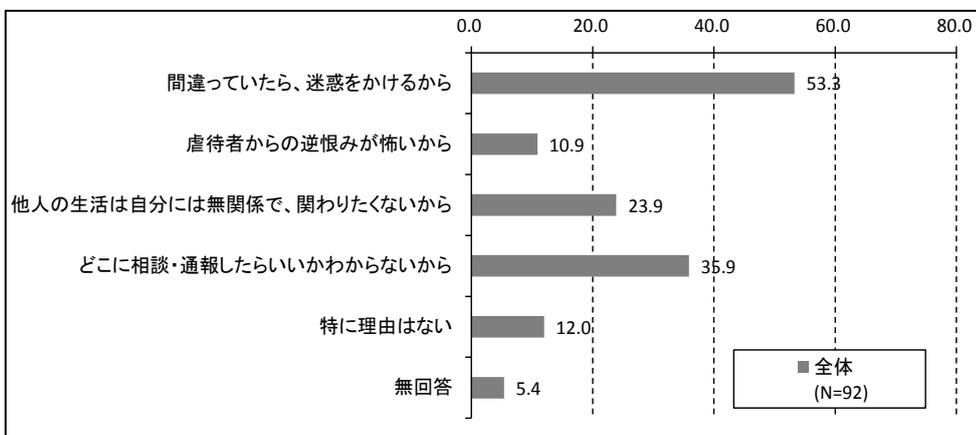
問 14. あなたは、高齢者虐待を見聞きしたとき、相談又は通報しますか。（○はひとつ）



(30) 相談又は通報しない理由

問 14 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

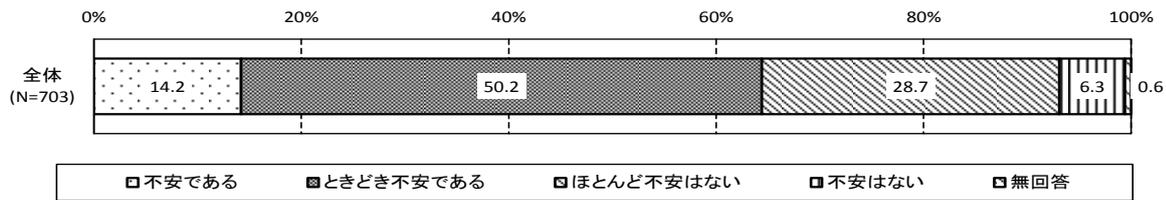
問 14-1. あなたが、相談又は通報しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



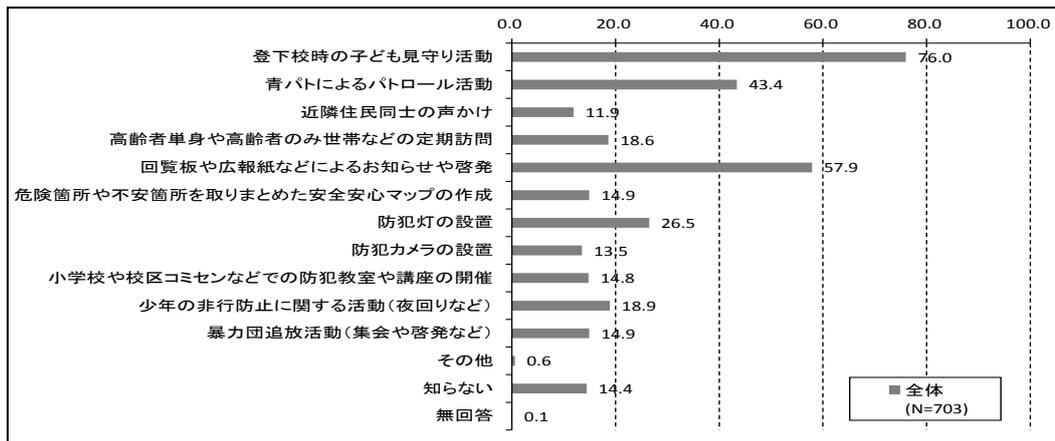
4 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

(3 1) 犯罪の被害に対する不安

問 15. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。(○はひとつ)

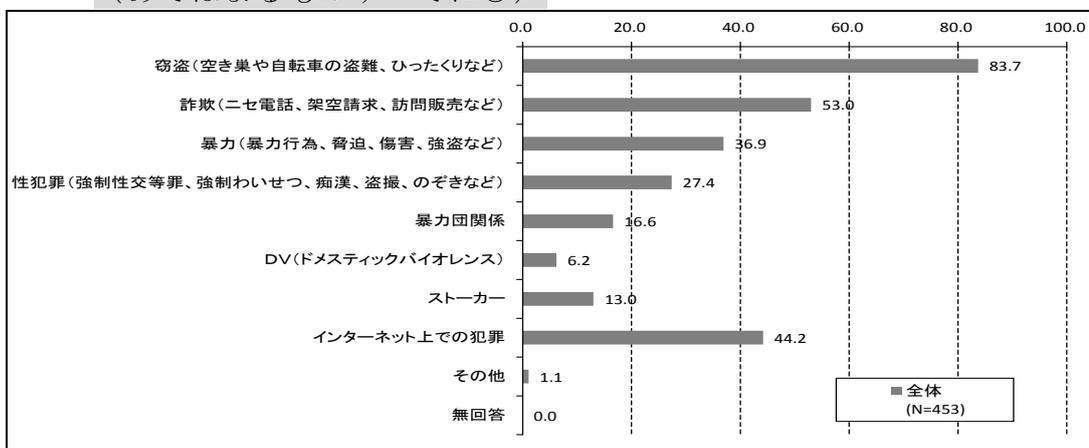


(3 2) 不安に感じる犯罪



(3 3) 地域で行われている防犯活動の認知度

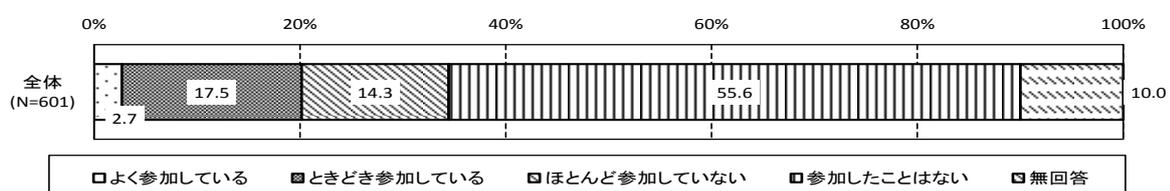
問 16. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)



(3 4) 地域の防犯活動への参加状況

問 16 で、「13」以外と回答された方にお聞きします。

問 16-1. あなたは、問 16 であげた活動のいずれかに参加したことがありますか。(○はひとつ)

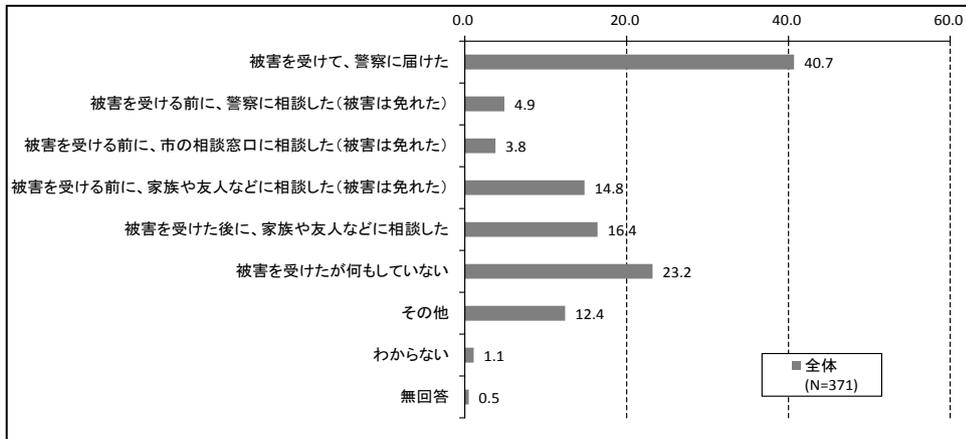


(35) 防犯活動に参加していない理由

問 16-1 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

問 16-2. あなたは、問 16 であげた活動に参加していない理由は何ですか。

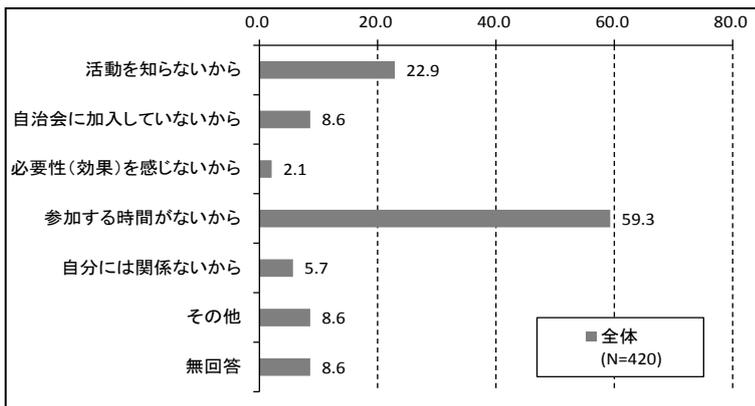
(あてはまるものすべてに○)



(36) 犯罪被害等を受けた経験の有無

問 17. あなたは、これまで何らかの犯罪被害等を受けましたか。(あてはまるものすべて

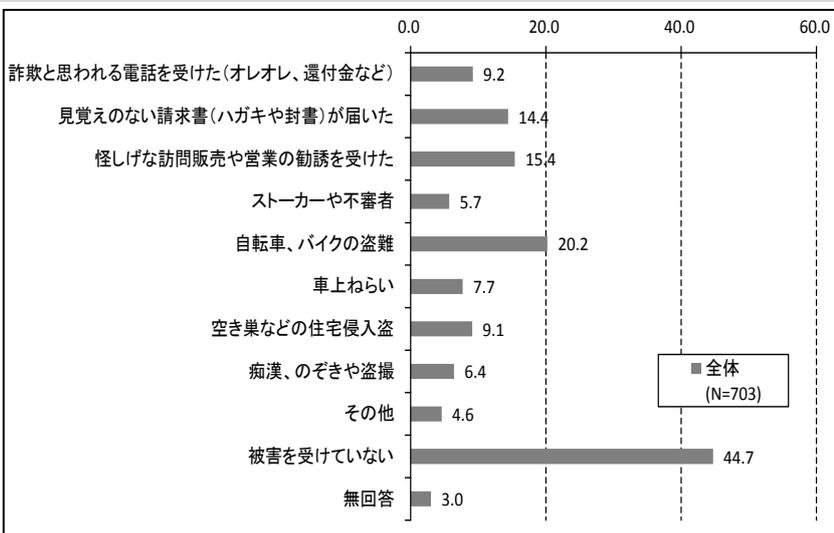
に○)



(37) 犯罪被害を受けた際の対応

問 17 で、「1」～「9」と回答された方にお聞きします。

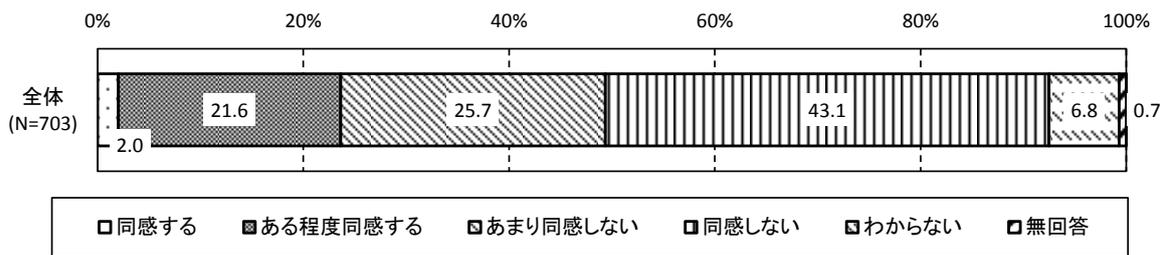
問 17-1. あなたは、その後どうしましたか。(あてはまるものすべてに○)



5 「DV防止と早期発見」について

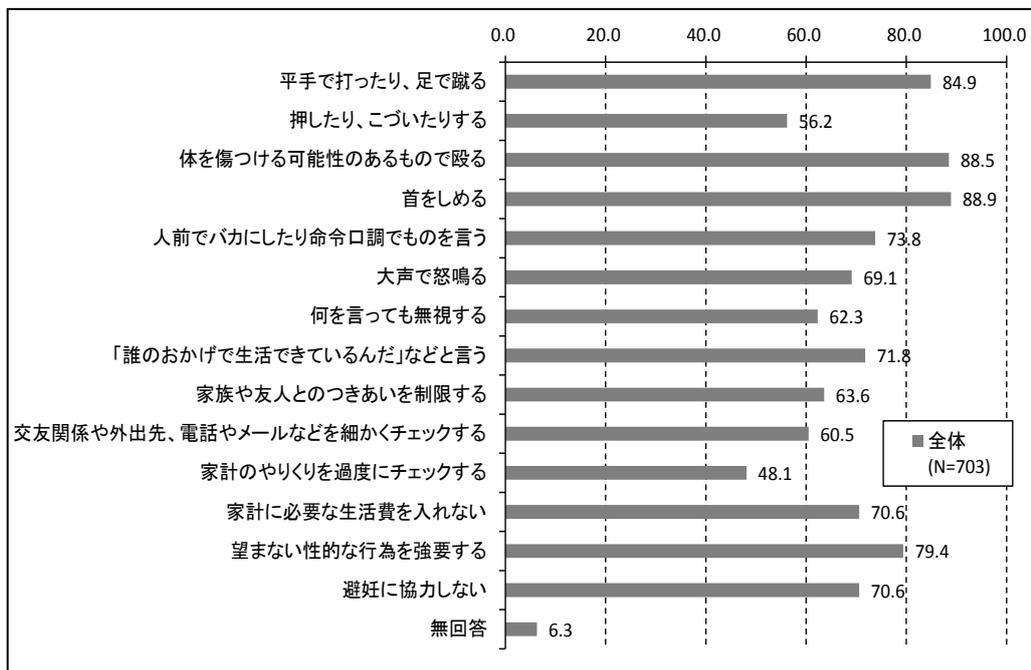
(38) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問 18. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。(○はひとつ)



(39) 配偶者や恋人からうけるDVと思われる行為

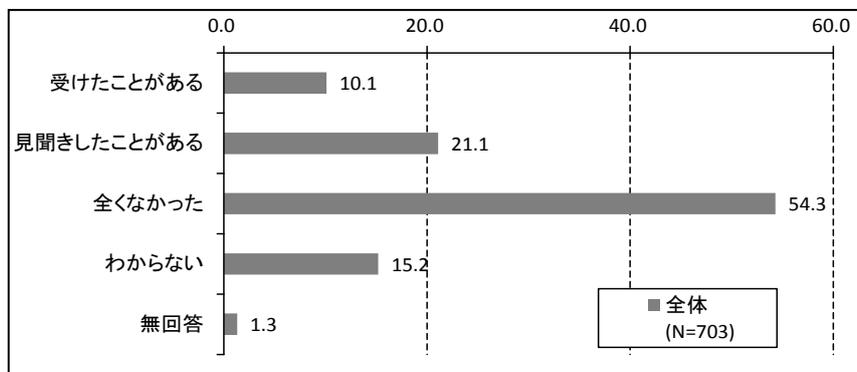
問 19. あなたは、配偶者や恋人などから次の行為等がなされたとき、DV（ドメスティックバイオレンス）にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(40) DVを受けた又は見聞きした経験の有無

問 20. あなたは、これまでDVを受けた又は見聞きしたことがありますか。

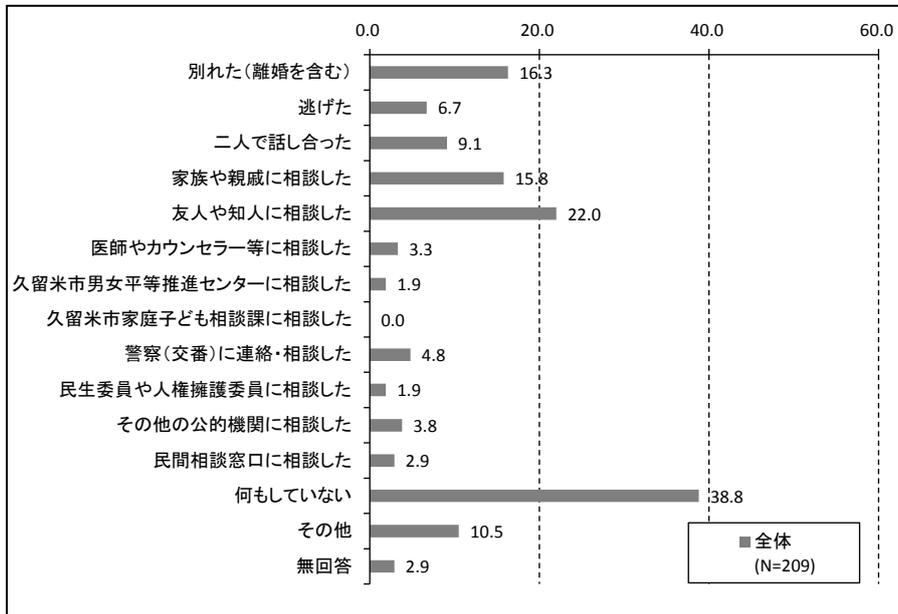
(あてはまるものすべてに○)



(4 1) その後の対応

問 20 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

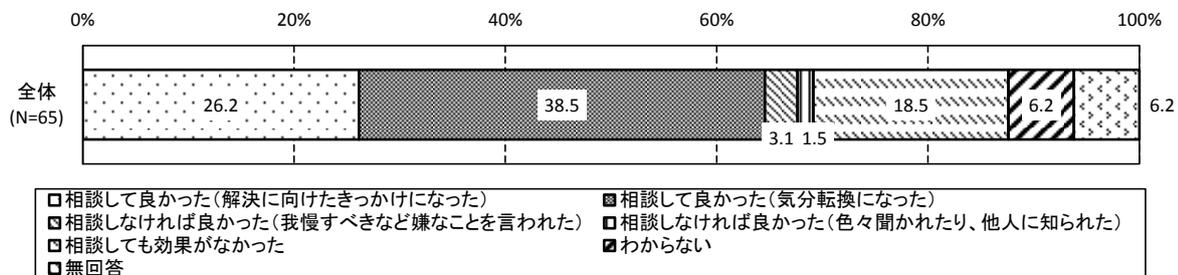
問 20-1. あなたは、その後どう対応しましたか。(あてはまるものすべてに○)



(4 2) 相談後の結果について

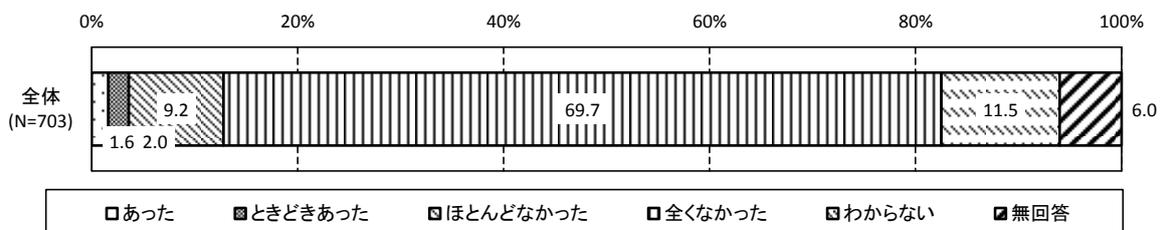
問 20-1 で、「4」又は「5」と回答された方にお聞きします。

問 20-2. あなたは、相談した結果どう思っていますか。(○はひとつ)



(4 3) 配偶者や恋人に対してDVをしていると思った経験の有無

問 21. あなたは、これまで配偶者又は恋人(ともに元を含む)に、自分がDVをしているのではないかと思うことがありましたか。(○はひとつ)



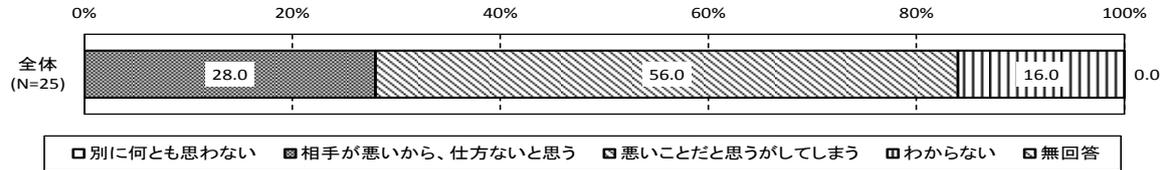
5 「DV防止と早期発見」について

(44) 自身の行為について感じること

問 21 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

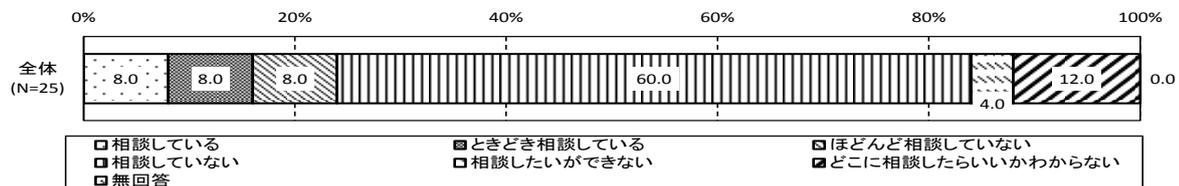
問 21-1. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)



(45) 自身の行為についての相談状況

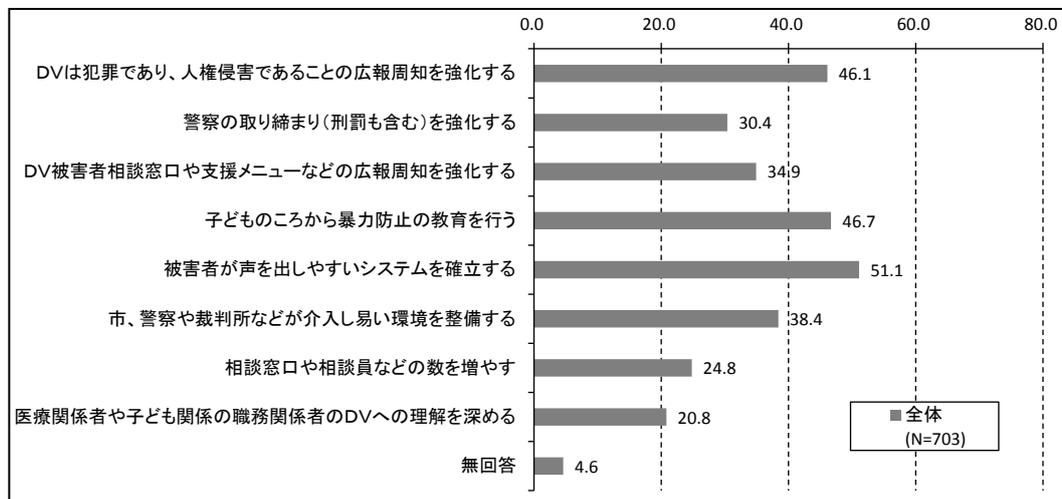
問 21-2. あなたは、問 21 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)



(46) DV防止や早期発見のために有効だと思うこと

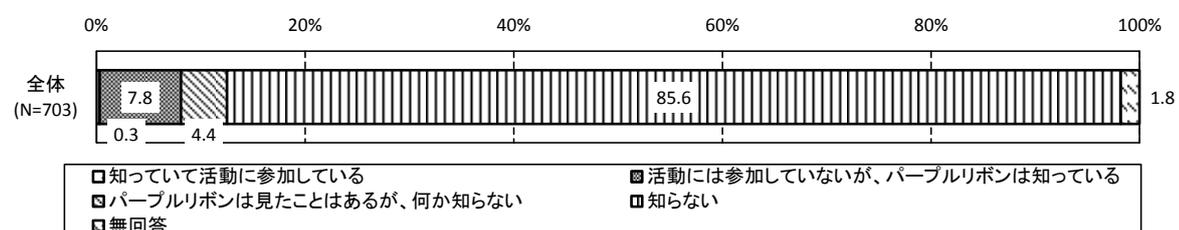
問 22. あなたは、DV防止や早期発見のために、何が有効だと思いますか。

(特に、有効だと思うもの3つに○)



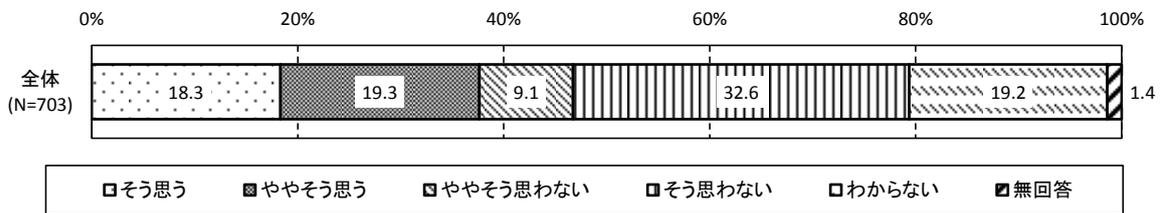
(47) 「パープルリボン」の認知度

問 23. あなたは、「パープルリボン」について知っていますか。(○はひとつ)



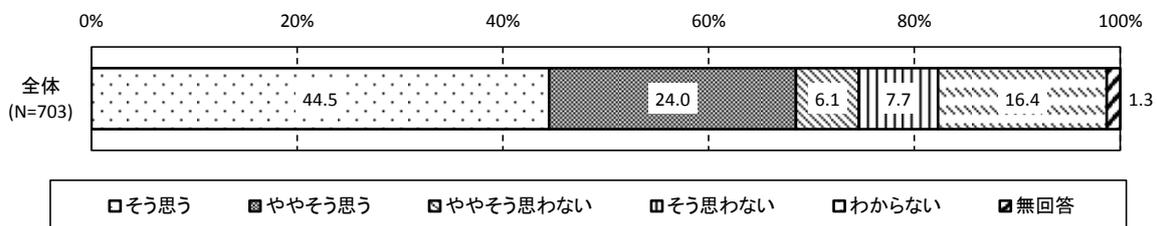
(48) 自殺について思うこと (生死は最終的に本人の判断に任せるべきである)

問 24. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



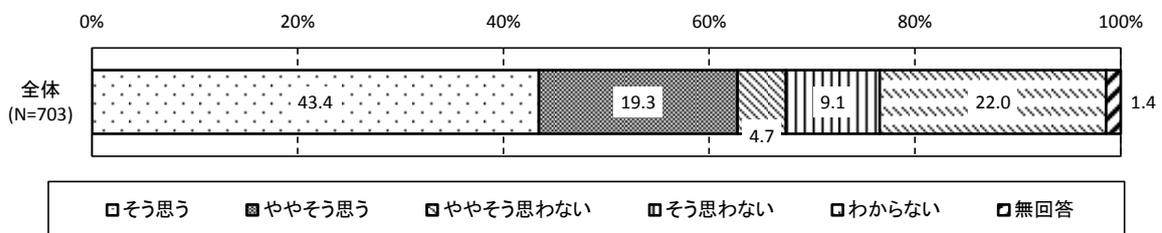
(49) 自殺について思うこと (自殺せずに生きていけば良いことがある)

問 24. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



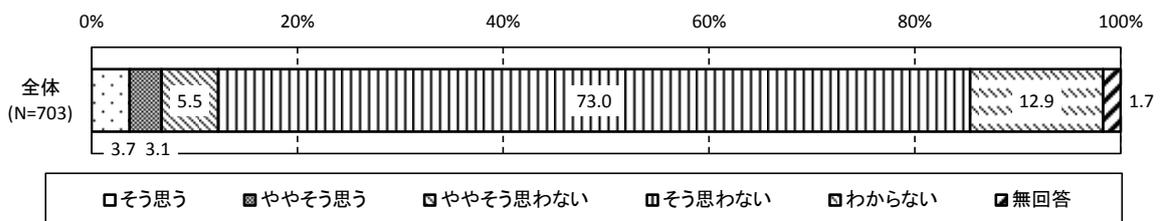
(50) 自殺について思うこと (自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている)

問 24. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



(51) 自殺について思うこと (責任を取って自殺することは仕方がない)

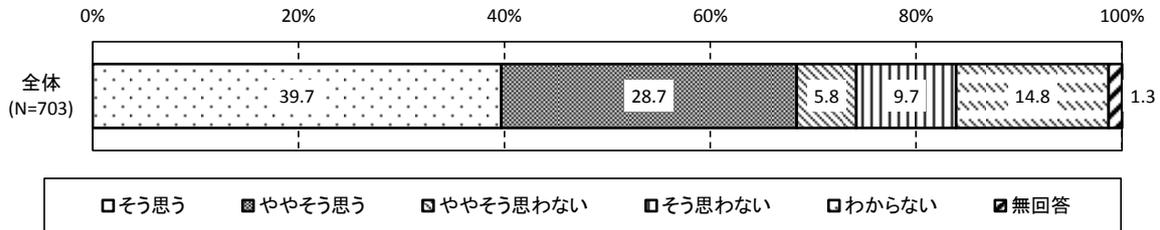
問 24. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



6 「自殺・うつ病の予防」について

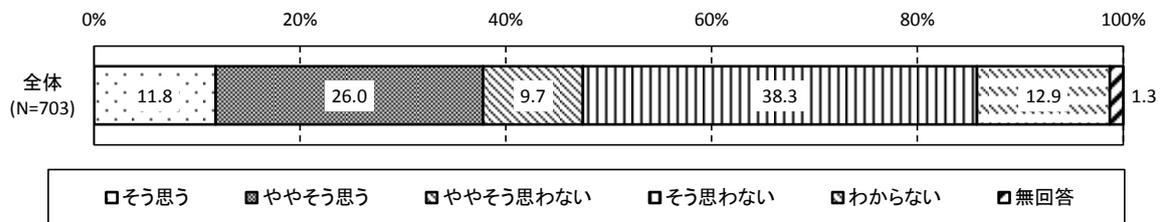
(52) 自殺について思うこと(自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である)

問 24. あなたは、「自殺」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



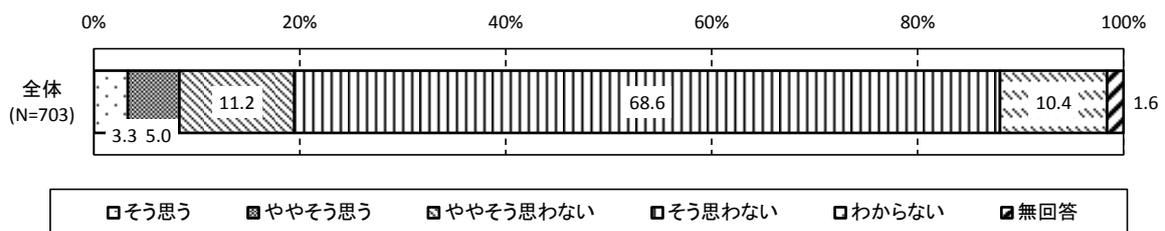
(53) 「うつ病」について思うこと(うつ病は精神的な弱さや性格が原因である)

問 25. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



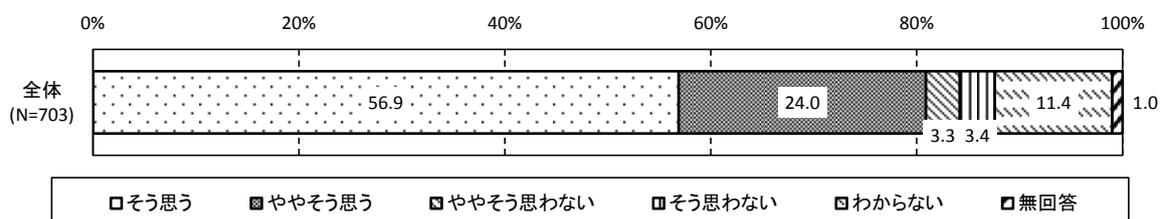
(54) 「うつ病」について思うこと(うつ病は本人の怠け・甘えであり、病気ではない)

問 25. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



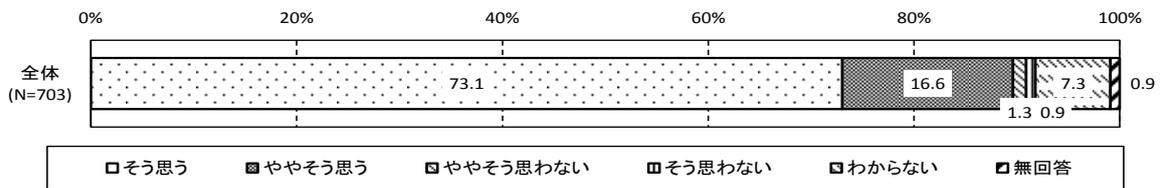
(55) 「うつ病」について思うこと(うつ病は休養をとることが大切である)

問 25. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



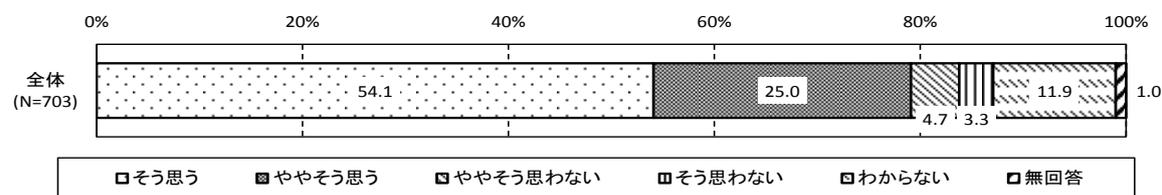
(56) 「うつ病」について思うこと(うつ病は早期発見・早期治療が大切である)

問 25. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



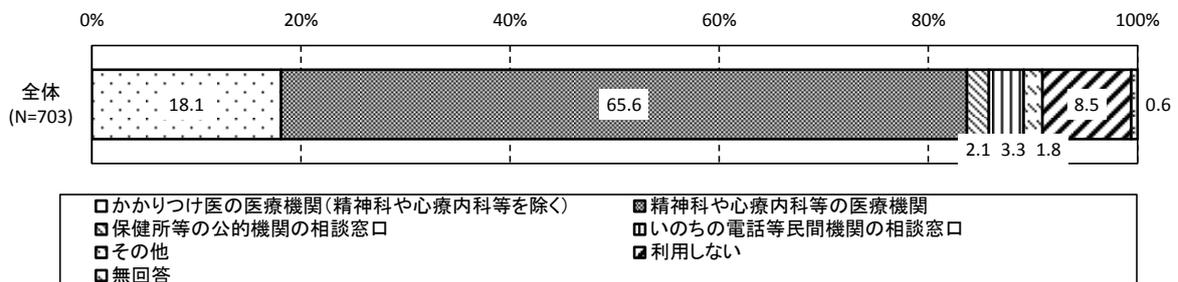
(57) 「うつ病」について思うこと(うつ病は適切な治療により治る病気である)

問 25. あなたは、「うつ病」についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまるものに○)



(58) 自身がうつ病ではないかと感じたときの、専門窓口の利用意向

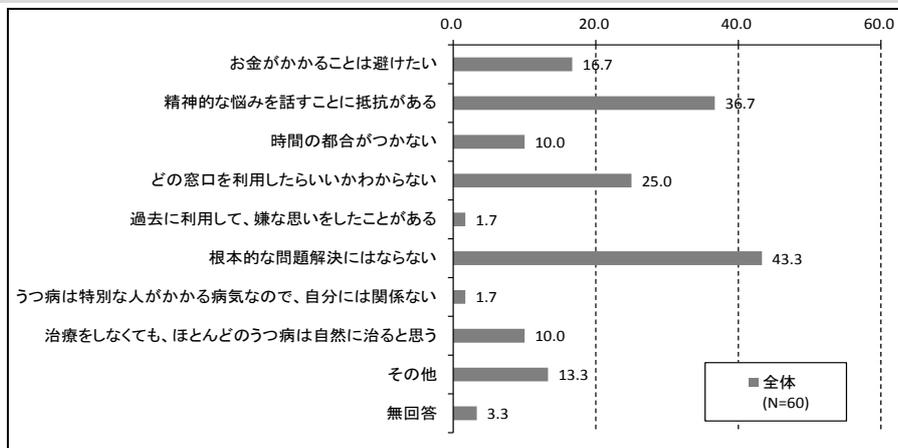
問 26. あなたは、もし、ご自身がうつ病ではないかと思ったとき、どの専門窓口を利用したいと思いますか。(○はひとつ)



(59) 医療機関や相談窓口を利用しない理由

問 26 で、「6」と回答された方にお聞きします。

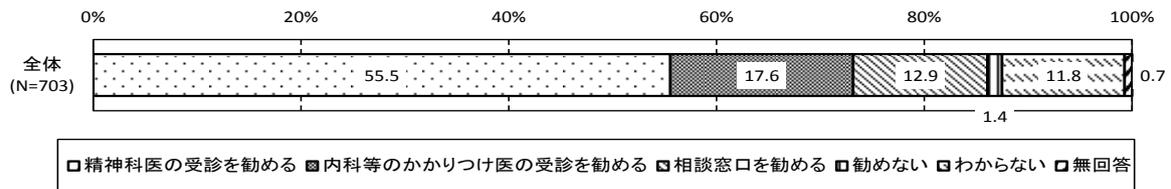
問 26-1. あなたが、医療機関や相談窓口を利用しない理由は何ですか。



6 「自殺・うつ病の予防」について

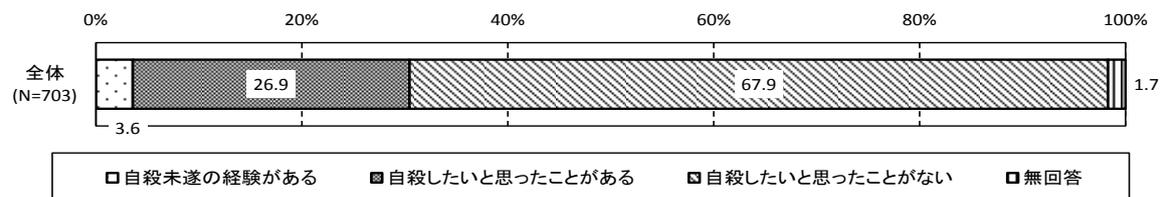
(60) うつ病の疑いがある家族や知人に医療機関や相談窓口を勧めるか

問 27. あなたは、家族や知人がうつ病ではないかと思ったとき、医療機関や相談窓口へ行くことを勧めますか。(○はひとつ)



(61) 自殺したいと思った又は自殺未遂の経験の有無

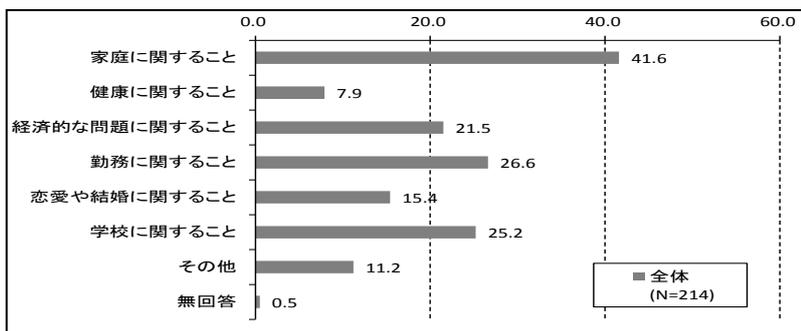
問 28. あなたは、これまでの人生の中で、自殺したいと思った又は自殺未遂の経験がありますか。(○はひとつ)



(62) 自殺したいと思った原因

問 28 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

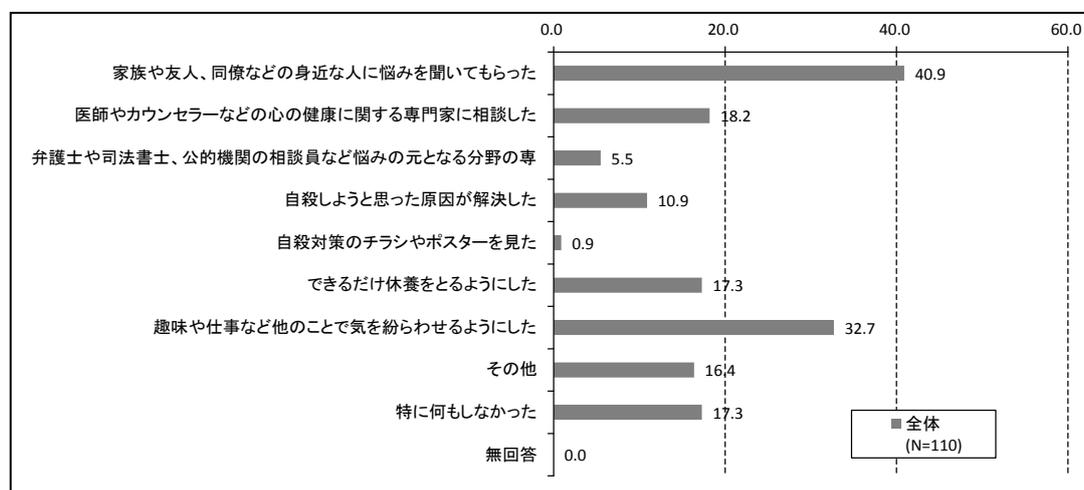
問 28-1. あなたが、自殺したいと思った原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(63) 自殺を思いとどまった要因

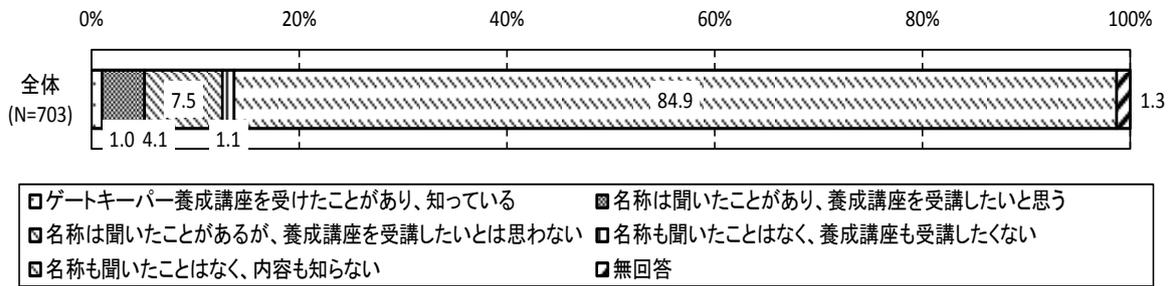
問 28 で、「2」と回答された方にお聞きします。

問 28-2. あなたが、自殺を思いとどまった要因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(64) 「ゲートキーパー」の認知度

問 29. あなたは、「ゲートキーパー」について知っていますか。(○はひとつ)

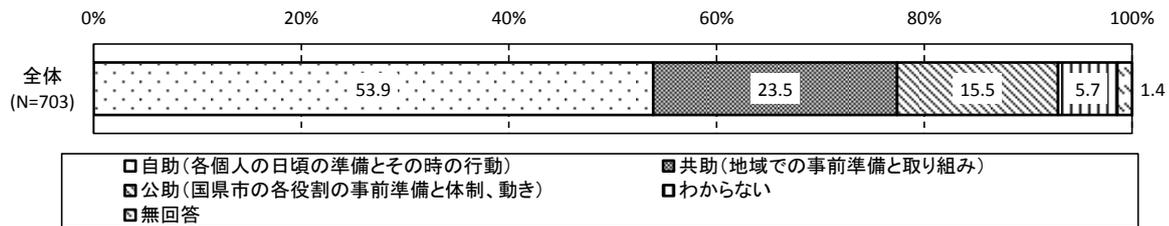


7 「地域防災力の向上」について

(65) 自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと

問 30. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いますか。

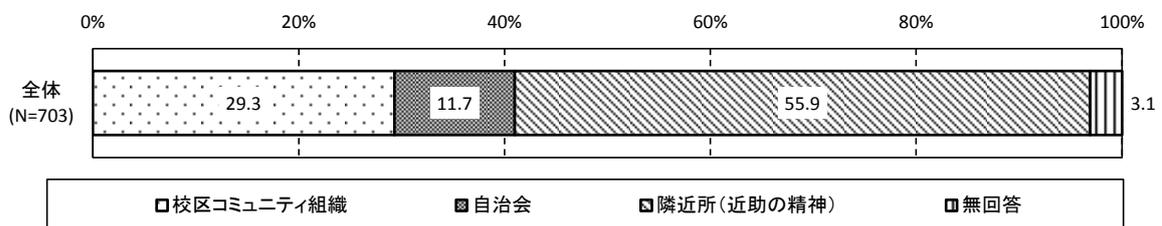
(○はひとつ)



(66) 災害が発生したときに重要な「共助」について

問 31. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思いますか。(○はひとつ)

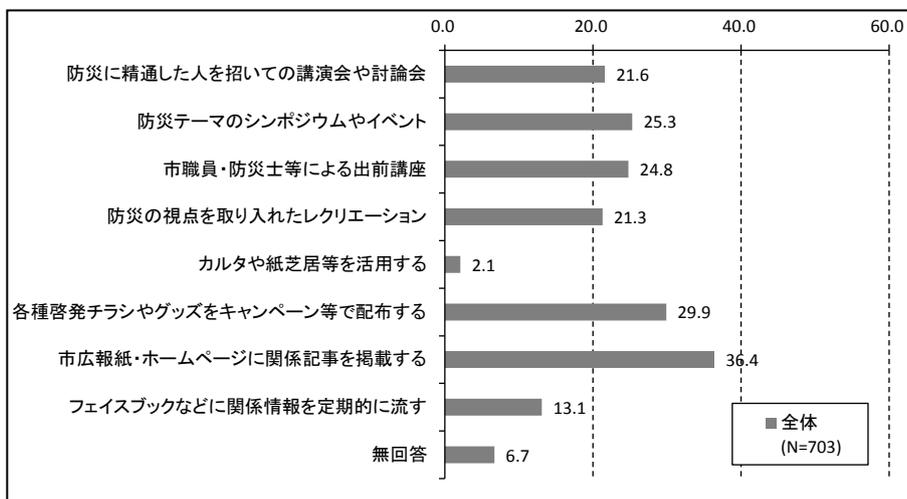
つ)



(67) 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段

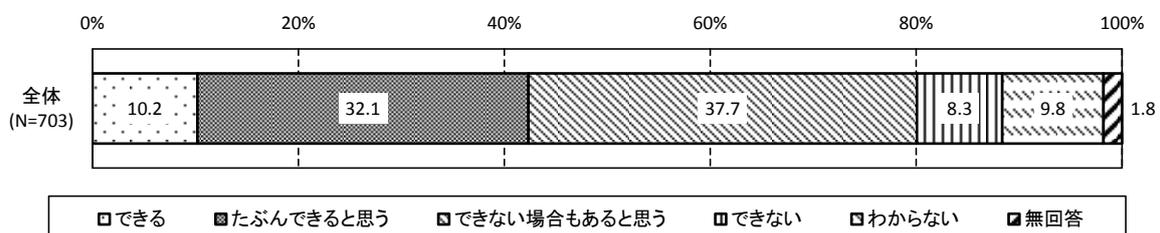
問 32. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの2つに○)



(68) 災害が発生した場合、一人で避難できるか

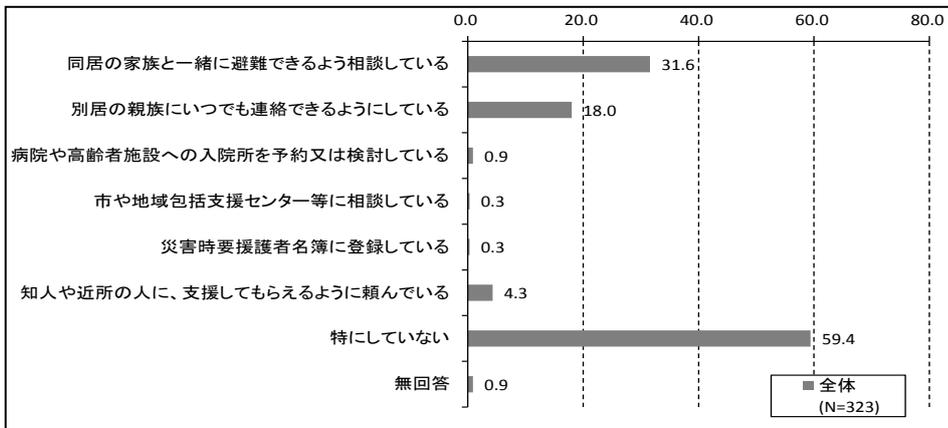
問 33. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)



(69) 避難するための対策の有無

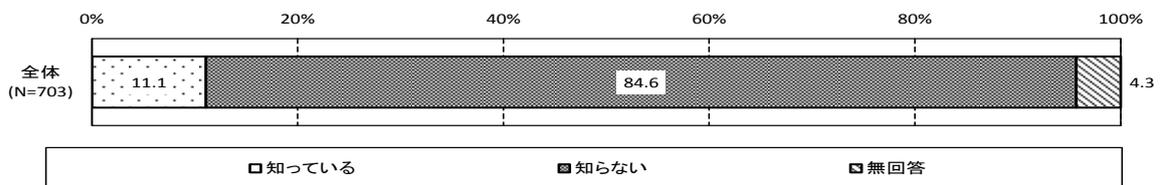
問 33 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。

問 33-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)



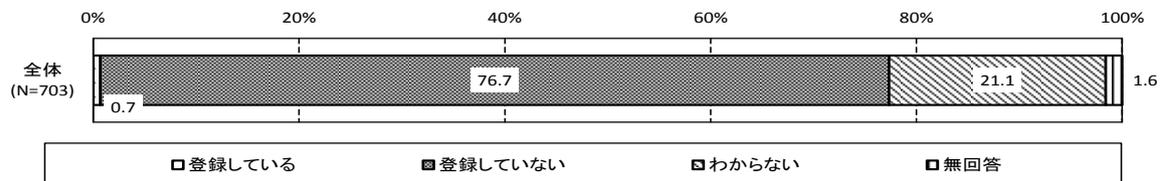
(70) 「災害時要援護者名簿」の認知度

問 34. あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(○はひとつ)



(71) 「災害時要援護者名簿」の登録の有無

問 35. あなたは、「災害時要援護者名簿」に登録していますか。(○はひとつ)

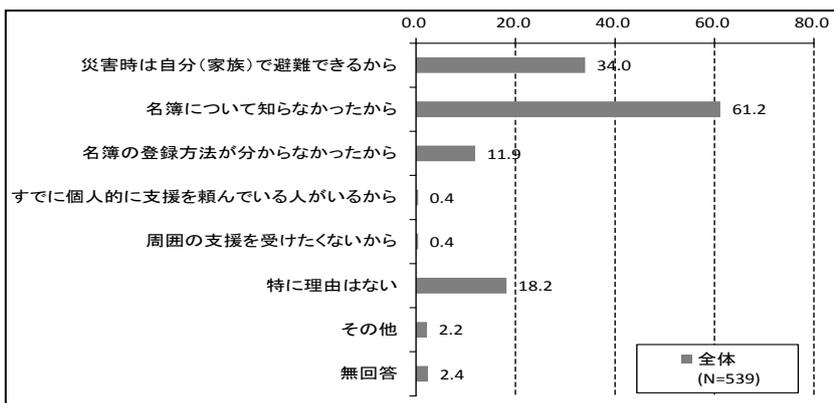


(72) 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由

問 35 で、「2」又は「3」と回答された方にお聞きします。

問 35-1. あなたが、「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は何ですか。

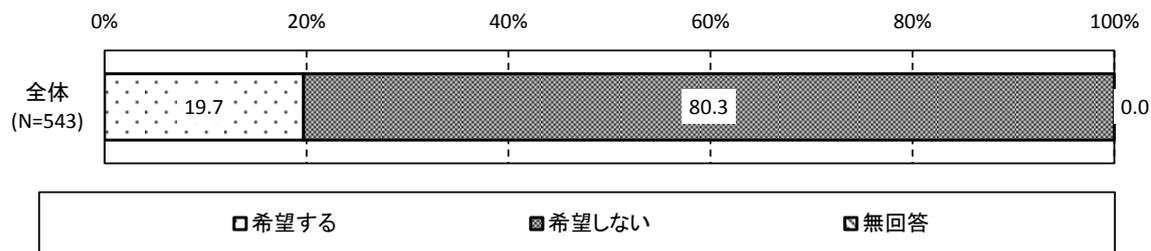
(あてはまるものすべてに○)



7 「地域防災力の向上」について

(73) 「災害時要援護者名簿」への登録の希望

問 35-2. あなたは、「災害時要援護者名簿」への登録を希望しますか。(〇はひとつ)



久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査
【65歳以上】

回答集計結果



平成30年1月
久留米市

目次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象者	1
3.	調査期間	1
4.	回収結果	1
5.	集計・分析上の注意	1
第2章	調査結果【65歳以上】	2
(1)	調査回答者の属性	2
(2)	ケガの状況	4
(3)	ケガの原因	4
(4)	ケガをしたときの状況	4
(5)	ケガをした場所	4
(6)	ケガをした状況・きっかけ	5
(7)	ケガをした部位	5
(8)	ケガの種類	5
(9)	自動車やバイクの運転状況	6
(10)	自転車の利用状況	6
(11)	自転車保険等の加入状況	6
(12)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）	6
(13)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）	7
(14)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）	7
(15)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）	7
(16)	交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層	8
(17)	交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層	8
(18)	交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層	8
(19)	交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層	8
(20)	交通安全について不安に思っていること	9
(21)	特に不安に思うこと	9
(22)	シートベルトやチャイルドシートの着用状況について	10
(23)	自動車や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずること	10
(24)	夜間外出する際の反射材の着用状況	10
(25)	反射材を身につけていない理由	11
(26)	「高齢運転者免許証自主返納支援事業」の認知度	11
(27)	運転免許返納状況について	11
(28)	運転免許がないと困ると思うこと	11
(29)	自宅での転倒状況	12
(30)	転倒による骨折経験の有無	13
(31)	介護が必要になった主な原因	13

(32)	転倒に対する不安の有無	13
(33)	転倒によるケガを防止するために心がけていること	14
(34)	転倒によるケガを予防するために自宅で実行していること	15
(35)	予防策をするようになったきっかけ	16
(36)	実行していない理由	16
(37)	「転倒予防パンフレット」の認知度	16
(38)	認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について	17
(39)	認知症サポーターの認知度	17
(40)	高齢者虐待にあたると思う行為	17
(41)	虐待しているのではと思った経験の有無	18
(42)	自身の行為について感じること	18
(43)	自身の虐待行為についての相談状況	18
(44)	高齢者虐待を受けた又は見聞きした経験の有無	18
(45)	虐待された場所	19
(46)	高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）	19
(47)	相談又は通報しない理由	19
(48)	犯罪の被害に対する不安	19
(49)	不安に感じる犯罪	20
(50)	地域で行われている防犯活動の認知度	20
(51)	防犯活動の参加状況	21
(52)	防犯活動に参加していない理由	21
(53)	犯罪被害等を受けた経験の有無	21
(54)	犯罪被害をうけた際の対応	22
(55)	自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと	23
(56)	災害が発生したときに重要な「共助」について	23
(57)	「自助」の重要性を啓発するために有効な手段	23
(58)	災害が発生した場合、一人で避難できるか	23
(59)	避難するための対策の有無	24
(60)	「災害時要援護者名簿」の認知度	24
(61)	「災害時要援護者名簿」の登録の有無	24
(62)	「災害時要援護者名簿」に登録していない理由	24
(63)	「災害時要援護者名簿」への登録の希望	25

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握する目的で、実施したものである。

2. 調査対象者

- ①市内に居住する0歳～17歳の男女 1,000人
 - ②市内に居住する18歳～64歳の男女 1,500人
 - ③市内に居住する65歳以上の男女 1,000人
- 合計 3,500人

[対象者抽出方法]

住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

3. 調査期間

[調査開始] 平成29年8月17日

[投函期限] 平成29年8月31日

4. 回収結果

	設定標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
0～17歳	1,000	574	57.4%
18～64歳	1,500	703	46.9%
65歳以上	1,000	727	72.7%
計	3,500	2,004	57.3%

5. 集計・分析上の注意

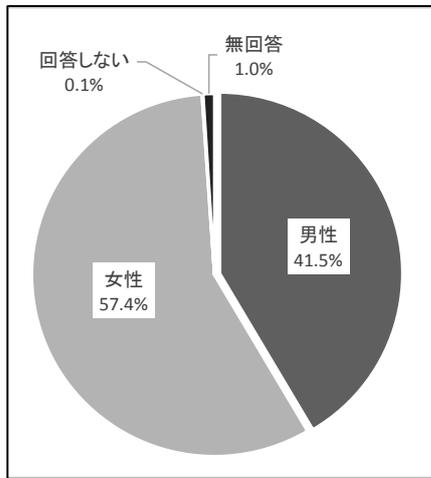
図表中の「N」はサンプル数（回答者数）を示す。

図表中の値は原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で示した。端数処理（小数点第2位を四捨五入）のため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。なお、複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。また年代別等のクロス集計は、回答に年代等不明（無回答）がある場合、各項目のサンプル数の合計が全体サンプル数と合致しない場合がある

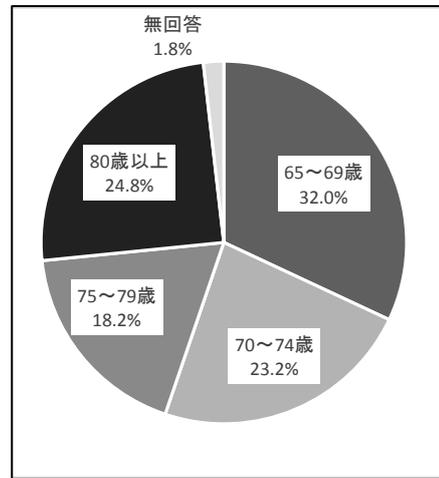
第2章 調査結果【65歳以上】

(1) 調査回答者の属性

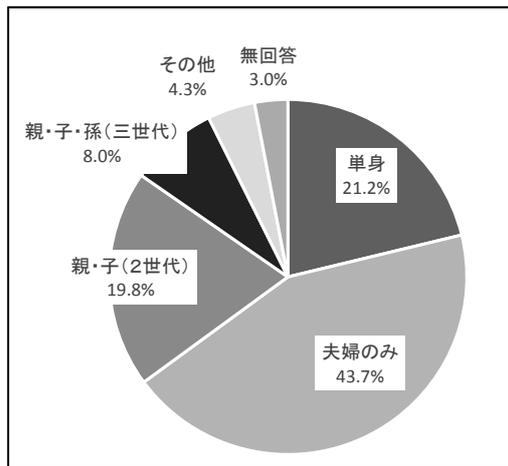
1. 性別



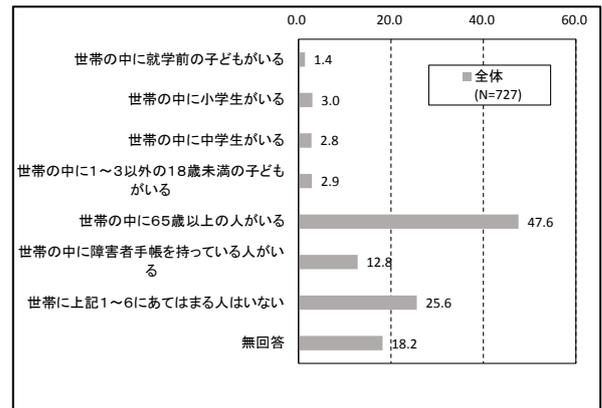
2. 年齢



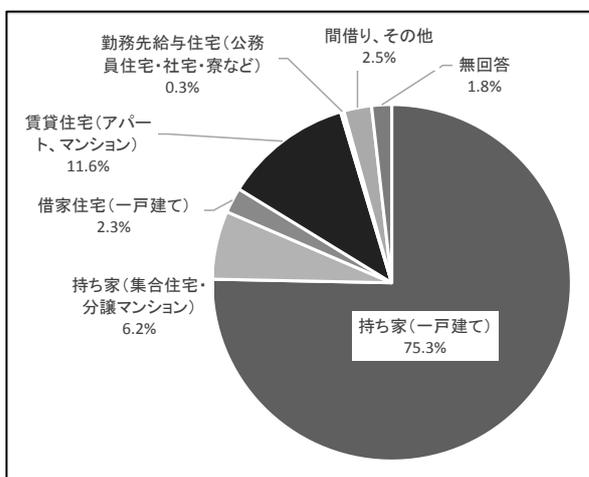
3. 家族構成



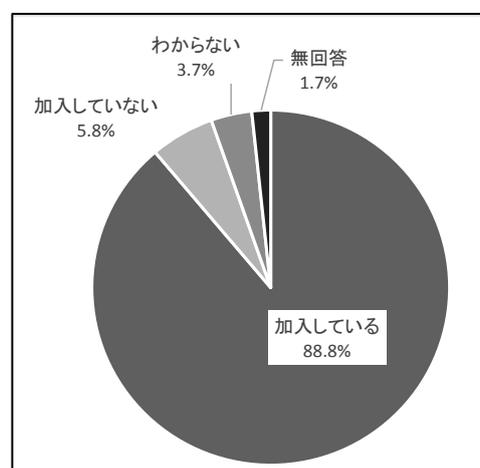
4. 同居している家族



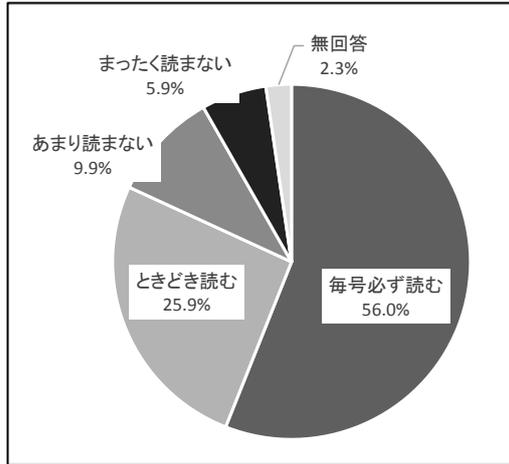
5. 居住形態



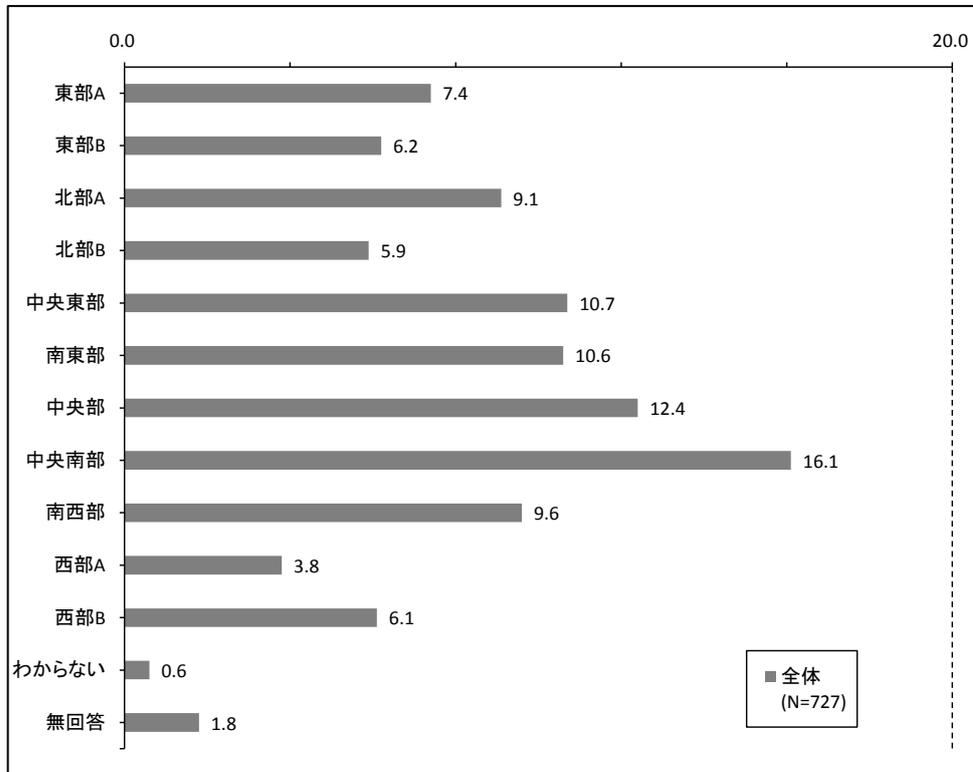
6. 自治会の加入状況



7. 「広報くるめ」の閲読状況



8. 居住校区



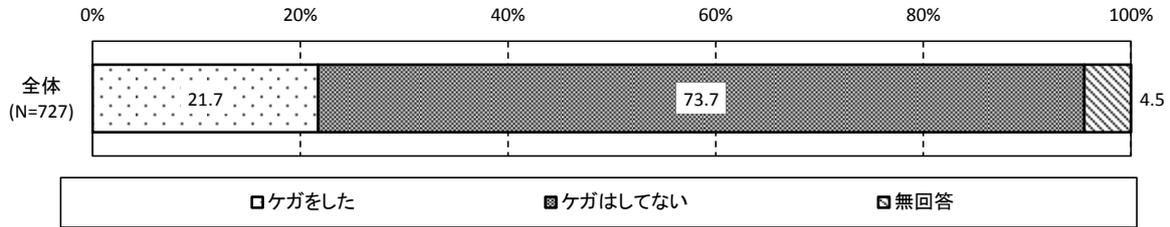
< 居住校区の詳細 >

東部A					東部B					北部A			北部B			中央東部					
山川	山本	草野	善導寺	大橋	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸	小森野	合川	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島	西園分	東園分	御井
1.7	1.8	0.3	2.8	0.8	0.7	0.4	0.4	0.6	0.8	1	2.3	0.6	5.2	3.3	2.3	1.5	1.1	1	4.7	3.4	2.6

南東部			中央部					中央南部				南西部			西部A				西部B			
上津	高良内	青峰	狂島	日吉	猿山	京町	南黒	長門石	島飼	金丸	南	津福	荒木	大善寺	安武	城島	下田	青木・浮島	江上	犬塚	三浦	西牟田
6.1	3.3	1.2	1.8	2.1	1.4	1.2	3.6	2.3	2.5	4.1	6.1	3.4	5.4	2.1	2.1	1.9	0.4	0.7	0.8	1.7	2.5	1.9

(2) ケガの状況

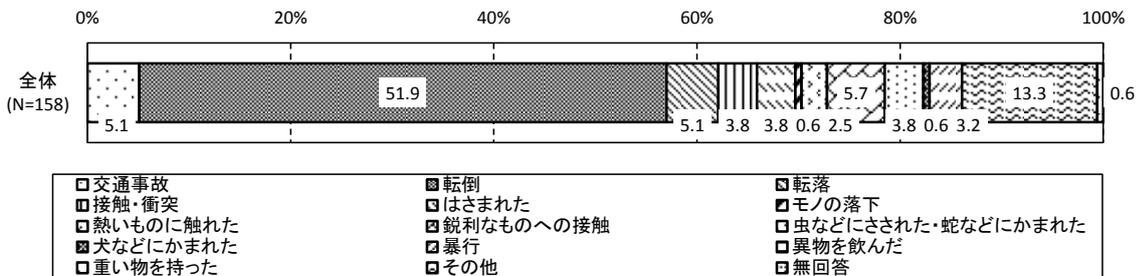
問 1. あなたは、過去 1 年間(平成 2 8 年 8 月以降)にケガをされましたか。(〇はひとつ)(ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)



(3) ケガの原因

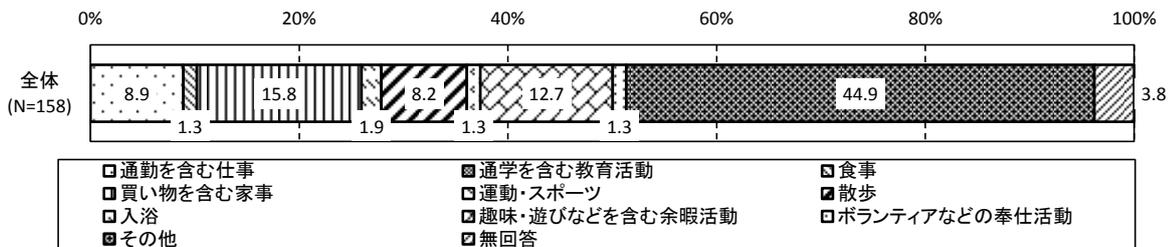
問 1 で、「1」と回答した方にお聞きします。「2」と回答された方は、問 2 へお進み下さい。

問 1-1. ケガの原因は何でしたか。(〇はひとつ)



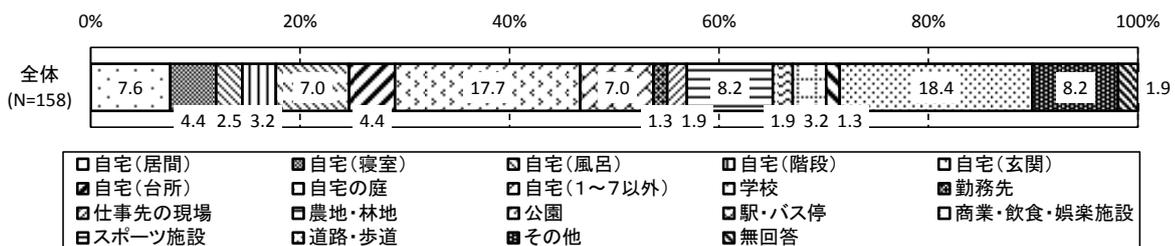
(4) ケガをしたときの状況

問 1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(〇はひとつ)



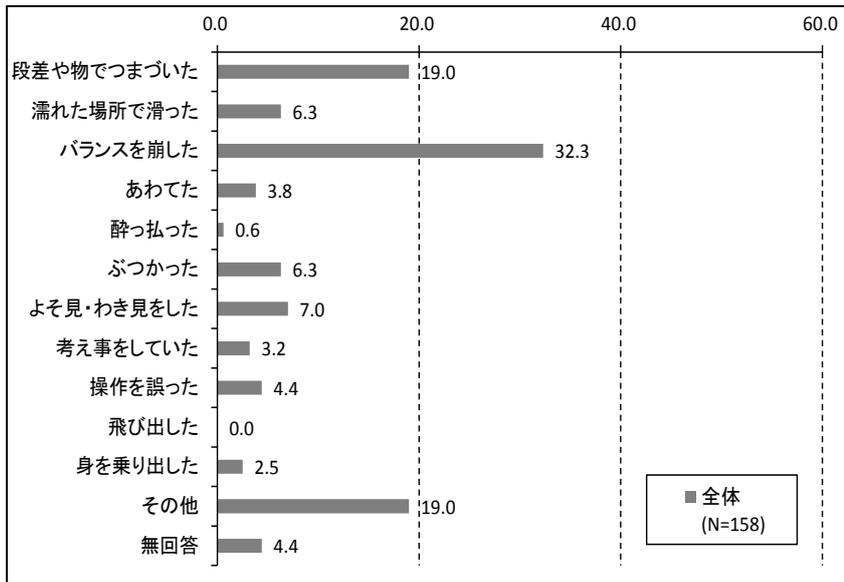
(5) ケガをした場所

問 1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(〇はひとつ)



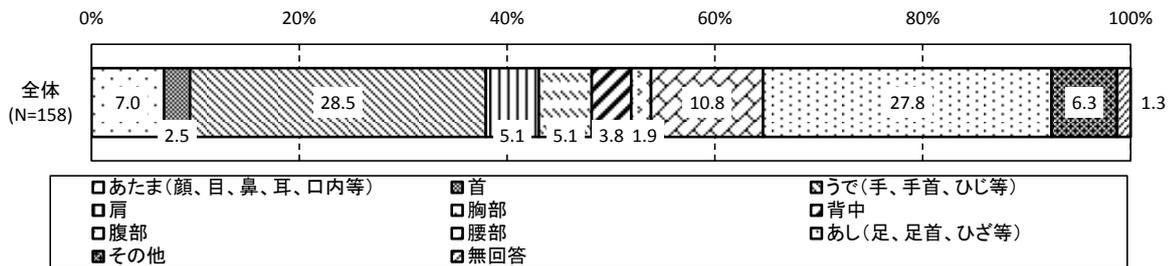
(6) ケガをした状況・きっかけ

問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



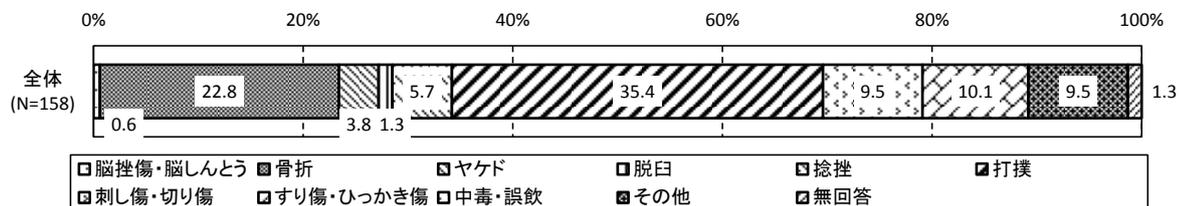
(7) ケガをした部位

問 1-5. ケガをした部位 (からだの場所) はどこですか。(○はひとつ)



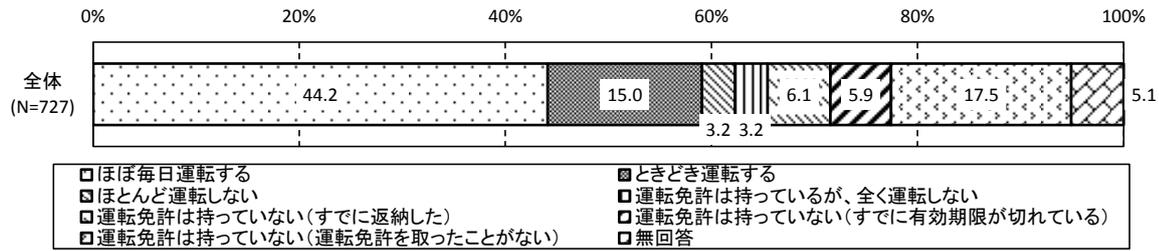
(8) ケガの種類

問 1-6. どのようなケガでしたか。(○はひとつ)



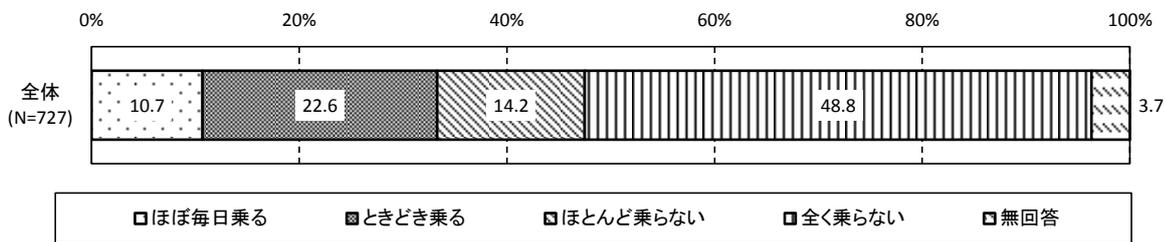
(9) 自動車やバイクの運転状況

問 2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）



(10) 自転車の利用状況

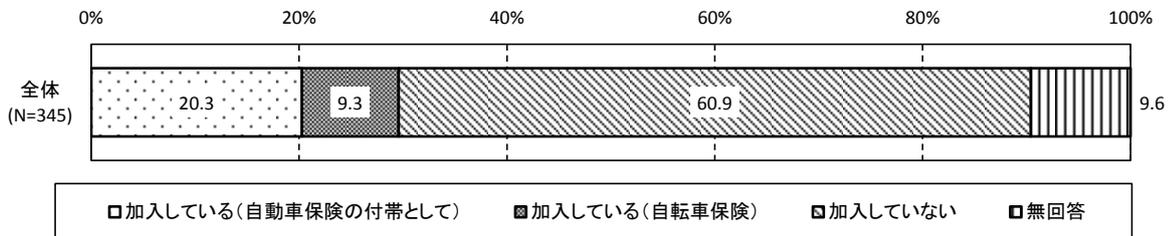
問 3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。（○はひとつ）



(11) 自転車保険等の加入状況

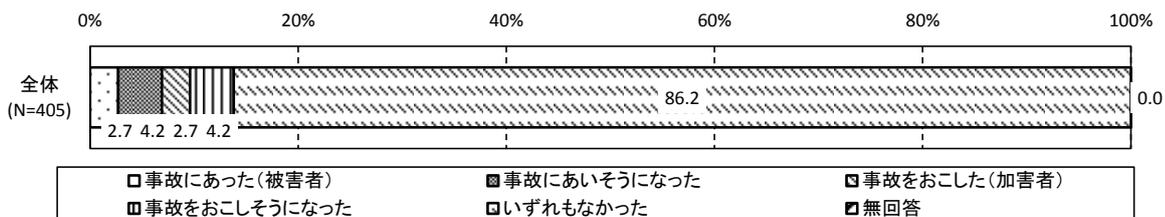
問 3 で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。

問 3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。



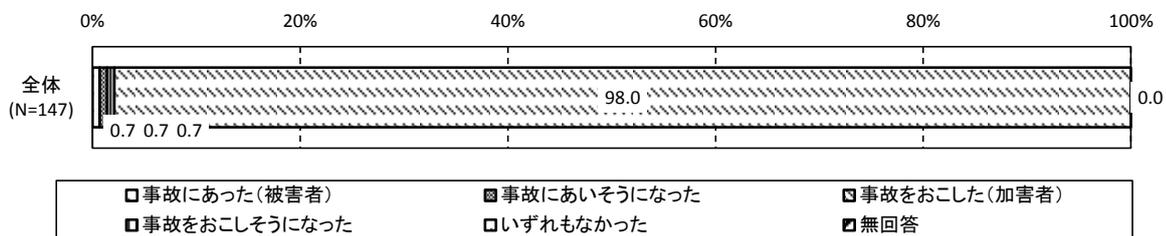
(12) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



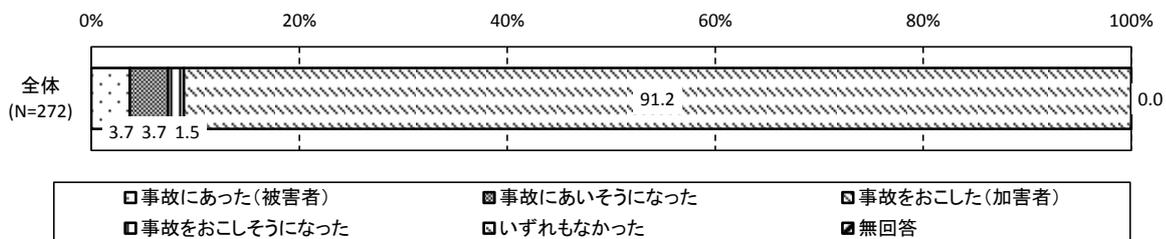
(13) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



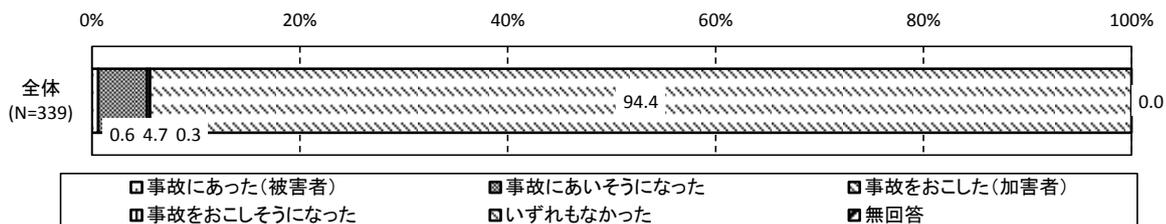
(14) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



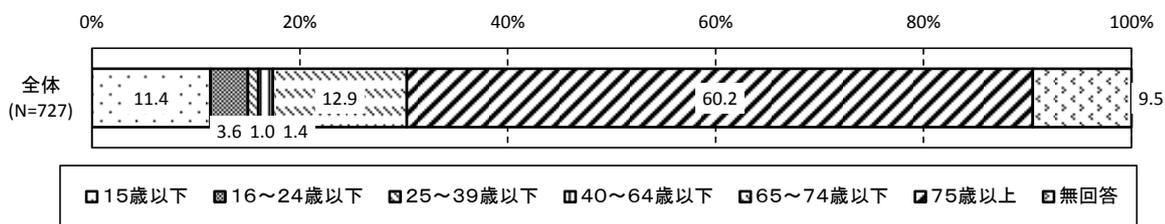
(15) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）

問 4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）



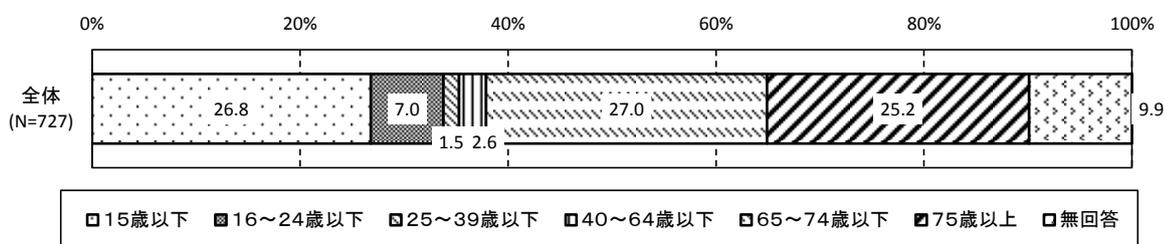
(16) 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層

問5. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



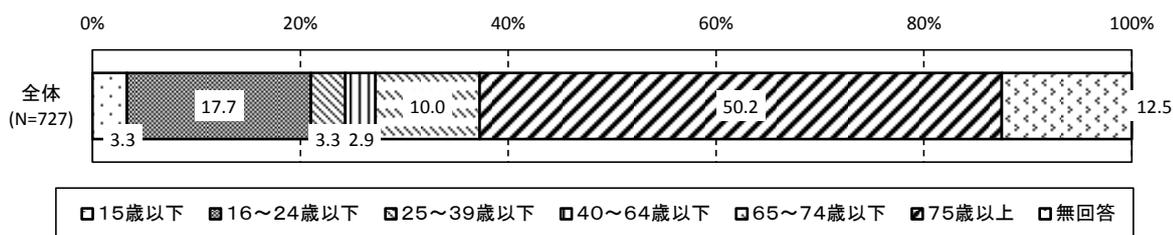
(17) 交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層

問5. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



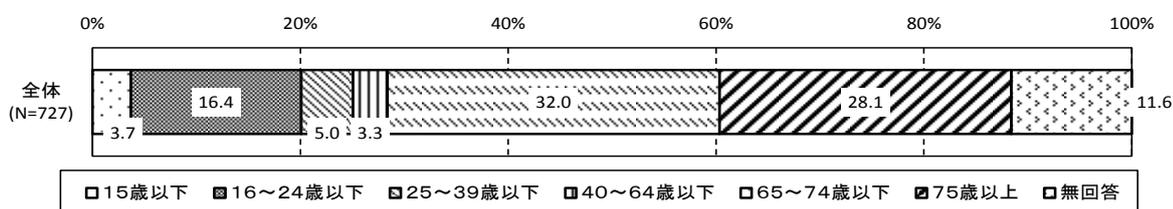
(18) 交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層

問6. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



(19) 交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層

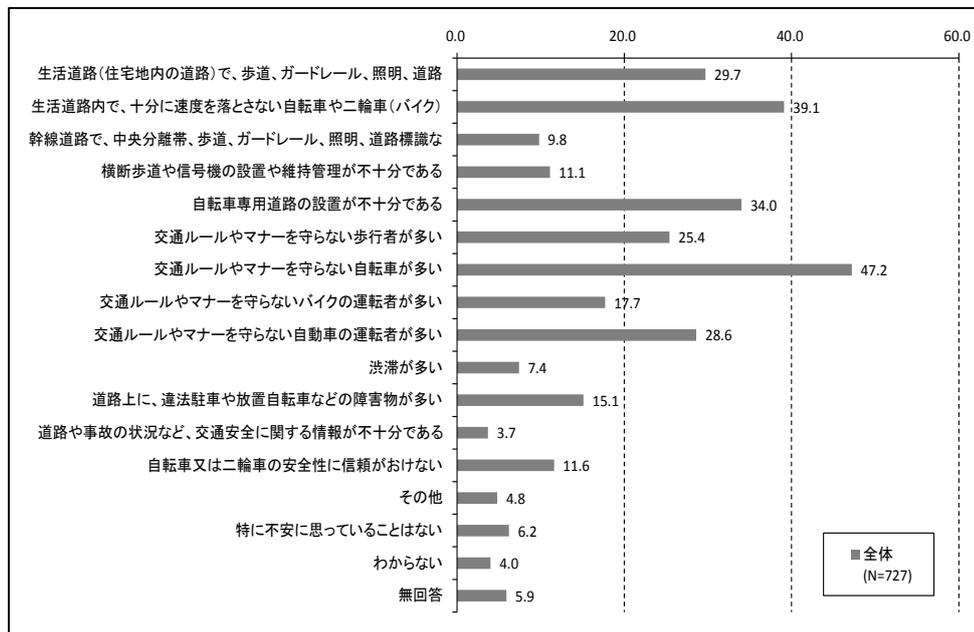
問6. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。（あてはまるものに○）



(20)交通安全について不安に思っていること

問 7. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

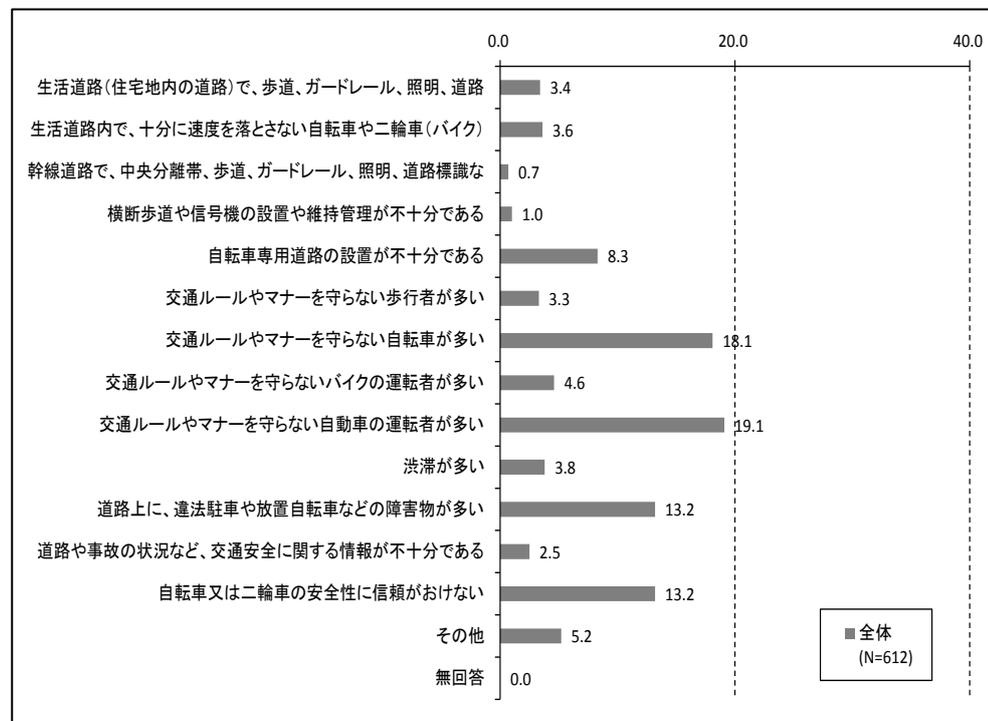
(あてはまるものすべてに○) また、特に不安に思うことを1つ選んでください。



(21)特に不安に思うこと

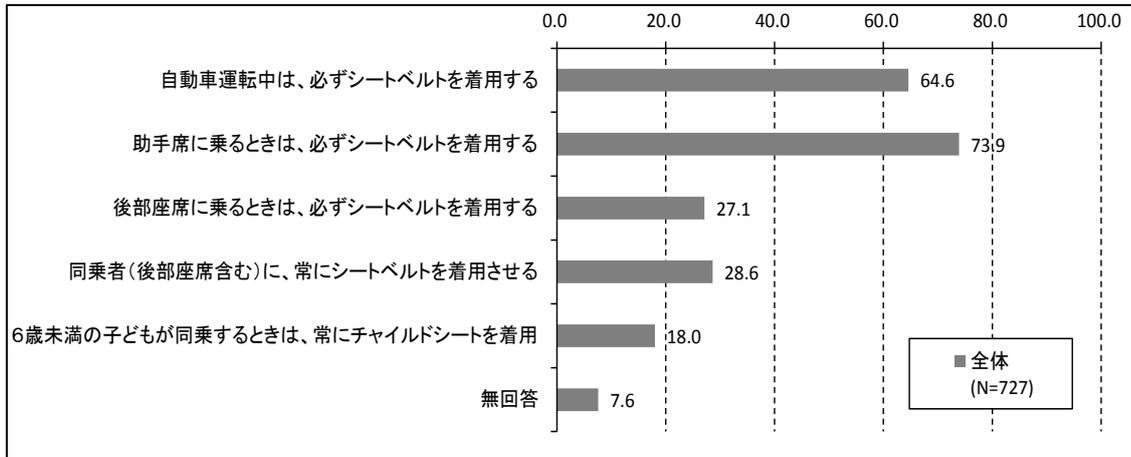
問 7. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○) また、特に不安に思うことを1つ選んでください。



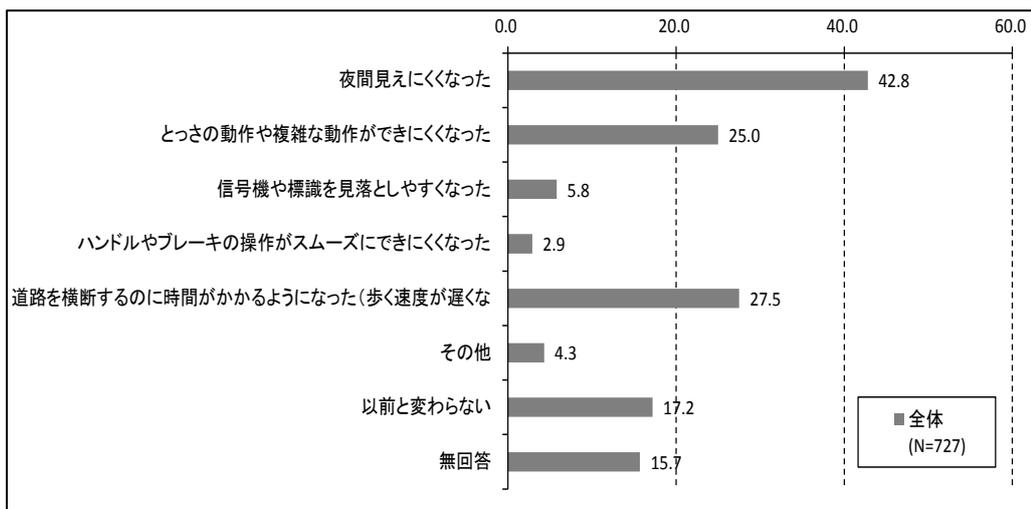
(2 2) シートベルトやチャイルドシートの着用状況について

問 8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)



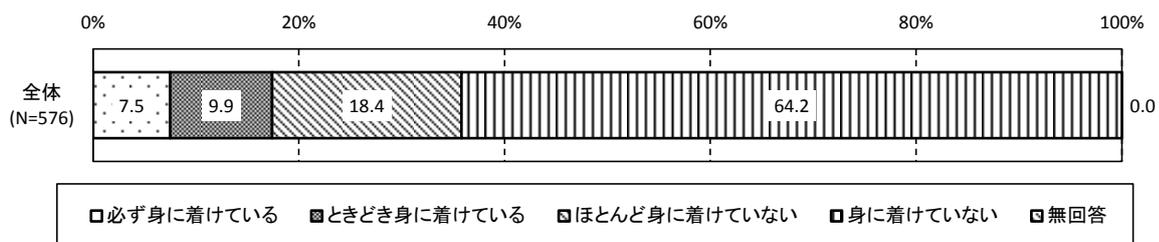
(2 3) 自動車や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずること

問 9. あなたは、自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



(2 4) 夜間外出する際の反射材の着用状況

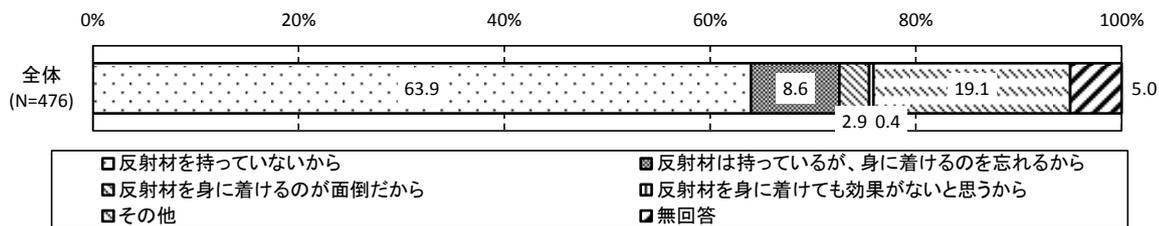
問 10. あなたは、夜間に外出するとき、反射材(反射バンドや反射タスキなど)を身に付けていますか。(○はひとつ)



(25) 反射材を身につけていない理由

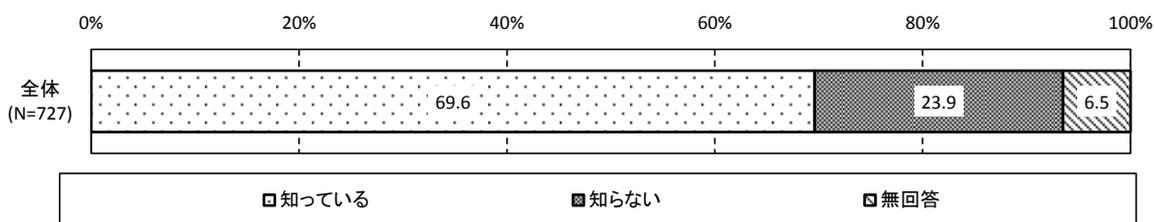
問 10 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「11」へお進みください。

問 10-1. あなたが反射材を身につけていない理由は何ですか。(〇はひとつ)



(26) 「高齢運転者免許証自主返納支援事業」の認知度

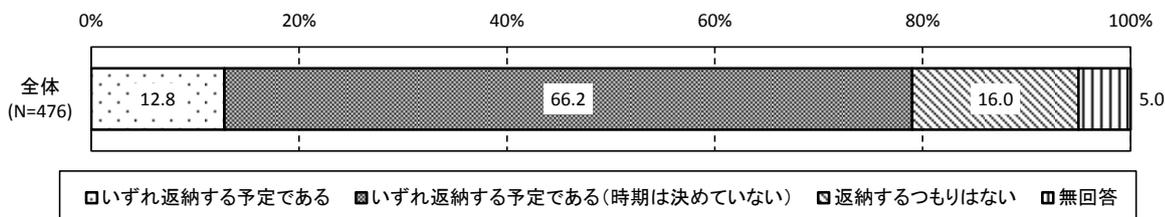
問 11. あなたは、当市が今年度から開始した「高齢運転者免許証自主返納支援事業」を知っていますか。(〇はひとつ)



(27) 運転免許返納状況について

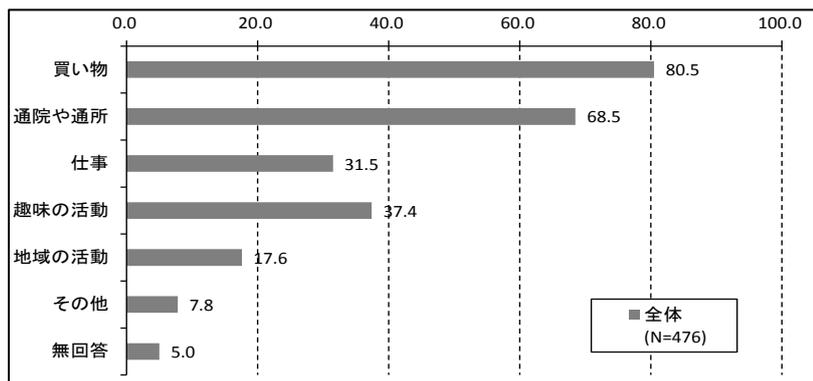
※現在、運転免許証をお持ちの方にお聞きします。お持ちでない方は、「問」14 へお進みください。

問 12. あなたは、運転免許返納状況について、どのようにお考えですか。(〇はひとつ)



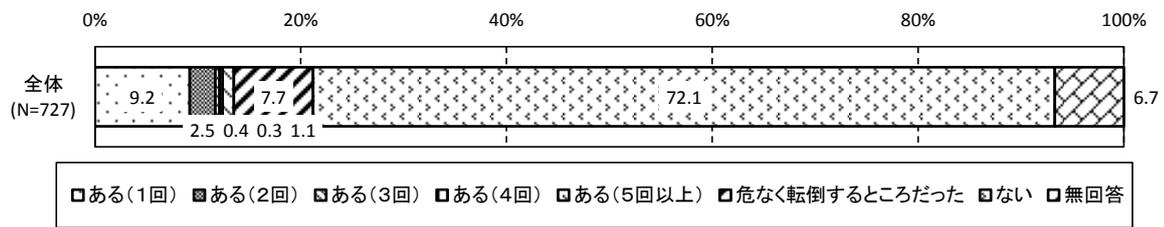
(28) 運転免許がないと困ると思うこと

問 13. あなたは、運転免許がないと困ると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)



(29) 自宅での転倒状況

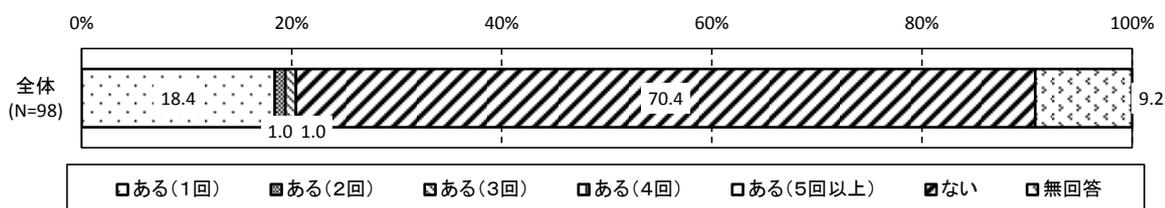
問 14. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、自宅で転倒したことがありますか。（〇はひとつ）



(30) 転倒による骨折経験の有無

問 14 で、「1」～「5」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「15」へお進みください。

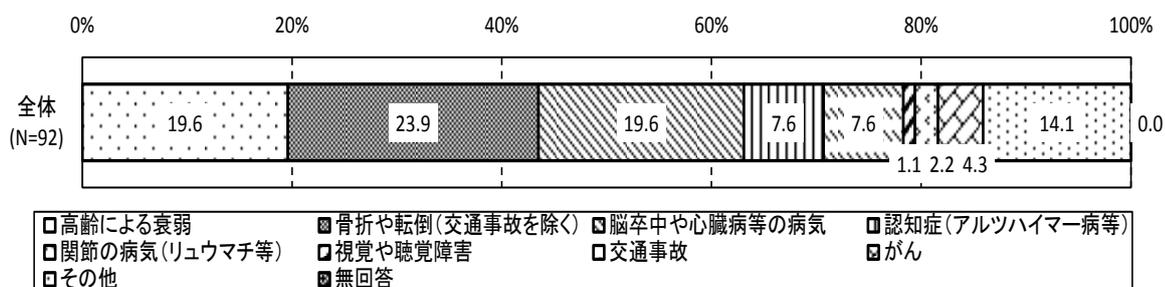
問 14-1. あなたは、その転倒で骨折したことがありますか。(○はひとつ)



(31) 介護が必要になった主な原因

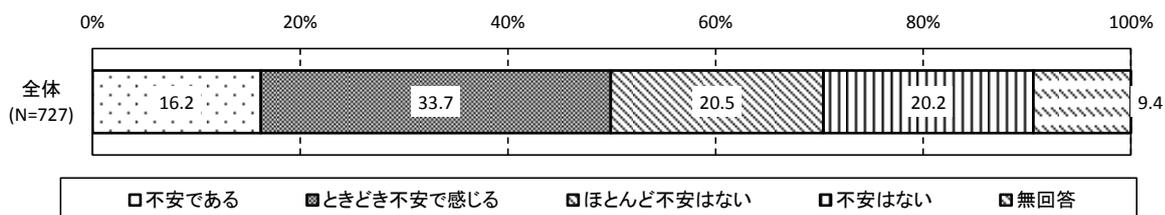
※現在、介護保険の要介護認定(要支援1から要介護5)をお持ちの方又は事業対象者の方にお聞きします。それ以外の方は、問「16」へお進みください。

問 15. あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。(○はひとつ)



(32) 転倒に対する不安の有無

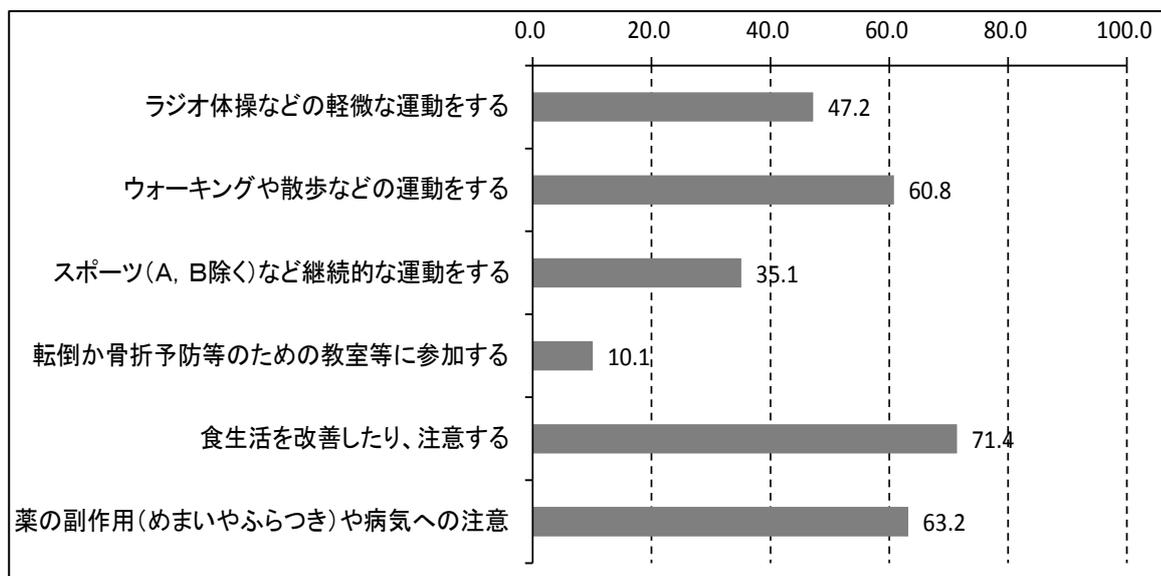
問 16. あなたは、普段、転倒に対する不安はありますか。(○はひとつ)



(33) 転倒によるケガを防止するために心がけていること

問 17. あなたは、転倒によるケガを予防するために心がけていることはありますか。

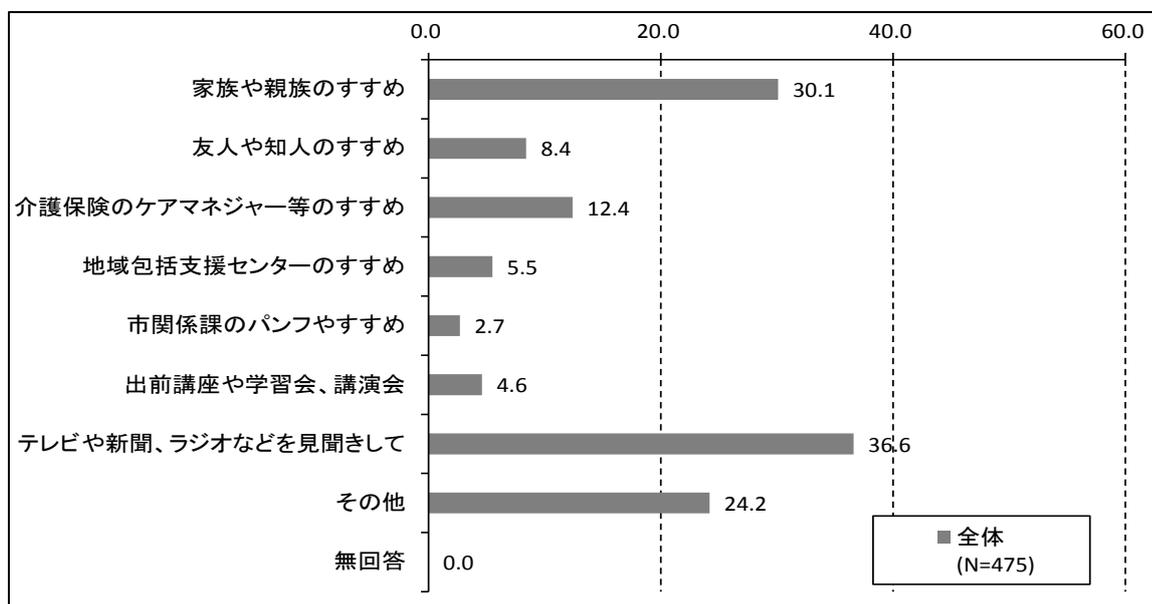
(あてはまるものすべてに○) また、その効果はあると思いますか。(○はひとつ)



	実行している			効果あり		効果なし		わからない	
	サンプル数	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
ラジオ体操などの軽微な運動をする	468	221	47.2	152	68.8	1	0.5	51	23.1
ウォーキングや散歩などの運動をする	528	321	60.8	221	68.8	3	0.9	68	21.2
スポーツ(A, B除く)など継続的な運動をする	456	160	35.1	129	80.6	0	0.0	21	13.1
転倒か骨折予防等のための教室等に参加する	417	42	10.1	33	78.6	1	2.4	3	7.1
食生活を改善したり、注意する	490	350	71.4	219	62.6	2	0.6	92	26.3
薬の副作用(めまいやふらつき)や病気への注意	438	277	63.2	160	57.8	8	2.9	79	28.5

(34) 転倒によるケガを予防するために自宅で実行していること

問 18. あなたは、転倒によるケガを予防するために、自宅で実行していることはありますか。(あてはまるものすべてに○) また、その効果はあると思いますか。(○はひとつ)



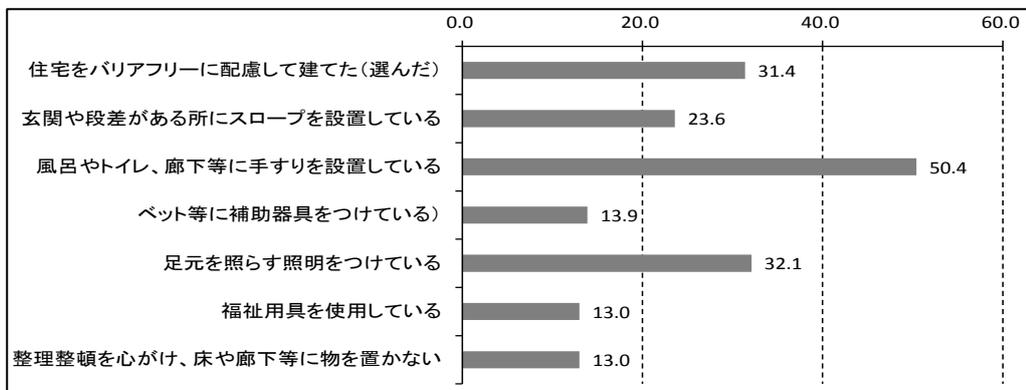
	実行している			効果あり		効果なし		わからない	
	サンプル数	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
住宅をバリアフリーに配慮して建てた(選んだ)	421	132	31.4	111	84.1	0	0.0	15	11.4
玄関や段差がある所にスロープを設置している	440	104	23.6	90	86.5	0	0.0	4	3.8
風呂やトイレ、廊下等に手すりを設置している	492	248	50.4	202	81.5	3	1.2	23	9.3
ベット等に補助器具をつけている)	409	57	13.9	52	91.2	0	0.0	4	7.0
足元を照らす照明をつけている	448	144	32.1	120	83.3	2	1.4	7	4.9
福祉用具を使用している	430	56	13.0	48	85.7	0	0.0	3	5.4
整理整頓を心がけ、床や廊下等に物を置かない	430	56	13.0	290	70.6	12	2.9	50	12.2

(35) 予防策をするようになったきっかけ

問 17 又は問 18 で、転倒の予防策を 1 つでも実行されていると回答された方にお聞きします。

問 19. あなたが、その予防策をするようになったきっかけは何ですか。

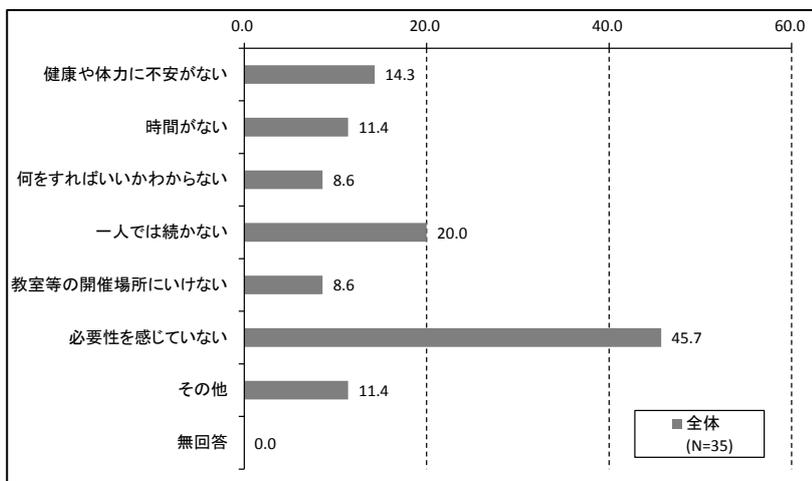
(あてはまるものすべてに○)



(36) 実行していない理由

問 17 と問 18 で、すべて「実行していない」と回答された方にお聞きします。

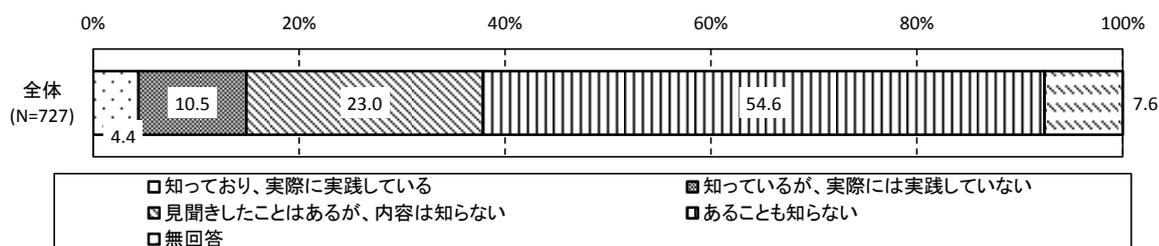
問 20. あなたが、実行していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(37) 「転倒予防パンフレット」の認知度

問 21. あなたは、当市で発行している「転倒予防のパンフレット」を知っていますか。

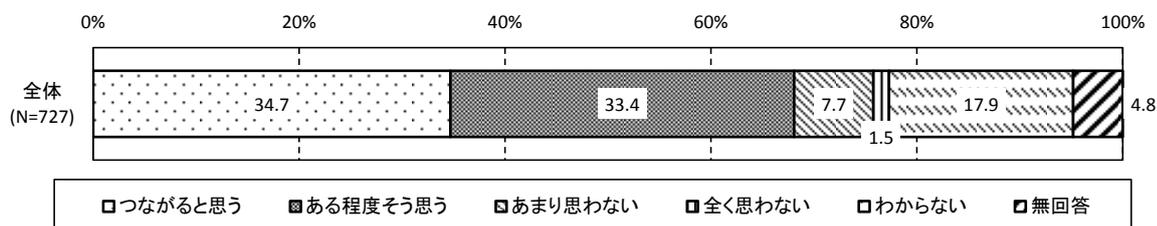
(○はひとつ)



(38) 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について

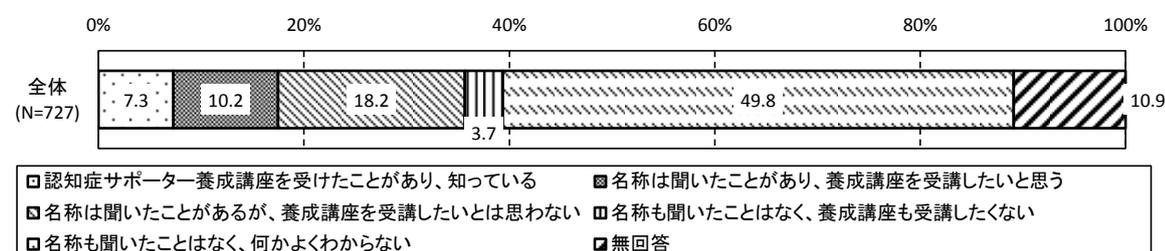
問 22. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながる場合があると思いますか。

(○はひとつ)



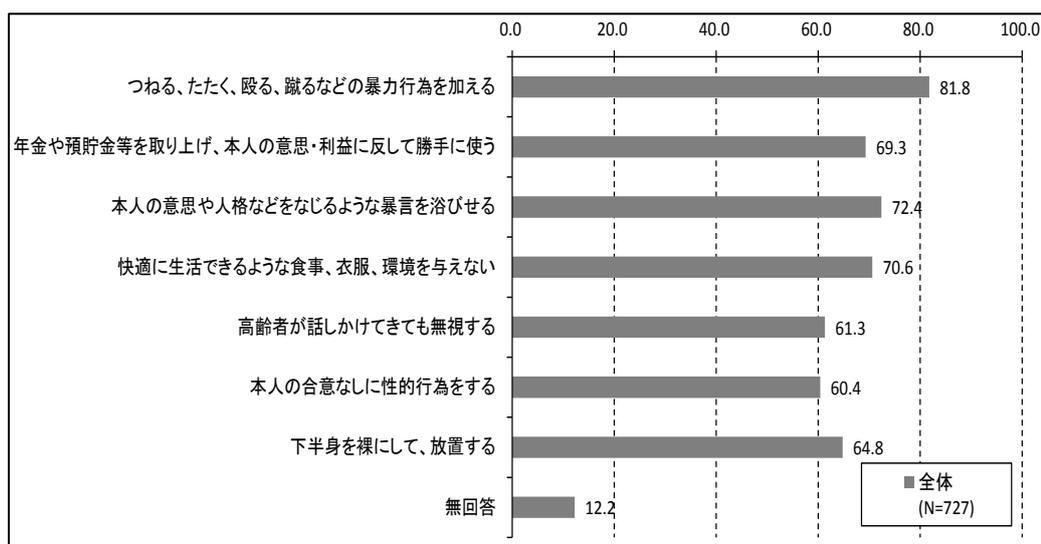
(39) 認知症サポーターの認知度

問 23. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)



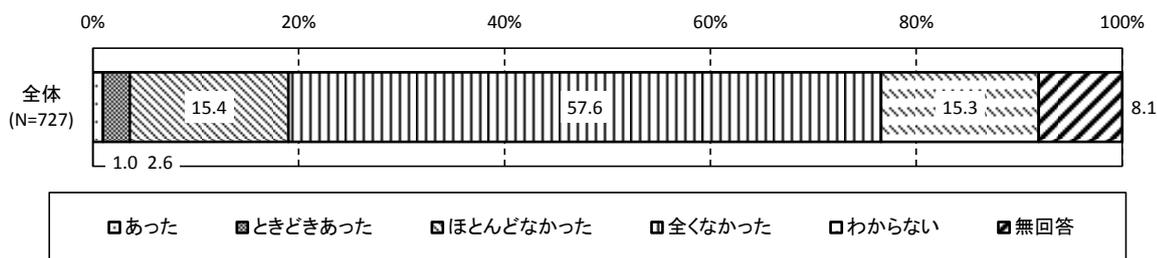
(40) 高齢者虐待にあたると思う行為

問 24. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(4 1) 虐待しているのではと思った経験の有無

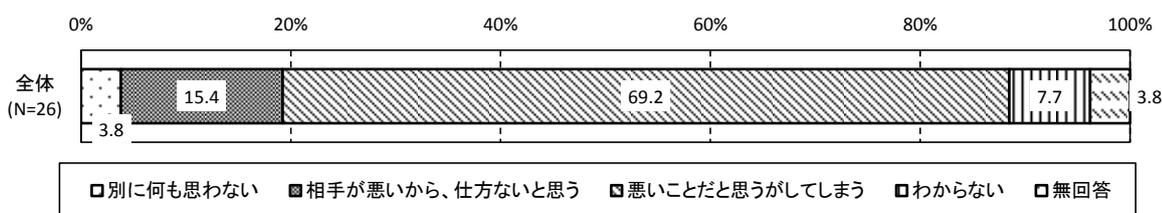
問 25. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと感じることがありましたか。(〇はひとつ)



(4 2) 自身の行為について感じること

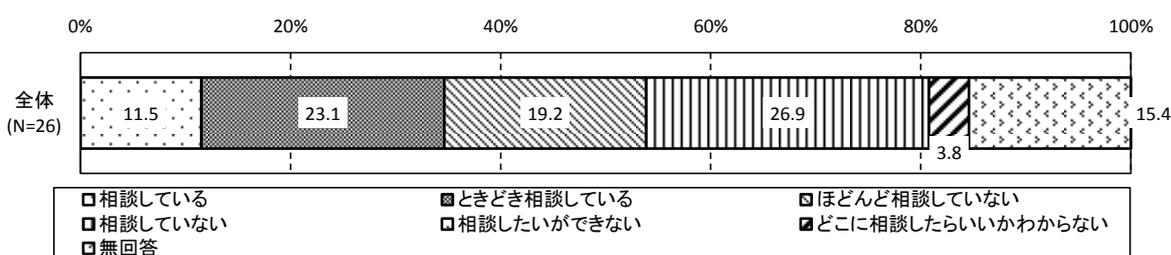
問 25 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問 26 へお進み下さい。

問 25-1. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。(〇はひとつ)



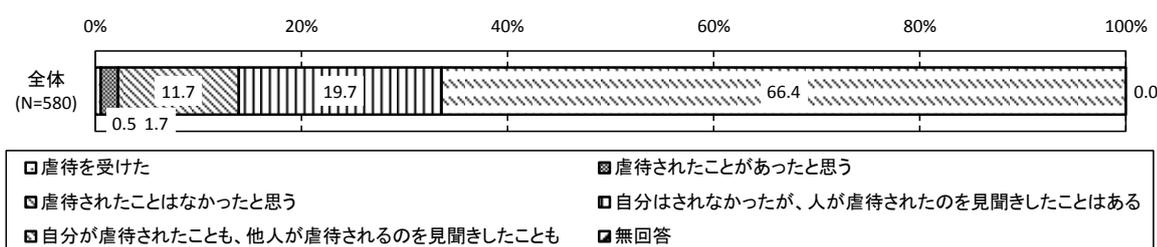
(4 3) 自身の虐待行為についての相談状況

問 25-2. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為について相談していますか。(〇はひとつ)



(4 4) 高齢者虐待を受けた又は見聞きした経験の有無

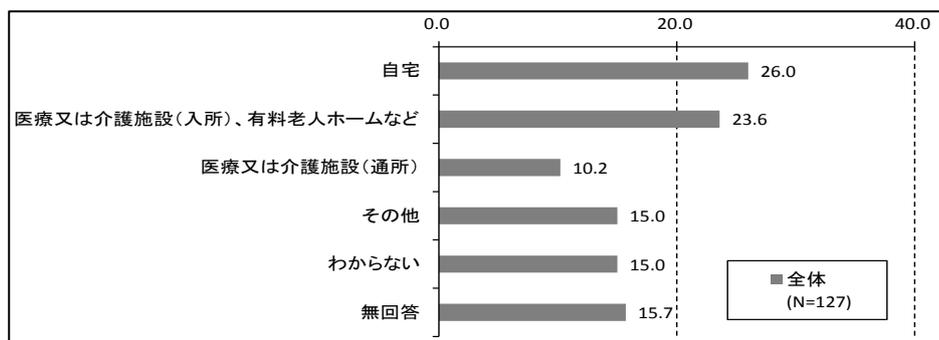
問 26. あなたは、これまで高齢者虐待を受けた又は高齢者虐待を見聞きしたことがありますか。(〇はひとつ)



(45) 虐待された場所

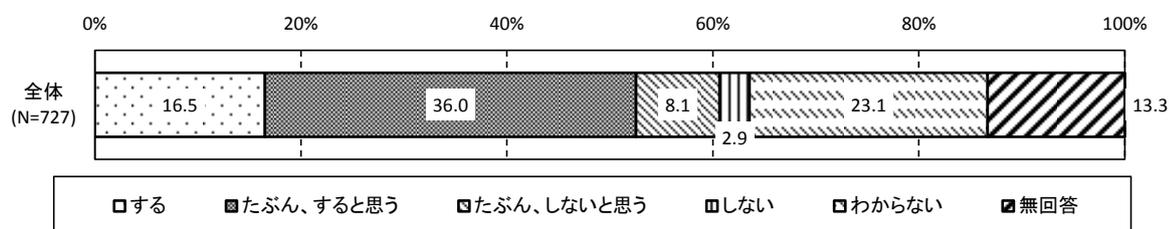
問 26 で、「1」、「2」、「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「27」へお進みください。

問 26-1. 虐待がされた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)



(46) 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応 (相談または通報)

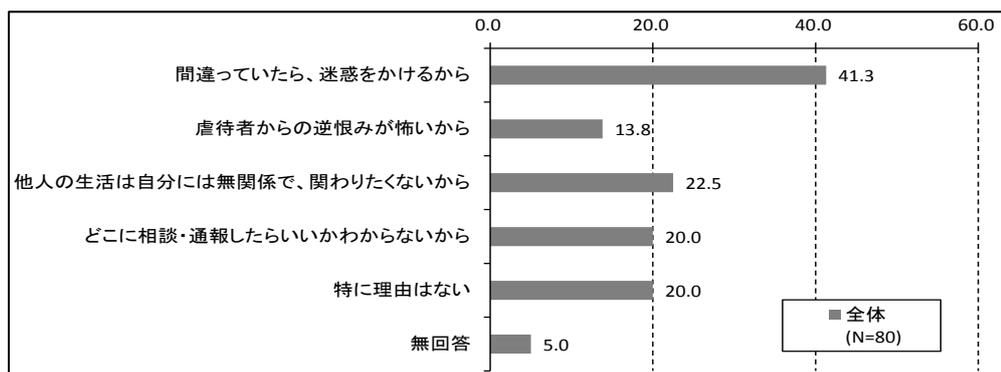
問 27. あなたは、高齢者虐待を見聞きしたとき、相談又は通報しますか。(○はひとつ)



(47) 相談又は通報しない理由

問 27 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「28」へお進みください。

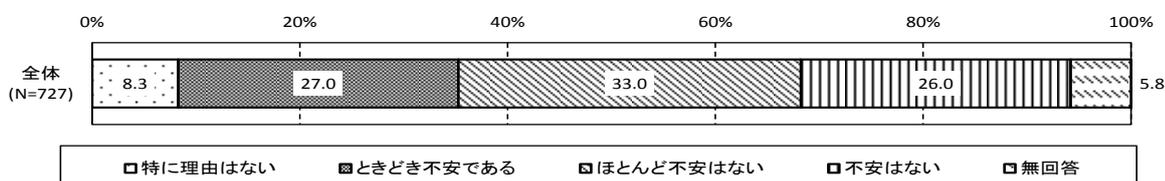
問 27-1. あなたが、相談又は通報しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(48) 犯罪の被害に対する不安

問 28. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。

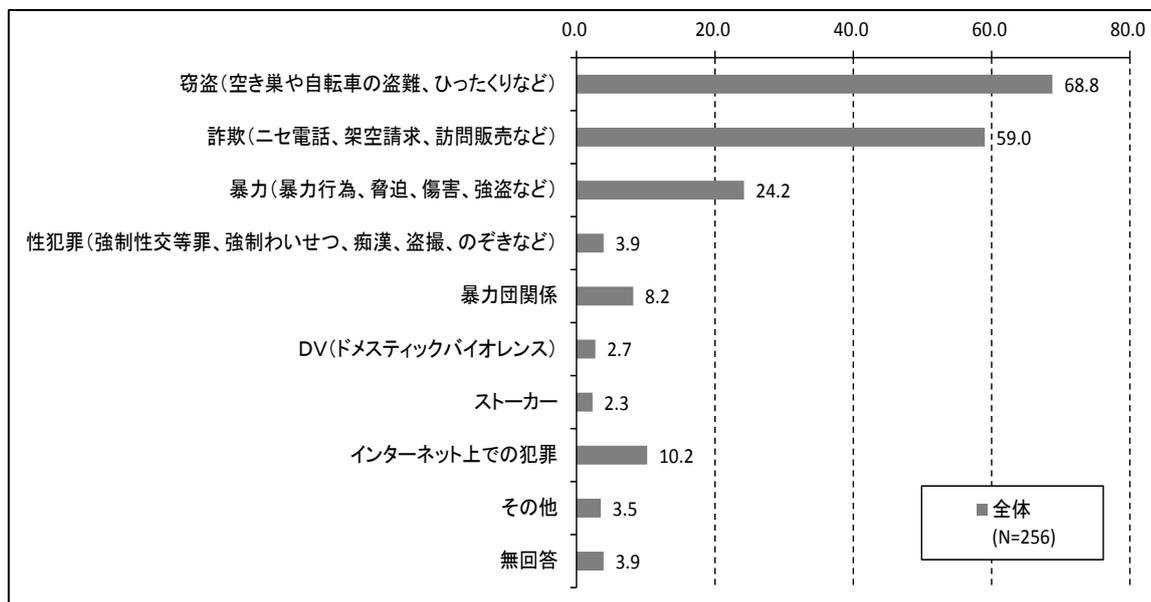
(○はひとつ)



(49) 不安に感じる犯罪

問 28 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「29」へお進みください。

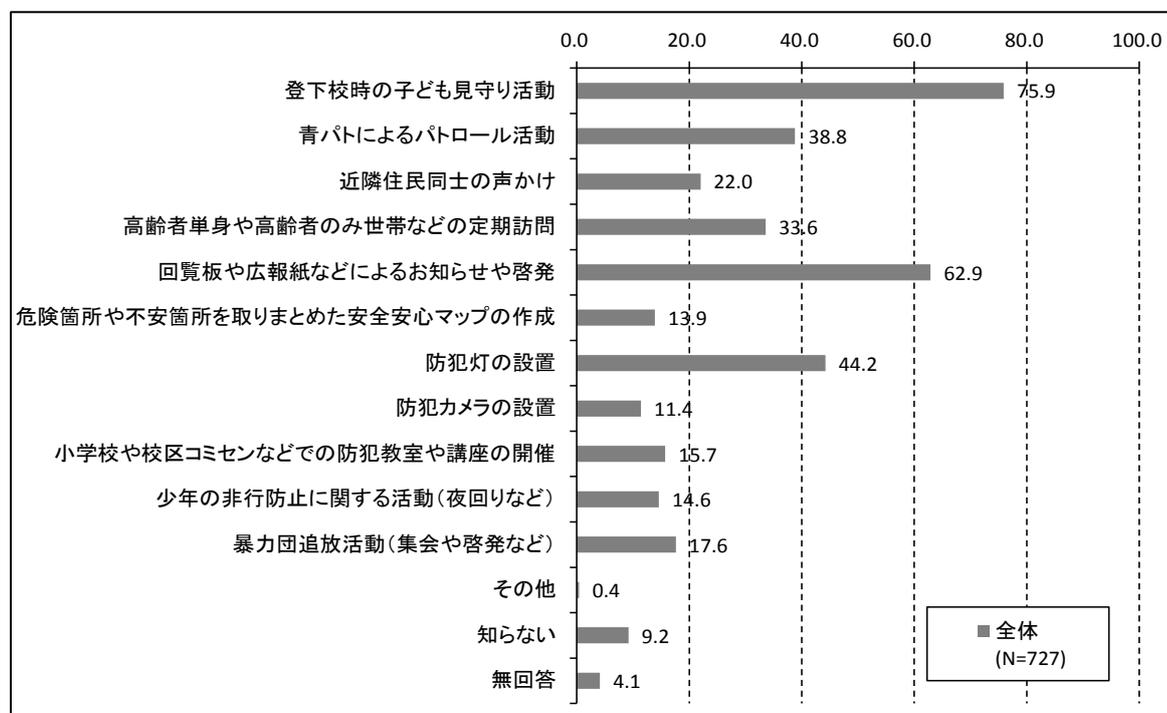
問 28-1. あなたが、不安に感じる犯罪は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(50) 地域で行われている防犯活動の認知度

問 29. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。

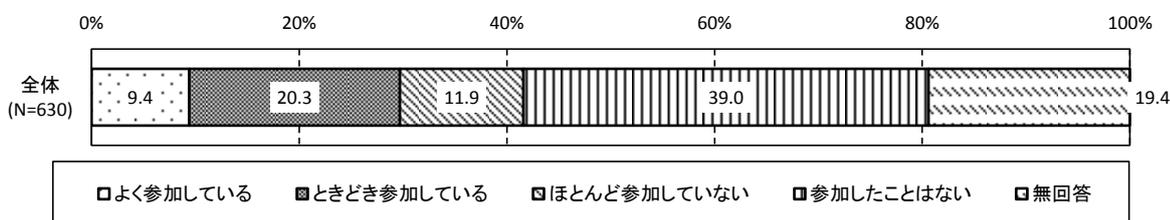
(あてはまるものすべてに○)



(5 1) 防犯活動の参加状況

問 29 で、「1 3」以外と回答された方にお聞きします。「1 3」と回答された方は、問「30」へお進み下さい。

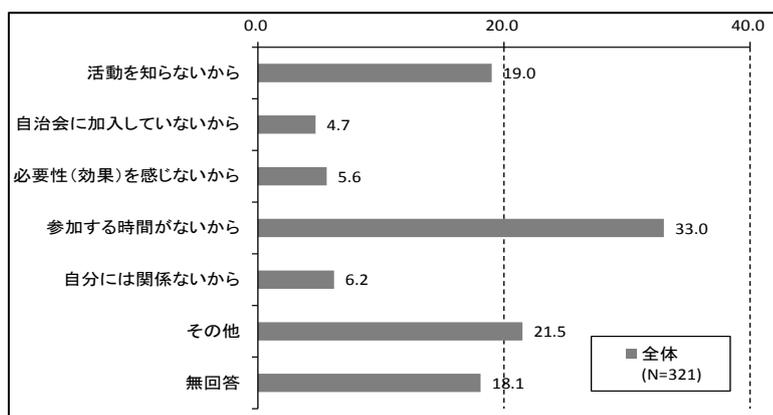
問 29-1. あなたは、問 29 であげた活動のいずれかに参加したことがありますか。



(5 2) 防犯活動に参加していない理由

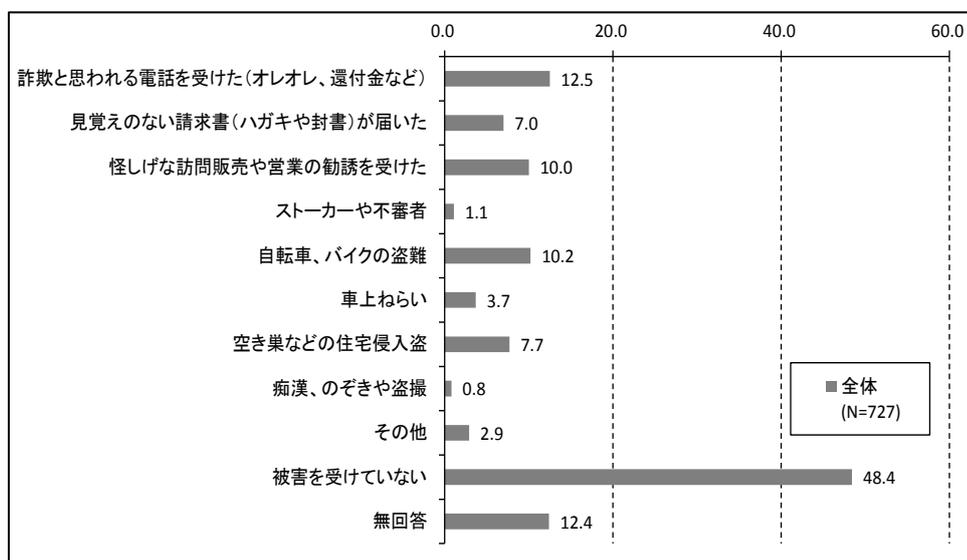
問 29-1 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「30」へお進みください。

問 29-2. あなたが問 29 であげた活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



(5 3) 犯罪被害等を受けた経験の有無

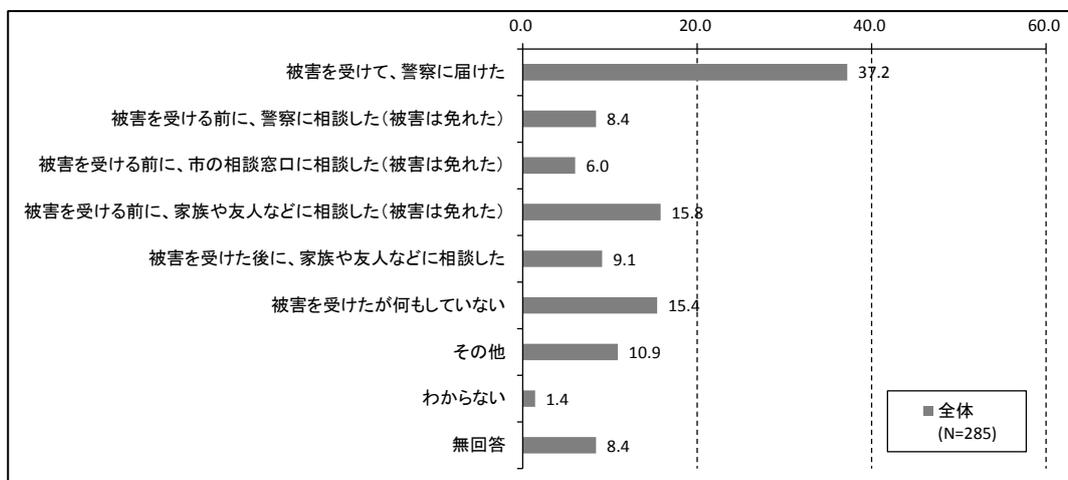
問 30. あなたは、これまで何らかの犯罪被害等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)



(54) 犯罪被害を受けた際の対応

問 30 で、「1」～「9」と回答した方にお聞きします。「10」と回答された方は、問「31」へお進みください。

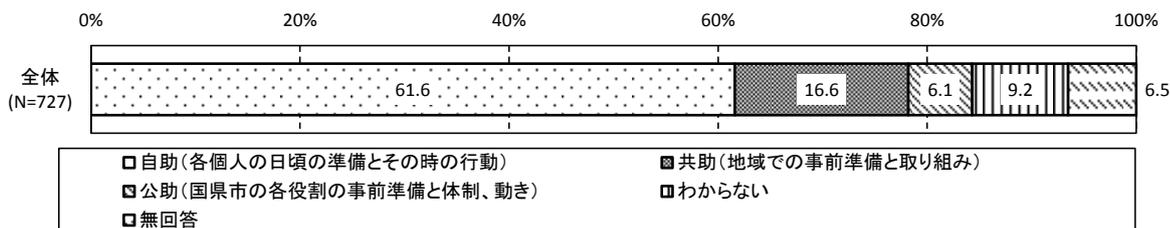
問 30-1. あなたは、その後どうしましたか。(あてはまるものすべてに○)



(55) 自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと

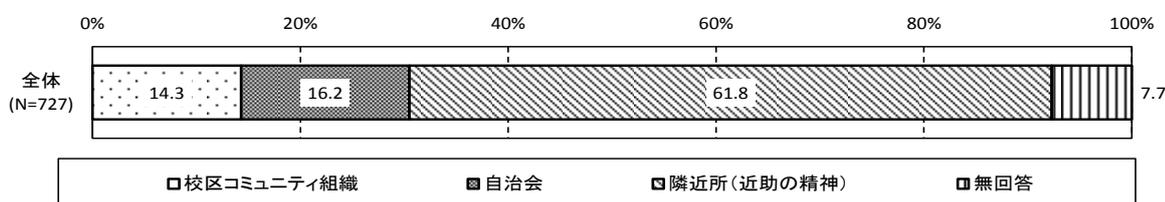
問 31. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いますか。

(○はひとつ)



(56) 災害が発生したときに重要な「共助」について

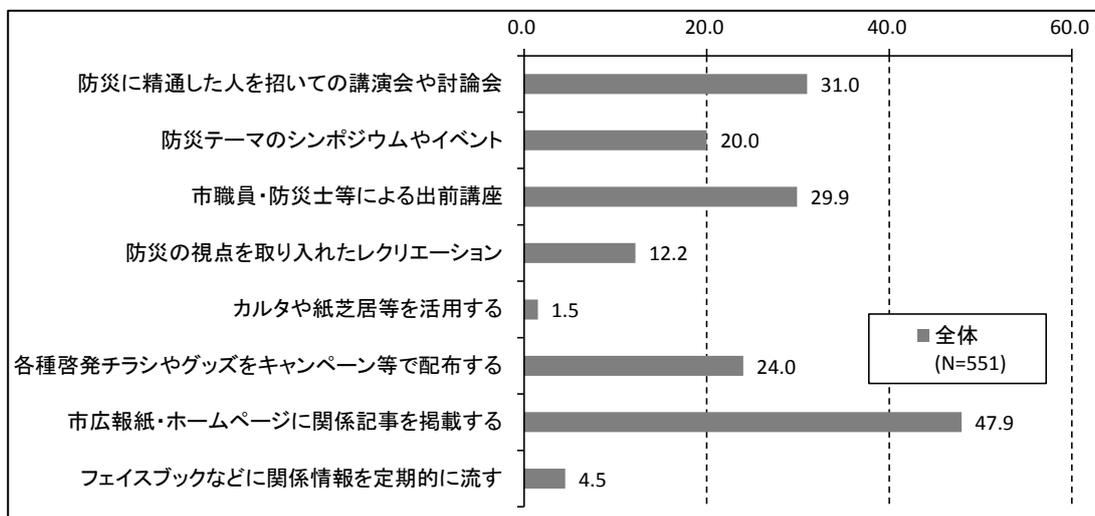
問 32. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思いますか。(○はひとつ)



(57) 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段

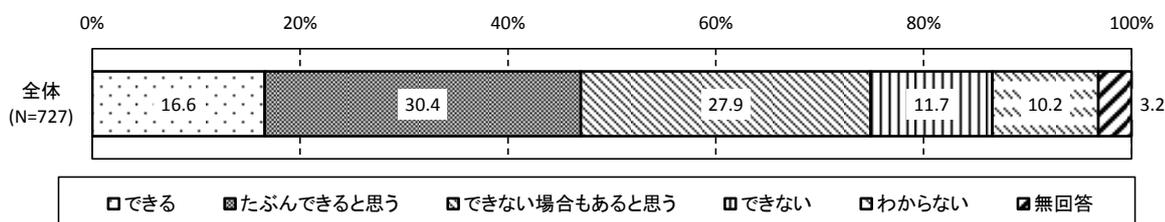
問 33. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの2つに○)



(58) 災害が発生した場合、一人で避難できるか

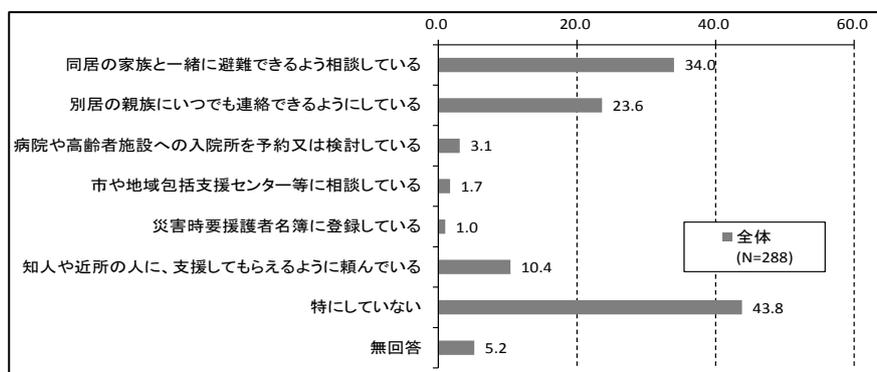
問 34. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)



(59) 避難するための対策の有無

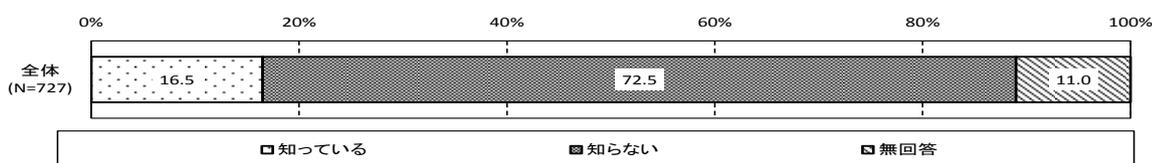
問 34 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「35」へお進みください。

問 34-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)



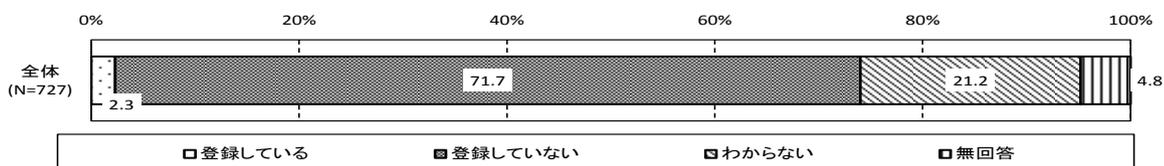
(60) 「災害時要援護者名簿」の認知度

問 35. あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(○はひとつ)



(61) 「災害時要援護者名簿」の登録の有無

問 36. あなたは、「災害時要援護者名簿」に登録していますか。(○はひとつ)

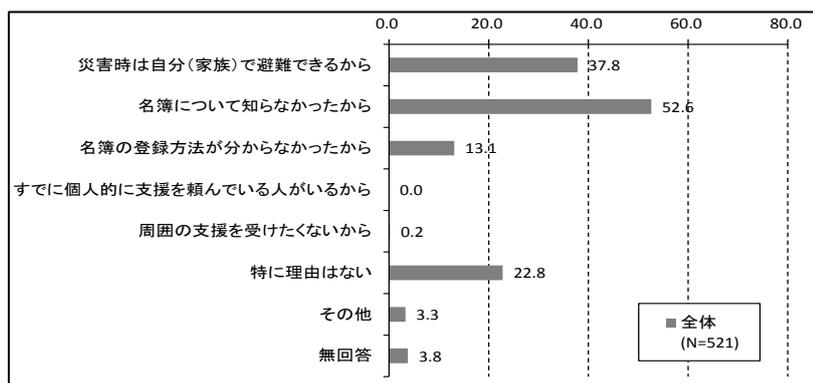


(62) 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由

問 36 で、「2」と回答された方にお聞きします。「3」と回答された方は、「問」36-2 へ、「1」と回答された方は、調査終了です。

問 36-1. あなたが、「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)



(63) 「災害時要援護者名簿」への登録の希望

問 36 で、「2」又は「3」と回答された方にお聞きします。

問 36-2. あなたは、「災害時要援護者名簿」への登録を希望しますか。(〇はひとつ)

